

リマスカラ第二讀會ニ於テ其報告ヲ許スコトニ致シマス」トテ第二讀會ニ於テ其ノ報告ヲ許シタリ

同年三月二十四日政府提出特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ニ伴フ清算金及補償金ニ關スル法律案ノ會議ニ於ケル少數意見モ第二讀會ニ於テ其ノ報告ヲ許シタリ

三五二 少數意見ハ場合ニ依リ其ノ部分ノ議題ニ上レルトキ之ヲ述フ

第二十五回議會 明治四十二年二月十三日明治四十三年度豫算案ノ會議ニ於テ委員長報告ノ後大體ノ討論ヲ經テ逐項議ニ入り甲號歳入經常部ノ議題トナレルトキ横田虎彦君ハ「少數意見ヲ簡單デスカラ此處ヨリ……」ト發言ヲ求メ議長(長谷場純孝君)ハ「少數意見ヲ御報告ニナルノデスカ」ト問ヒ其ノ報告ヲ許可シタリ

同年三月二日政府提出造船獎勵法中改正法律案、遠洋航路補助法案ハ同一委員ニ付託セラレタルニ依リ委員長ハ一括シテ之ヲ報告シ後案ノ議題トナルトキ議長ハ「少數意見ハ此場合御述ベニナツテ宜カラウト思ヒマス」ト告ケ其ノ報告ヲ爲サシメタリ

同年三月四日政府提出國債ノ利子所得稅免除ニ關スル法律案外二件ニ對シ議長ハ一括シテ委員

長ニ報告ヲ爲サシメ次テ「此日程ノ十五(後案)ニ對シテハ少數者ノ意見ガ委員會カラ出テ居リマス、仍テ此少數意見ハ第十五ノ日程ノ場合ニ於テ御述ベニナル方便宜デアラウト思ヒマスカラ其通り取計ヒマス」ト告ケタリ

三五三 委員長少數者ナリシトキハ委員長ノ報告ニ次テ少數意見ヲ述フルコトヲ得

第十三回議會 明治三十二年一月二十三日政府提出葉煙草專賣法中改正法律案第一讀會ノ續會ニ於テ委員長藤金作君ハ委員長報告ニ續テ「尙ホ私ハ委員長ノ資格ヲ取除ケマシテ登壇ノ序ニ少數者ノ意見ヲ一ツ述ベテ置キタイコトガアリマス」ト述ヘ少數意見ヲ報告シタリ

第十五回議會 明治三十四年三月十六日政府提出登録稅法中改正法律案外二件ノ第一讀會ノ續會ニ於テ委員長鹽田忠左衛門君ハ「……之ハ委員會ノ報告デゴザイマス次ニハ此事ニ付キマシテ私等少數者ノ意見ヲ述ベマス……」ト述ヘ少數意見ヲ報告シタリ

第十六回議會 明治三十五年二月二十八日西村淳藏君外三名提出酒造稅法中改正法律案外一件ノ第一讀會ノ續會ニ於テ委員長多田作兵衛君ハ「……取敢ヘズ委員會ノ結果ヲ報道致シマス

尙引續キマシテ私ハ少數者ノ意見ヲ述ベマス」ト述ヘ少數意見ヲ報告シタリ

參看 三四一號

三五四 委員ハ少數意見ヲ補足スルコトヲ得

少數意見ノ報告ニ對シ報告者若ハ他ノ少數者委員ハ發言ノ順序ニ拘ラス更ニ其ノ報告ヲ補足スルコトヲ得

第八回議會 明治二十八年三月六日山下千代雄君外二名提出衆議院議員選舉法中改正法律案ノ

第二讀會ニ於テ末廣重恭君ハ其ノ第三十八條ニ對スル少數意見ニ付更ニ補足ヲ爲シタリ

第十回議會 明治三十年三月十二日政府提出國有土地森林原野下辰法案ノ第二讀會ニ於テ工藤

行幹君ハ更ニ少數意見ヲ補足シタリ

參看 二六七號、三四三號

三五五 委員ハ少數意見ニ併セテ自己ノ意見ヲ述フルコトヲ得ス

委員ハ少數意見ノ報告ト併セテ自己ノ意見ヲ述フルコトヲ得サルモノニシテ若之ヲ述ヘムトスルトキハ通告順ニ依ルヘキモノトス

第九回議會 明治二十九年二月四日明治二十九年度豫算案歳出臨時部遞信省所管第五款ノ討議

中和田彦次郎君ハ少數者意見ヲ述ヘ次テ「又私ハ少數者意見外ニ一言私ノ希望ヲ述ベテ置キ

マスルガ」ト述ヘタルニ議長(楠本正隆君)ハ「通告ニ於テハ反對ガ一名賛成ガ二名アリマス」

ト注意シ自己ノ意見ヲ述フルコトヲ許ササリキ

同年三月二十四日明治二十七年度ニ於テ國庫剩餘金ヲ以テ豫算超過及豫算外支出ノ件ノ會議中

大津淳一郎君ハ少數意見ヲ述フルニ際シ少數者ノ意見ヲ報告スルト同時ニ併テ私ノ意見ヲ述

ベテ宜シウゴザイマスカ」ト問ヒタルニ議長ハ「今ハ兎ニ角少數者ノ意見ダケノ御報道ヲ請ヒ

マス」ト告ケ之ヲ許ササリキ

第四十回議會 大正七年二月十六日戰時船舶管理令(承諾ヲ求ムル件)ノ會議ニ於テ正木照藏君

ハ少數意見ヲ述ヘタル後通告順ニ依リ自己ノ意見ヲ陳述シタリ

參看 三四一號

三五六 少數意見トシテ提出シタル修正ハ成規ノ賛成アルニ非サレハ成立セ ス

少數意見ニシテ原案若ハ委員長報告ニ對スル修正ナルトキハ均シク議案ニ對スル修正ナルヲ以テ二十人以上ノ賛成者(豫算案ナルトキハ三十人以上)ヲ俟テ始テ成立スルモノトス二三ノ事例ヲ舉クレハ左ノ如シ

第一回議會 明治二十四年二月十九日明治二十四年度豫算案中歳出經常部文部省所管第二款ニ對スル特別委員ノ報告ハ權限外トシテ否決セラレタルトキ井上角五郎君ハ委員天野爲之君外二名提出少數意見ヲ議題ト爲スヘシトノ動議ヲ提出シ之ニ賛成者アリタルヲ以テ議長(中島信行君)ハ「賛成モアリマシタカラ決ヲ採リマス便宜法ニ依ツテ天野爲之君外二名ヨリ提出シタル案ヲ議題トシテ議スルト云フコトニ賛成ノ諸君ハ起立」ト告ケ多數ナリシヲ以テ少數意見ヲ議題ト爲シタリ

第六回議會 明治二十七年五月三十日明治二十七年度豫算追加案ノ會議中委員山口千代作君ハ歳出臨時部内務省所管第十一款ニ對スル少數意見ヲ演說シタルトキ田艇吉君ハ「少數者ノ意見ハ成立ッテ居リマスカ、別ニ成立ッテ居リマセネバ反對ヲスル程ノ必要モナイト思ヒマス」ト云ヒタルニ議長(楠本正隆君)ハ「是ハ報告ヲスルニ止リマス是ハ是マデノ實例デゴザイマス

……」中野武營君「總テ少數者ノ報告ト云フモノハ賛成者ヲ得ナケレバ成立タヌト云フト一向無効ノモノデアル之ヲ此ノ處ニ言フノハ是ハ全體ノ委員會ノ上ニ關係ヲ持ッテ居リマスカラ若シ是マデノ慣例ニ左様ナコトガアリマスナラバ御示シテ願ヒタイ好シンバ左様ナ慣例ガアツテモ議院法ニ於テ許シテアルナラバ公然效ノアルモノト私ハ考ヘテ居リマス」議長「委員ノ報告ハ賛成者ヲ俟タズシテ議場ノ議題トナリマスケレドモ少數者ノ意見ハ唯報告ニ止マルガ是マデノ實例ニナッテ居リマス是ハ賛成者ガアリマスレバ議題ニナリマス」(中略)「二十四年二月十九日此ノ事ヲ議場ニ意見ヲ尋ネテ議長ガ宣告シテ居リマス、即チ先例デゴザイマス」ト告ケ之ヲ議題トナササリキ

第四十五回議會 大正十一年三月八日政府提出刑事訴訟法案第一讀會ノ續會ニ於テ委員長鶴澤總明君ノ報告ニ次テ清瀨一郎君ヨリ少數意見ノ報告アリ議長(奥繁三郎君)ハ此ノ少數意見ニ定規ノ賛成者アリト認メ修正案トシテ成立シタル旨ヲ宣告シタリ

三五七 少數者意見書ノ撤回ハ議題トナラサル以前ハ議長ニ於テ之ヲ許可ス
少數者意見書ノ撤回ハ議案並委員長報告書ノ撤回ノ場合ト同シク議題ト爲ラサル以前ニ於テハ何

時ニテモ撤回スルコトヲ得ルモ一度議題ト爲リタルトキハ議院ノ許可ヲ得ルモノトス

第二十四回議會 明治四十一年三月十七日ノ會議ニ於テ奥野市次郎君外七名提出衆議院議員選舉法中改正法律案ノ少數意見書ハ同案ノ第一讀會ノ續會ニ於テ撤回スル旨ノ申出アリ議長院議ニ諮ヒ之ヲ許可シタリ

第十五節 討論

三五八 議案ノ趣旨辯明又ハ委員長ノ報告アリタル後反對贊成ノ兩者交互ニ討論ス

委員ニ付託セサル議案ハ其ノ趣旨辯明アリタル後、委員ニ付託シタル議案ハ委員長ノ報告アリタル後質疑ヲ終リ討論ニ移ルモノトス而シテ反對論者ヲシテ發言セシメ次テ贊成及反對ト交互ニ辯論セシムルヲ例トス然レトモ委員長報告、少數意見カ原案ニ反對ナルトキ引續キ反對論者ヲシテ發言セシムルハ反對論ヲ重ヌルノ嫌アルヲ以テ多クハ委員長報告ヲ基礎トシテ討論ヲ開始シ報告ニ反對即チ原案ニ贊成ヨリ辯論セシムルコトナシトセス豫算案討論ノ際ノ如キ殊ニ然リトス各場

合ノ事例ヲ舉クレハ左ノ如シ

(一) 委員長報告後直ニ討論ニ入りタル例

(イ) 報告可決ノ場合 (原案反對者ヨリ)

第四十一回議會 大正八年三月二十一日(第三號)大正八年度歳入歳出總豫算追加案ノ會議ニ於テ委員長齋藤珪次君ハ可決ノ報告ヲ爲シ次テ町田忠治君ハ原案ニ反對(修正)、井上角五郎君ハ贊成、鈴木梅四郎君ハ反對(修正)、吉植庄一郎君ハ贊成ノ演說ヲ爲シタリ

(ロ) 報告否決ノ場合 (原案贊成者ヨリ)

第四十二回議會 大正九年二月二十六日武富時敏君外六名提出衆議院議員選舉法中改正法律案ノ會議ニ於テ委員長松田源治君ハ否決ノ報告ヲ爲シ次テ齋藤隆夫君ハ原案ニ贊成、小川平吉君ハ反對ノ演說ヲ爲シタリ

(ハ) 報告修正ノ場合 (委員長報告反對者即チ原案贊成者ヨリ)

第四十二回議會 大正九年二月十日政府提出所得稅法改正法律案ノ第一讀會ノ續會ニ於テ委員長武藤金吉君ハ修正ノ報告ヲ爲シ町田忠治君ハ委員長報告ニ反對、鶴澤總明君ハ贊成、本田恆之君ハ反對、小川郷太郎君ハ贊成ノ演說ヲ爲シタリ

(ニ) 修正案ノ趣旨辯明後討論ニ入りタル例

豫算案タルト法律案タルトヲ問ハス修正案提出セラレ其ノ趣旨辯明ヲ爲シタルトキハ討論ハ其ノ修正ニ反對即チ原案賛成者ヨリ發言セシムルモノトス

第三十六回議會 大正四年六月一日(第一號)大正四年度豫算追加案外三件ノ會議ニ於テ委員長片岡直温君ハ可決ノ報告ヲ爲シ元田肇君、鈴木梅四郎君ハ各自提出ノ修正案ノ趣旨ヲ辯明シ次テ討論ニ入り加藤政之助君ハ原案ニ賛成、犬養毅君ハ反對、田川大吉郎君ハ賛成、吉植庄一郎君ハ反對……ト順次演說ヲ爲シタリ

第四十二回議會 大正九年二月十日政府提出所得税法改正法律案ノ第二讀會ニ於テ大口喜六君ハ修正案ノ趣旨ヲ辯明シタルヲ以テ三士忠造君ハ大口君ノ修正案ニ反對、堀川美哉君ハ賛成ノ演說ヲ爲シタリ

又各派ヨリ修正案提出セラレタル場合ニ於テハ多數黨ノ修正案賛成者ヨリ發言セシム

第四十二回議會 大正九年二月十二、三日大正九年度豫算案外一件ノ會議ニ於テ委員長中村啓次郎君ハ可決ノ報告ヲ爲シ三士忠造君、濱口雄幸君、鈴木梅四郎君ハ各自提出ノ修正案、津田毅一君ハ佐々木平次郎君提出ノ修正案ノ趣旨ヲ辯明シ次テ討論ニ入り三士君ハ同君修正及原案ニ賛成、片岡君ハ濱口君修正案ニ、兒玉君ハ三士君案ニ、柏原君ハ鈴木君案ニ賛成シ他ノ修正案ニ各反對ノ演說ヲ爲シタリ

(三) 少數意見ノ報告後討論ニ入りタル例

少數意見ハ法律案、承諾案將タ懲罰事犯ノ會議タルトヲ問ハス概ネ委員長報告ニ反對ナルカ故此ノ場合ニ於テハ孰レモ委員長報告賛成者ヨリ發言セシムルモノトス

第三十九回議會 大正六年七月十四日尾崎行雄君外九名提出市町村立小學校費國庫補助法案外二件ノ會議ニ於テ委員長床次竹二郎君ハ修正ノ報告ヲ爲シ大津淳一郎君ハ原案可決ノ少數意見ノ報告ヲ爲シ討論ニ入り三士忠造君ハ委員長報告ニ賛成、樋口秀雄君ハ反對、松本誠之君ハ賛成、小山東助君ハ反對、柏原文太郎君ハ賛成ノ演說ヲ爲シタリ

第四十一回議會 大正八年二月二十日大正七年勅令第三百二十四號穀物收用令(承諾ヲ求ムル件)ノ會議ニ於テ委員長鶴澤總明君ハ承諾ヲ與フヘキモノトノ報告ヲ爲シ井原百介君ハ承諾ヲ與フヘカラストノ少數意見ヲ報告シ熊谷直太君ハ委員長報告ニ賛成、横山勝太郎君ハ反對、森本一郎君ハ賛成ノ演說ヲ爲シタリ

左ノ場合ハ少數意見ノ報告アリタルモ委員長報告ニ反對者ヨリ發言セシメタリ當時正木君ノ他ニ通告者ナカリシヲ以テ同君ヲシテ發言セシメタルニ同君ノ發言後横田君發言ヲ爲シタルモノナリ
第四十回議會 大正七年二月十六日戰時船舶管理令(承諾ヲ求ムル件)ノ會議ニ於テ委員長鶴澤總明君ハ承諾ヲ與フヘキモノトノ報告ヲ爲シ正木照藏君ハ承諾ヲ與フヘカラストノ少數意見

ノ報告ヲ爲シ討論ニ入り正木照藏君ハ委員長報告ニ反對、横田千之助君ハ賛成ノ演説ヲ爲シ
タリ

又委員長報告修正ニシテ少數意見ハ委員長報告ト異ナレル部分ヲ修正スルモノナルトキハ原案賛
成者ヨリ發言セシムヘキモノトス

參看 二六四號、三二七號

三五九 一議案ニ對シ四日間ニ互リ討論ヲ爲ス

第四十五回議會 安達謙藏君外十名提出衆議院議員選舉法中改正法律案ノ第一讀會ハ大正十
一年二月二十三日ヨリ二十四日、二十五日、二十七日ノ四日間ニ互リテ討論ヲ繼續シタリ

參看 二七七號

第十六節 動議

三六〇 緊急動議ハ何時ニテモ提出スルコトヲ得

緊急動議ハ議事日程ノ會議ニ先チ又ハ會議中ニ提出セラレタルコト例示ニ違アラス而シテ一會期
ノ始ニ於テ選舉スヘキ全院委員長及常任委員ノ選舉ニ先チ提出セラレタルコトアリ左ノ如シ

第五回議會 明治二十六年十一月二十九日全院委員長及常任委員ノ選舉ニ先チ安部井磐根君ハ

緊急動議ヲ提出スル爲議事日程ノ變更ヲ求メタルニ議長(星亨君)ハ「君御注意ヲ致シテ置キ
マス此議院法ノ二十一條ニ「全院委員長ハ一會期ゴトニ開會ノ始ニ於テ之ヲ選舉ス」ト云フコ
トガアリマスノデ開會ノ始ニ於テ選舉シナケレバナラズ……之ヲ仕舞ツタ上デ而シテ緊急動
議ヲ御出シシナツタラバ如何デゴザイマセウカ」安部井磐根君「即チ問題ヲ述ベマス衆議院議
長星亨君ハ信任ヲ闕クモノト定メマシテ自ラ處決アランコトヲ望ムノ議案デアリマス」ト述
ヘ議長ハ緊急動議ノ爲議事日程ヲ變更スルヤ否ヤヲ採決シタリ

第四十七回(臨時)議會 大正十二年十二月十二日全院委員長及常任委員ノ選舉ニ先チ岩崎勳君

ハ緊急動議ヲ提出シ床次竹二郎君外五名提出決議案(震災遭難者ニ關スル件)及同君外五名提
出決議案(震災ニ關スル列國ノ同情ニ對シ感謝ノ件)ヲ議題ト爲シ其ノ審議ヲ進ムヘシトテ

第二編 會議 第二章 議事通則 第十六節 動議 (三五九、三六〇)

事日程ノ變更ヲ求メタルニ議長(粕谷義三君)ハ異議ナシト認メ日程ヲ變更シタリ

參看 三六一號、三六二號

三六一 議事進行ニ關スル動議又ハ議案ニ附帶セル動議ハ議事日程ノ變更ヲ要セス

議事進行ニ關スル動議又ハ議案ニ附帶セル動議ハ議事日程ヲ變更セス直ニ議題ト爲スヲ例トス

(一) 議事進行ニ關スル例

第十四回議會 明治三十三年一月三十一日工藤行幹君提出曩ニ審査ノ爲付託シタル議員瀆職ニ關スル法律案ハ速ニ委員會ノ審査ヲ終了シテ來ル二月五日迄ニ其ノ結果ヲ報スヘシトノ動議ニ對シ議長(片岡健吉君)ハ「今工藤君ノ緊急動議ハ成規ノ贊成ガアリマスガ此議事日程ヲ變更スルヤ否ヤ是マデノ慣例ヲ調ベテ見マスルト瑣末ノコトハ議事日程ヲ變更セズシテ決議ヲシタコトガアリマス議長ノ考デハ議事ノ進行ニ關スルコトハ議事日程ヲ變更セズシテ差支ナイト考ヘルノデアリマス是ニ御異議ガナケレバ將來進行ニ關スルコトハ議事日程ヲ變更セズシテ決議スルヤウニ致シタイト考ヘマス御異議アリマセヌカ」ト諮ヒシニ異議ナカリキ

(二) 議案ニ附帶セル例

第十四回議會 明治三十二年十二月十四日明治三十三年度豫算案ノ會議ニ於テ星亨君外二名提出建議案ニ付議長(片岡健吉君)ハ「是ハ豫算ニ附屬シテ居ル一種ノ決議デアリマスカラ議事日程ノ變更ハ要シナイモノト議長ハ認メマス」ト宣告シ直ニ議題ト爲セリ

第四十九回議會 大正十三年七月十一日政府提出贅澤品等ノ輸入税ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續會ニ於テ山本条太郎君ハ本案附帶ノ動議トシテ決議案ヲ提出シタルニ議長(粕谷義三君)ハ只今本案ノ第一讀會中ナルニ依リ暫ク之ヲ保留スル旨ヲ述ヘ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シタル際先刻保留セル決議案ヲ議題ト爲ス旨ヲ述ヘ直ニ該決議案ヲ議題ト爲シタリ

第五十回議會ニ四件、第五十二回議會ニ一件同一ノ事例アリ

參看 二九二號、四九九號

三六二 演說若ハ報告ニ關聯セル動議ハ議事日程ノ變更ヲ要セス

國務大臣若ハ議員ノ演說又ハ議長若ハ委員長ノ報告ニ關聯セル動議ハ概ネ先決問題又ハ議事進行ニ關スルモノナルモ然ラサル場合ト雖議事日程ヲ變更セス直ニ之ヲ議題ト爲スヲ例トス

(一) 國務大臣ノ演說ニ關聯セル動議

第一回議會 明治二十三年十二月十七日青木外務大臣條約改正ノ成行及之ニ付將來内閣ノ方針如何ノ質問ニ對スル答辯ノ演說ニ關シ橋本久太郎君提出明日再ヒ外務大臣ノ出席ヲ願フノ動議ヲ議題ト爲シタリ

第五十二回議會 昭和二年一月十九日國務大臣ノ演說ニ關スル質疑應答中砂田重政君ハ「只今鳩山一郎君ヨリ成規ノ贊成ヲ得テ提出サレマシタ書類提出ニ關スル決議案ハ國務大臣ノ質疑ニ關聯致シマスルガ故ニ此際之ヲ提案セラレテ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス」ト述ヘタルニ議長(粕谷義三君)ハ「只今砂田君ヨリ御述ベニナリマシタ如ク此動議ハ先例ニ依リマシテ日程變更ヲ要シマセヌカラ直ニ之ヲ議題ト致シマス……」ト告ケ提出者ノ趣旨辯明ヲ許可セリ

(二) 議員ノ演說ニ關聯セル動議

第四十二回議會 大正九年二月十三日大正九年度豫算案ノ會議ニ於ケル三土忠造君ノ「討論中」一部ノ煽動政治家ノ蠱ミニ倣ツテ杜撰ナル案ヲ作ルナラバ、何時デモ出來マス……普通選舉法ノ如キ……」ノ言辭ヲ取消スヘシトノ三木武吉君ノ緊急動議ヲ議題ト爲シタリ

(三) 議長ノ報告ニ關聯セル動議

第一回議會 明治二十四年二月四日工商諸會社ニ對スル保護政策ノ方針如何ヲ農商務大臣出席説明アラムコトノ要求ニ對スル政府ノ覆牒ノ報告ニ關シ青木匡君提出政府カ其ノ求メニ應ゼサルハ本院ニ對シ親切ヲ缺キ政府ノ責務ヲ盡ササルモノト認定ストノ動議ヲ議題ト爲シタリ
第五十二回議會 昭和二年一月二十五日小川平吉君外二十八名提出決議案(内閣ノ處決ニ關スル件)撤回ノ報告ニ關シ菊池謙二郎君外一名ヨリ決議案撤回ノ理由説明要求ニ關スル動議ヲ提出シ直ニ該動議ヲ議題ト爲シタリ

(四) 委員長ノ報告ニ關聯セル動議

第三十九回議會 大正八年七月十四日大正三年度決算ノ會議ニ於テ委員長石黒涵一郎君ノ報告ニ次テ高橋光威君ノ「……此決算ヲ重ズルノ意味ヲ以チマシテ、再審査ニ付スルノ決定ヲ與ヘラレンコトヲ」動議トシテ提出致シマス」トノ動議ヲ議題ト爲シタリ

三六三 議事及議決延期ノ動議提出セラルルトキハ先決問題トシテ直ニ議題ト爲ス

議事延期若ハ議決延期ノ動議ハ一時ノ延期ナルト否トヲ問ハス先決問題ナルヲ以テ直ニ議題ト爲

スヲ例トス

第二十五回議會 明治四十二年三月二十四日森本駿君外一名提出關稅定率法輸入稅表中改正法律案外一件ノ第一讀會ノ續會ニ於テ委員長報告ノ後議決ニ先チ大岡育造君ハ「此案ハ大切ナ案デアリマスカラ、次ノ議會ニ於テ慎重ニ議シタイト思ヒマスカラ延期致シタイノデアリマス」トノ動議ヲ提出シ議長(長谷場純孝君)ハ「延期ト云フ動議が出タ以上ハ之ヲ先決問題トシテ採用シヤウト思ヒマス」ト告ケ院議ニ諮ヒ延期ニ決シタル旨ヲ宣告ス

第四十回議會 大正七年三月十九日(第二號)大正七年度歲入歲出總豫算追加案外五件ノ會議ニ入ルニ先チ岩崎勳君ハ「曩ノ議事日程ノ變更ニ係ル(第二號)大正七年度歲入歲出總豫算ノ追加案外五件ハ一時其ノ會議ヲ延期スヘシ」トノ動議ヲ提出シ議長(大岡育造君)ハ院議ニ諮ヒ之ヲ採用スル旨ヲ宣告シタリ

第五十回議會 大正十四年二月二十一日政府提出衆議院議員選舉法改正法律案第一讀會ノ會議ニ入ルニ先チ成田榮信君ハ「此ノ議案ヲ次ノ本會議迄延期スヘシ」トノ動議ヲ提出シ討論ノ後記名投票ヲ以テ表決ニ付シ該動議ハ否決セラレタリ

第五十一回議會 大正十五年三月六日政府提出農業倉庫法中改正法律案ノ會議中志賀和多利君ヨリ緊急動議ヲ提出シ其ノ趣旨辯明ヲ爲シタルニ副議長(小泉又次郎君)ハ「只今志賀君ノ緊

急動議ハ御聽キノ通り議事延期ノ動議デアリマス……」ト告ケ先決問題トシテ直ニ採決ヲ爲セリ

三六四 議事延期ノ動議ヲ否決シタル場合ハ同日再ヒ同一ノ動議ヲ提出スルコトヲ得ス

第八回議會 明治二十八年三月二十三日明治二十五年年度決算ノ會議ニ於テ鈴木充美君ハ議事延期ノ動議ヲ提出シタルモ少數ニテ否決シ後末廣重恭君ハ再ヒ憲法上ニ關スル重大ノ問題ナルヲ以テ鄭重ニ審議セム爲決議ヲ延期スルノ動議ヲ提出シタルニ議長(楠本正隆君)ハ「鈴木充美君ハ曩ニ慎重ヲ要スルガタメニ第一ノ日程ノ決議ハ延期スベシト云フコトガ先決問題トナリマシテ乃チ少數デ否決シタルコトハ明カナルコトデアアル、ソレカラ……末廣重恭君ハ是ハ憲法問題ニ大關係ガアル故ニ第一ノ議事日程ノ議事ハ延期スベシト云フ(中略)同ジク猶豫ハ猶豫デアアル、ソレデ是ハドウモ斯ノ如キコトハ未來ノ大ニ決議權ニ關シテ餘程大事ナルコトデアアル、委員ニ付スルト云フ如キコトナラバソレハ別段ノコトガアル決議延期ト云フコトハドウモ議長ハ差向キ與ミスルコトガ出來マセヌ」ト宣告シ議事延期ノ動議ハ其ノ理由ノ異ナ

ルニ拘ラス同一問題ニ對シ同日再ヒ提出スルコトヲ許サザリキ
然ルニ提出者ヨリ議事延期ノ要求アリ院議延期ヲ許スヘカラスト決シタル後更ニ議事延期ノ動議
ヲ採決シタルコトアリ

第三十七回議會 大正四年十二月十八日大場茂馬君提出決議案ノ會議ニ於テ議長(島田三郎君)

ハ「日程第二ニ移ル順ニナツテ居リマス、然ルニ提出者大場茂馬君ガ咽喉病ノ爲ニ説明困難ト
云フ理由ヲ以テ醫者ノ證明ヲ添ヘテ延期ヲ請フト云フ請求ガアリマス、此事ニ就テハ日程ニ
載ツテ居ルモノデアリマスカラ院議ニ依ツテ許否ヲ決シマス」ト諮リタルニ武内作平君ハ延期
ノ請求ヲ許スヘカラスト述ヘ院議遂ニ延期スヘカラスト決シ大場君ハ登壇シタルモ大隈内閣
總理大臣出席ナキ爲其ノ出席アル迄趣旨辯明ニ入ラスシテ議長ニ出席方交渉中松田源治君ハ
議事進行ニ付發言ヲ求メ大隈内閣總理大臣出席迄大場茂馬君ノ決議案ノ説明ヲ延スヘシトノ
動議ヲ提出シ更ニ採決ノ結果該動議ヲ否決シタリ

三六五 議案ノ提出者ヨリ議事ノ延期ヲ請求スル場合ハ議題トナラサル以前
ハ議長之ヲ許可ス

從來議事日程ニ掲載セラレタル議案ニ對シ提出者ヨリ當日都合ニ依リ其ノ日程ヨリ取除カレムコ
トヲ請求シ又ハ議事延期ヲ請求シタル場合ニハ議長ハ院議ニ諮ヒ若ハ諮フコトナク之ヲ許可シタ
ルモ近時ハ議題ト爲ラサル以前ハ議長ニ於テ之ヲ許可シ議題ト爲リタルトキハ院議ニ諮フコトト
爲レリ而シテ其ノ請求ヲ許可セザリシハ左ノ場合トス

第二十一回議會 明治三十八年二月二十三日議長(松田正久君)ハ宮部襄君提出葉煙草專賣法附
則中改正法律案ハ提出者ヨリ議事ノ延期ヲ申出テラレタル旨ヲ告ケ之ヲ許可スルニ異議ナキ
ヤヲ院議ニ諮ヒタルニ異議アリタルニ依リ請求ヲ許スヘキヤヲ採決セルニ少數ナリキ

第二十三回議會 明治四十年三月十八日議長(杉田定一君)ハ神崎東藏君外九名提出第二高等農
林學校位置選定ニ關スル建議案ヲ議題ト爲シ次テ「是ハ提出者ヨリ延期ノ申出ガアリマス」ト
告ケタルニ異議アリタルニ依リ請求ヲ許スヘキヤヲ採決セルニ少數ナリキ

第三十七回議會 大正四年十二月十八日議長(島田三郎君)ハ大場茂馬君提出決議案(大隈内閣
總理大臣、司法大臣及司法官吏彈劾ノ件)ヲ議題ト爲シ次テ「提出者ヨリ病氣ノ爲ニ説明困難
ト云フ理由ヲ以テ醫者ノ證明ヲ添ヘテ延期ノ請求ガアリマス」ト告ケタルニ異議アリタルニ
依リ請求ヲ許スヘキヤヲ採決セルニ少數ナリキ

參看 二二二號、三四六號、三四七號

第十七節 日程變更

衆第八四條

三六六 議事日程變更ノ緊急動議ハ何時ニテモ提出スルコトヲ得

議事日程ニ記載シタル事件アルニ拘ラス議員ヨリ他ノ緊急事件ニ付開議ノ動議ヲ起シタルトキ又ハ議長自ラ緊急事件ト認ムルトキハ討論ヲ用キスシテ議院ニ諮ヒ何時ニテモ議事日程ヲ變更スルコトヲ得ルモノトス但シ政府案ニ先チテ議事ニ付セムトスルニハ政府ノ同意ヲ要ス

三六七 議事日程變更ノ緊急動議ノ趣旨辯明ハ之ヲ爲ササルヲ例トス

日程變更ノ緊急動議ハ何時ニテモ提出スルコトヲ得ルモ討論ヲ用キスシテ其ノ許否ヲ決スヘキモノニシテ且動議ノ趣旨モ自ラ明瞭ナルヲ以テ趣旨辯明ヲ爲スコトナク單ニ日程ヲ變更シテ何々ヲ議題トセラレムコトヲ望ムト述フルヲ例トス然ルニ第五十三回議會昭和二年五月五日松田源治君ハ日程變更ニ關スル動議ノ趣旨辯明ヲ求メタルニ議長ハ直ニ動議ノ採決ヲ爲シタル爲松田君ハ議事進行ニ依リ發言ヲ求メ日程變更ノ動議ノ趣旨辯明ヲ許サザリシハ不當ナリト述ヘ議長ハ當時日程ヲ變更シ緊急質問ヲ上程スヘシトノ意ニ解シタル旨ヲ釋明シタリ

第五十四回議會 昭和三年一月二十一日ノ本會議ニ於テ議長(森田茂君)ハ山道襄一君ヨリ成規

ノ賛成ヲ得テ「賀表捧呈決議案採決後日程ヲ變更シ直ニ總テノ動議ニ先チテ濱口雄幸君外二十七名提出ノ決議案ヲ上程シ提案者ノ趣旨辯明ヲ求メ其ノ審議ヲ進メラレムコトヲ望ム」トノ動議提出セラレタル旨ヲ告ケ賛成者松田源治君ハ右動議ノ趣旨ヲ辯明セリ

同日千葉三郎君ヨリ「武藤山治君提出ノ決議案ハ日程ヲ變更シテ田中總理大臣ノ施政方針演說以前ニ其ノ審議ヲ進メラルヘシ」トノ動議ヲ提出シ同君ハ其ノ趣旨ヲ辯明セリ

三六八 同一議案ニ對スル議事日程變更ノ動議ハ同日再ヒ提出スルコトヲ得

日程以外ノ議案ヲ院議ニ付スル爲議事日程ノ變更ヲ求ムルノ動議若ハ討論中ノ議案ニ對シ引續キ會議ヲ開クノ動議ノ如キハ先ニ否決セラレタル場合ニ於テモ同日時ヲ隔テテ再ヒ提出セラレタルコト尠カラス

參看 四五〇號

衆第八四條

三六九 政府ニ議事日程變更ノ同意ヲ求ムル間ハ議事ヲ進行セス

政府ニ同意ヲ求ムルノ手續ハ議長ハ書記官長若ハ書記官ヲシテ政府ニ口頭ヲ以テ同意不同意ヲ照會セシムルニ止マリ別ニ書面ヲ以テ往復シタルコトナシ其ノ回答ナキ間ハ議院ハ議事ノ進行ヲ止メ發言ヲ求ムル者アルモ之ヲ許サス其ノ同意アルヤ否ヲ待ツヲ例トス

然ルニ政府ニ議事日程變更ノ同意ヲ求ムル際特ニ休憩シタルコト第一回議會ニ四回、又他案ニ關スル動議若ハ質疑ヲ許可シタルコト第一回、第四回、第十回議會ニ各一回アリ

參看 二一三號、六〇五號

三七〇 政府議事日程ノ變更ニ同意セサル場合ニ於テ政府提出議案議了後他

ノ議案ニ先チ直ニ議事ニ付セムトスルニハ更ニ議事日程ノ變更ヲ要ス

政府提出案ニ先チ議員提出議案ヲ會議ニ付スル爲議事日程ヲ變更シ政府ニ同意ヲ求メタルニ政府ノ之ニ同意セサリシコト第一回、第二回、第四回、第五回、第十回、第五十三回及第五十四回議會ニ各一回アリ而シテ政府提出案ノ議了前概ネ散會シタルモ第十回議會ニ於テハ議了後他案ニ先チ議事ニ付スル爲更ニ議事日程ヲ變更シタリ

第十回議會 明治三十年三月二十四日小室重弘君ハ請願ヲ一括シテ院議ニ付スル爲議事日程變

更ノ動議ヲ提出シ院議異議ナキヲ以テ議長(鳩山和夫君)ハ政府ニ同意ヲ求メタルニ政府之ニ應セス野口巖君ヨリ更ニ同一ノ動議ヲ提出セルニ依リ政府提出議案議了後議長ハ「請願ニ關スル總テノ日程ヲ引上ゲテ此際議スベシト云フ動議ガアル此動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス」ト告ケ多數ニテ之ヲ可決シタリ

參看 二一二號、六〇五號

三七一 議事日程ニ掲載セラレタル議案ニシテ同種若ハ關聯セルモノ又ハ提出者同一ナルモノヲ一括シテ議事ニ付セラル

議案ノ日程ノ順位ヲ繰上ケ議事ニ付セムトスルニハ日程ノ變更ヲ要スルモ第二十三回議會以來議案ヲ議スルニ際シ提出者同一ナルカ又ハ同種若ハ關聯セル議案ハ便宜一括シテ議事ニ付スルヲ例トスルヲ以テ此ノ場合ハ概ネ院議ニ諮フモ會期切迫ニ際シテハ院議ニ諮フコトナク一括議事ニ付シタルコトナシトセス

第十八節 先決問題

三七二 會議事項ニ先チ表決ノ必要アル動議ハ先決問題トス

先決問題ハ議題ニ直接ノ關係ヲ有スルト否トヲ問ハス之ヲ議決スルニ非サレハ議事ヲ進行スル能ハサルモノナルヲ以テ日程變更ヲ要セス直ニ之ヲ議題ト爲スヲ例トス

第一 議題ニ直接ノ關係ヲ有スルモノ

(一) 選舉ノ際選舉ニ關スル規則改正ヲ議スルノ動議

選舉ノ際選舉ニ關スル規則改正ヲ議スルノ動議ハ先決問題ナルヲ以テ日程ノ變更ヲ要セサルモノナルモ發議者ヨリ議事日程ノ變更ヲ求ムルコト往々之レアリ且議長ニ於テモ日程變更ヲ諮リタルコトナシトセス

第二回議會

明治二十四年十一月二十七日全院委員長及常任委員ノ選舉ノ始ニ於テ山田東次君

ハ「豫テ提出致シテ置キマシタ衆議院規則改正案デゴザイマスガ此事ハ委員ノ選舉ニ先ツテ議サナケレバナラヌコトト考ヘマスカラ緊急……本日此議場ノ問題トサレンコトノ動議ヲ提出シマス」ト述ヘ可決シタルヲ以テ議長(中島信行君)ハ先決問題トシテ直ニ之ヲ議題ト爲シタリ

第十七回議會 明治二十五年十二月十日全院委員長及常任委員選舉ノ始ニ於テ松田正久君ハ

「本員外二名ヨリ提出セル衆議院規則中改正案ハ最モ緊急ノコトニ係リマスカラ議事日程ヲ變更サレテ之ヲ院議ニ付セラレムコトヲ發議シマス」ト述ヘ議長(片岡健吉君)ハ院議ニ諮ヒ直ニ之ヲ議題ト爲シタリ

第二十一回議會 明治三十七年十二月一日全院委員長及常任委員選舉ノ始ニ於テ大岡育造君ハ

「茲ニ緊急動議ヲ提出致シマスソレハ衆議院規則中ノ改正案ヲ直ニ第一ニ討論ニ付シタイト云フコトデゴザイマス」ト述ヘ議長(松田正久君)ハ院議ニ諮ヒ直ニ之ヲ議題ト爲シタリ

第二十六回議會 明治四十二年十二月二十五日全院委員長及常任委員ノ選舉ノ始ニ於テ鳩山和

夫君ハ「此際緊急動議ヲ提出致シマス、投票ニ關スル規則案ト云フモノヲ私共カラ提出シテアリマス、ソレヲ本日ノ議事ニ直グ適用シタイト云フ考デアリマス、此案ヲ此場合ニ議題ニ供セラレムコトヲ望ミマス」ト述ヘ院議異議ナク可決シタルヲ以テ副議長(肥塚龍君)ハ「ソレデハ鳩山君ノ緊急動議ヲバ先決問題ト致シマス」ト告ケ直ニ之ヲ議題ト爲シタリ

(二) 決算ヲ議事日程ニ掲クヘカラストノ動議又ハ之ヲ貴族院ニ送付スヘシトノ動議

第八回議會 明治二十八年三月二十三日明治二十五年年度決算ノ會議ニ際シ小西甚之助君ハ決算ハ議事日程ニ掲クヘキモノニアラストノ動議ヲ提出シ之ニ贊成者アリタルニ議長(楠本正隆

君)ハ「小西君ノ意見ニ對シテ議長ガ判斷ヲ下スニ議事日程變更ニハ及バズ即チ此案ヲ議スルニ就イテ先決問題トシテ討論ノ議題トナリマシタ……」ト告ケ直ニ之ヲ議題ト爲シタリ又其ノ議決ニ際シ波多野傳三郎君ハ決算ハ法律案豫算案承諾ヲ求ムル議案ト同シク議決ノ上ハ之ヲ貴族院ニ送付スヘシトノ動議ヲ提出シタルニ議長ハ決算ノ決議ニ對スル先決問題トシテ表決ニ付シタリ

參看 四七八號

(三) 趣旨辯明省略ノ動議

議案ノ趣旨辯明ヲ省略スルノ動議ハ先決問題トシテ之ヲ採決ス而シテ此ノ動議ハ概ネ直ニ委員ニ付託若ハ即決ノ動議ヲ伴フヲ以テ議長ハ之ヲ一括シテ採決スルヲ例トス

參看 二七三號

(四) 讀會省略ノ動議

讀會省略ノ動議ハ先決問題トシテ之ヲ採決スルヲ例トス

第八回議會 明治二十八年二月四日田艇吉君外二名提出町村制中改正法律案第一讀會ノ續會ニ於テ讀會省略ノ動議起リタルトキ森輝見君ハ「私ハ修正ガゴザイマスカラニ讀會ニサレムコトヲ望ミマス」ト述ヘタルモ議長(楠本正隆君)ハ先決問題トシテ讀會省略ノ動議ヲ採決シタ

リ

第十回議會 明治三十年三月二十四日政府提出貴族院送付重要輸出品同業組合法案ノ第二讀會

ニ於テ第三讀會省略ノ動議起リタルトキ草刈親明君ハ「反對デス各條ニ就イテ異議ガゴザイマスカラ」ト述ヘタルニ議長(鳩山和夫君)ハ「讀會ヲ省略シテモ各條ニ就イテ修正ヲ御提出ガ出來マスガ……」ト告ケ先決問題トシテ讀會省略ノ動議ヲ採決シタリ

第十二回議會 明治三十一年六月一日政府提出貴族院送付日本勸業銀行法中改正法律案第一讀會ノ續會ニ於テ讀會省略ノ動議起リタルトキ加藤六藏君ハ「修正ガアリマス」ト述ヘタルモ議長(片岡健吉君)ハ先決問題トシテ之ヲ院議ニ諮ヒ加藤君ヨリ異議ヲ唱ヘタルモ「讀會省略ノ後デモ修正ハ出來マス讀會省略ヲ致シマス」ト宣告シタリ

第四十二回議會 大正九年二月五日政府提出大正八年法律第五號中改正法律案、同月十七日政府提出朝鮮ニ於ケル國勢調査ニ關スル法律案外二件、同月十九日政府提出大正八年法律第九號中改正法律案ハ何レモ第一讀會ノ續會ニ於テ讀會省略ノ動議起リ先決問題トシテ院議之ヲ採用シタリ

參看 四四二號

(五) 總テノ動議ニ先チ若ハ國務大臣ノ施政方針演說ニ先チテ決議案ノ審議ヲ進ムヘシトノ

第二編 會議

第二章 議事通則

第十八節 先決問題

(三七二)

三百三十七

動議

第五十四回議會 昭和三年一月二十一日山道襄一君ハ成規ノ賛成ヲ得テ賀表捧呈決議案採決後
 日程ヲ變更シテ直ニ總テノ動議ニ先チテ濱口雄幸君外二十七名提出ノ決議案ヲ上程シ提出者
 ノ趣旨辯明ヲ求メ其ノ審議ヲ進メラレムコトヲ望ムトノ動議ヲ提出シ院議本動議ヲ可決シタ
 ル結果決議案ハ日程ヲ變更スルニ決シタルモ政府ノ同意ヲ得ザリキ
 同日千葉三郎君ハ武藤山治君提出ノ決議案ヲ議事日程ヲ變更シテ田中總理大臣ノ施政方針演
 說以前ニ其ノ審議ヲ進メラルヘシトノ動議ヲ提出シ院議少數ニテ否決セリ

【備考】

同日右動議採決後國務大臣ノ演說ニ移リ三土大藏大臣ノ演說中武藤山治君ヨリ國務大臣演說終了後凡テノ議案ニ先チ直ニ
 同君提出ノ決議案ノ審議ヲ行フヘシトノ動議ヲ議長ノ手許ニ提出シ次テ山道襄一君外一名ヨリ議事日程ヲ變更シ武藤山治
 君提出ノ決議案ノ上程ニ先立テ濱口雄幸君外二十七名提出ノ決議案ヲ國務大臣ノ演說終了後直ニ上程シ提出者ノ趣旨辯明
 ヲ求メ其ノ審議ヲ進メラレムコトヲ望ムトノ動議ヲ提出シタルモ國務大臣ノ演說終了セル際解散ヲ命セラレタル爲共ニ院
 議ニ上ラザリキ

(六) 數議案ヲ一括シテ院議ニ付スルノ動議

數議案ヲ一括シテ院議ニ付スルノ動議ハ先決問題トシテ之ヲ採決シ又一議案ノ已ニ院議ニ上レル

トキト雖他ノ數議案ヲ之ト一括議題ト爲スノ動議起ルトキハ直ニ之ヲ採決スルヲ例トス蓋一括議
 題ト爲スノ動議ハ議事日程ノ順序ニ依ラス便宜併セテ議題ト爲サムトスルモノニシテ議事方法ニ
 關スル動議ナルヲ以テナリ

第九回議會 明治二十九年一月十三日議事日程第三政府提出牛馬賣買免許規則其ノ他廢止法
 律案ノ第一讀會ニ於テ吉本榮吉君ハ日程第三乃至第八ヲ一括シテ議題ト爲スヘシトノ動議ヲ
 提出シタルニ議長(楠本正隆君)ハ「第八マデヲ一括シテ議題ニ供スルガ便利デアルト云フ動
 議デゴザイマス」ト告ケ先決問題トシテ之ヲ採決シタリ

同 二十九年三月二十五日議事日程第十三ヲ議了スルヤ星亨君ハ「今日日程ノ第十四ヨリ第十
 八マデヲ同時ニ會議ニ掛ケラレムコトヲ望ミマス……之ヲ一々分ケテ議題トスルニハ及ブマ
 イト思ヒマス」トノ動議ヲ提出シタルニ議長ハ「サウ云フノデスカ然ラバ別段御異議ガナイケ
 レバ第十八マデヲ以テ議題ト致シマス」ト告ケ先決問題トシテ之ヲ院議ニ諮ヘリ尙同一ノ場
 合ニ回アリ

參看 四一四號

(七) 修正ノ範圍ニ關スル動議

第一回議會 明治二十四年二月一日伊藤大八君提出集會及政社法改正案ノ第二讀會ニ於テ末松

謙澄君ハ修正トシテ一ノ同改正案ヲ提出セルニ伊藤大八君ハ「只今出サレタ所ノ修正案ハ拙者ガ出シマシタ所ノ議案ニ對シテ如何ナル所ノ條ヲ修正シタノデ御座イマスカ」ト問ヒ末松君「……其修正文タルヤ現行法ヲ修正スルコトニ當ル……今出テ居ル處ノ此法案ト云フモノハ盡ク否決スル方ニナリ否決シテ而シテ私ノ持出シタル處ノ二個條文ヲ之ヲ修正シテ即チ修正シタ處デハ只今ノ現行法ニ修正シタコトニ當ルノデアリマス」ト説明セルニ反對論アリタルヲ以テ議長(中島信行君)ハ「……末松君ノ提案ニナツタル案ヲ一ノ修正案トシテ此ノ議場ニ採用スルヤ否ヤヲ決シマス」ト告ケ先決問題トシテ之ヲ採決シタリ

第四回議會 明治二十六年二月十七日湯本義憲君提出木曾、澱、利根、信濃四大川ノ治水ニ關スル建議案ノ會議中野出鋪三郎君ハ委員會ニ於テ四大川ヲ十一大川ニ修正セルニ對シ先決問題トシテ「(前略)委員會ノ報告ト云フモノハ付託外ニ涉ッテ越權ノ處置デアラウト本員ハ信ジテ居ルノデアアル(中略)更ニ委員ヲ選舉シテ以テ是ニ調査セシムルコトノ一ノ動議ヲ茲ニ提出致シマスルノデアリマス」ト述ヘ議長(星亨君)ハ「……ソレデ今ノハ先決問題デスナ……贊成ガアツテ問題ガ成立チマシタカラ、是ヨリ其事ニ就イテ論ジマス」ト告ケ之ヲ討論ニ付シタリ

第九回議會 明治二十九年二月六日竹内正志君外三名提出集會及政社法中刪除法律案ノ第二讀會中小西甚之助君ヨリ議案以外ノ條項ノ刪除及條數繰上ノ修正動議ヲ提出セルニ對シ草刈親

明君ハ「(前略)三十條及三十六條ノ削除ト云フコトハ現行集會及政社法ヲ削除修正スルト云フ即チ改正法律案ト爲ルノデアリ……衆議院規則第八十六條(改正第八十八條)ニ依ッテ其改正ノ理由ヲ附シサウシテ贊成者ト共ニ署名シサウシテ議長ノ方ヘ提出シタ後デゴザイマセヌケレバ議事ニ付スベキモノデナイ(中略)小西君ノヤル所ノ仕事ハ此範圍外ニ出デ……甚ダ其當ヲ得ナイモノト思ヒマス……」ト發議シ議長(楠本正隆君)ハ「草刈親明君ノ意見ハ修正案トシテ提出スベキモノデナイト云フニ贊成ガアリマス之ヲ先決問題トシテ決議ヲ採リマス……」ト告ケ之ヲ採決シタリ

參看 三八五號

(八) 直ニ採決ヲ爲スノ動議

第十三回議會 明治三十二年三月七日(追第五號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件ノ會議中質疑續出シ未タ討論ニ入ラサルニ際シ直ニ採決ヲ爲スヘシトノ動議起リ之ニ贊成者アリタルニ依リ議長(片岡健吉君)ハ「動議ガ出マシタカラ贊成ガアレバ採決シマス」大岡育造君「通告ガアリマス」議長「通告ガアリマシテモ……贊成者ガアレバ決ヲ採リマス」ト告ケ先決問題トシテ之ヲ採決シタリ

第三十七回議會 大正四年十二月十八日大場茂馬君提出決議案(大隈內閣總理大臣、尾崎司法大

臣彈劾ノ件)會議ニ於テ小山松壽君ハ「大場君ノ決議案ノ主旨ハ前決議案ト同ジデアリマスカラ説明ヲ聽カズ討論ヲ用キズ採決セラレンコトヲ發議致シマス」ト述ヘ議長(島田二郎君)ハ先決問題トシテ院議ニ諮ヒ之ヲ採決シタリ

同日林毅陸君提出決議案(違憲認定ノ件)會議ニ於テ武内作平君ハ「本案ハ是マデ討議致シマシタル議案ト略ボ内容同一デアリマス更ニ討論ヲ用キズシテ採決スベシ」トノ動議ヲ提出シ議長ハ院議ニ諮ヒ之ヲ採決シタリ

第五十二回議會 昭和二年三月三日政府提出震災手形損失補償公債法案外一件ノ會議ニ於テ西方利馬君提出同法律案ニ附帶セル決議案ノ趣旨辯明ヲ終ルヤ副議長(小泉又次郎君)ハ「井本君ヨリ本案ニ對シテハ質疑討論ヲ用キズシテ採決スベシトノ動議ガ提出サレテアリマス先ヅ井本君ノ動議ヲ採決致シマス」ト述ヘ先決問題トシテ採決セリ

同日同法律案ノ會議ニ於テ千葉二郎君委員再付託ノ動議ヲ提出シ其ノ趣旨辯明終ルヤ議長(粕谷義三君)ハ「本案ニ對シマシテハ贊否ノ討論ノ通告ガアリマス併ナガラ之ニ先チマシテ井本常作君ヨリ千葉二郎君提出ノ委員再付託ノ動議ハ討論ヲ用キズシテ採決スベシトノ動議ヲ提出セラレマシタ此動議ハ先決問題デアリマスカラ茲ニ之ヲ採決致シマス」ト述ヘ該動議ヲ再付託ノ動議ノ更ニ先決問題トシテ直ニ之ヲ採決シタリ

第二十二回、第二十七回、第五十回及第五十二回議會ニ同一事例アリ

參看 三二七號

(九) 委員ノ審査ニ條件ヲ附スルノ動議

第三回議會 明治二十五年五月二十四日加藤平四郎君外四名提出衆議院議員選舉法改正案ノ第一讀會中委員付託ノ動議起リ之ニ贊成者アリタルトキ末松謙澄君ハ委員ニ付託スルニハ選舉區畫及納稅資格ハ現行法ノ儘ニスルコトノ條件ヲ附スヘシトノ動議ヲ提出シタルニ先決問題ニ非スト呼フ者アリテ議場喧騒シタルモ議長(星亨君)ハ「先決問題ノ先決問題デアルカラ許シテモ差支ナイ」ト云ヒ此ノ動議ニ贊成者アリタルヲ以テ議長ハ「……ソレデ今此委員ニ付スルト云フ説ガ出テ贊成ガゴザイマスソレデ先決問題委員ニ付スルニハ是丈ノゆゑすどまくしよんと云ヒマスカ條件附ノ委員ヲ置クコトガ必要デアルト云フ動議ガ出來テソレニ贊成者ガアリマスカラ之ヲ以テ先決問題ト極メマセウ依テ此先決問題カラ先キニ極メマス」ト告ケ委員付託ノ動議ニ先チ之ヲ採決シタリ

第十七回議會 明治三十五年十二月十三日政府提出地租條例中改正法律案ノ第一讀會中委員選舉ノ動議ニ次テ工藤行幹君ハ地租條例中改正法律案ノ委員ハ豫算委員會ノ審査結了以前ニ其ノ審査ノ結果ヲ報告スヘシトノ動議ヲ提出シタルニ議長(片岡健吉君)ハ先決問題トシテ委員

選舉ノ動議ニ先チ之ヲ採決シタリ

參看 三二八號

(一〇) 委員付託ノ動議

第八回議會以來委員付託ノ動議提出セラルルトキハ通告者ノ發言前ナルト討論ニ入りタルトヲ問ハス先決問題トシテ直ニ之ヲ採決スルヲ例トス

參看 三二三號

(一一) 委員ニ再付託ノ動議

第三十一回議會 大正三年二月十四日關直彥君外五名提出營業税法廢止法律案外十件ノ會議ニ於テ委員長奧繁三郎君ノ報告ニ次テ再審査ヲ求ムル者アリ議長(大岡育造君)ハ「再審査ヲ求ムルト云フ動議ニ對シテダケハ許サナケレバナラヌト認メマス」ト告ケ守屋此助君ニ發言ヲ許シ同君ハ各案ヲ再ヒ委員ニ付託シ之ヲ審査セシムヘシトノ動議ヲ提出シ議長ハ先決問題トシテ之ヲ院議ニ付セリ

第三十七回議會 大正四年十二月二十六日臨時軍事費豫算追加案ノ會議ニ於テ高木益太郎君ヨリ豫算委員會ノ審査ハ不充分ナルニヨリ再審査ニ付スヘシトノ動議ヲ提出シ議長(島田三郎君)ハ之ヲ先決問題トシテ本案ニ先チ採決シタリ

第四十六回議會 大正十二年五月五日政府提出中央卸賣市場法案ノ會議ニ於テ田川大吉郎君ハ委員長報告ニ對シ再審査ノ動議ヲ提出シ議長(粕谷義三君)ハ「田川君ノ動議ニハ定規ノ贊成ガアルト認メマス、此問題ガ先決問題デアリマスカラ直ニ採決致シマス……」ト告ケ此ノ動議ヲ採決シタリ

第五十二回議會 昭和二年三月三日政府提出震災手形損失補償公債法案外一件第一讀會ノ續會ニ於テ議長(粕谷義三君)ハ「千葉三郎君ヨリ成規ノ贊成ヲ得テ議長指名二十七名ノ委員ヲ設ケテ更ニ其審査ヲ付託スベシトノ動議ヲ提出セラレマシタ此動議ハ先決問題デアリマスカラ直ニ之ヲ議題トシテ提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス」ト述ヘ先決問題トシテ直ニ議題ト爲シタリ

(一二) 繼續委員ヲ設クルノ動議

第十二回議會 明治三十一年六月七日政府提出地租條例中改正法律案第一讀會ノ續會ニ於テ中野武營君ハ先決問題トシテ繼續委員ヲ設クルノ決議案ヲ提出シタルニ伊藤内閣總理大臣ハ之ニ反對セルニ依リ副議長(元田肇君)ハ右決議案ニ付テハ政府ノ同意セサルニ依リ成立セサルモノヲ院議ニ付スルノ嫌ヒアルモ院議ニ諮フ旨ヲ告ケ之ヲ議題ト爲シタリ

第三十七回議會 大正五年二月十七日政府提出簡易生命保險法案外一件ノ第一讀會ノ續會ニ於

テ委員長ノ報告ニ次テ堀切善兵衛君ハ少數意見トシテ議院法第二十五條ニ依リ繼續委員ヲ設ケ之ニ付託スヘシトノ意見ヲ報告シ贊成者アリテ議題トナリタルニ依リ討論ノ末議長(島田三郎君)ハ「少數者ノ意見ハ先決問題デアリマスガ本案ノ贊否成立ト關聯セルニ依リ本案其物ト本動議ト同時ニ議題ト爲シ採決ニ際シテハ先ツ之ヲ採決致シマス」ト告ケ討論ノ後之ヲ採決シタリ

(一三) 投票漏アルモ再ヒ投票ヲ許スヘカラストノ動議

第二十六回議會 明治四十三年二月五日中午村舜次郎君ノ議員資格審査ノ件ニ對シ無名投票ヲ以テ採決シタル際議長(長谷場純孝君)ハ「投票漏ハアリマセヌカ 尙念ノタメニ申上マスガ萬一名刺ダケヲ書記官ニ渡シテ球ヲ入レルコトヲ御忘レニナツタ方ガアリマシタナラバ」ト注意シ「私ガ忘レタト思ヒマス」ト云ヘル議員アリシニ長晴登君ハ「是ハ院議ニ諮ラテヤツテ貫ヒタイナゼカト云ヘバ議長ニ於テ誰某ガ投票ガ漏レテ居ルト云フコトガ明確ニナツテ居ルナラバ別デアリマスガ名刺ダケヲ出シテ球ヲ投ズルコトヲ忘レタ人ハナイカト言ハレテ投票ヲ忘レタ人ガ再ビスルト云フヤウナコトガアツテハ一ノ問題デアリマス (中略)若モ此投票ガ不足デアツテ其數ガ合ヘバ宜シイケレドモ若モ過剩ニナツタ場合ニ於テハ何トモ始末ノ付ケヤウガナイ結果ヲ生ジマスカラ其人ノ既ニ權利ヲ失ツタモノデアルカラシテ其コトニ

付テハ投票サセヌコトニ致シタイ」トノ動議ヲ提出シ贊成者アリタルヲ以テ議長ハ先決問題トシテ之ヲ院議ニ諮ヘリ

參看 三九三號

(一四) 議案議了迄ハ其ノ議案以外ノ一切ノ動議質疑ヲ許サストノ動議

第三十一回議會 大正三年二月十四日第二休憩後ノ會議ニ於テ伊藤大八君ハ「...此際日程ヲ變更シテ營業税法廢止法律案外九件並ニ地租條例中改正法律案ヲ議題トシ其議了マデハ右諸案以外ノ一切ノ動議質問ヲ許サズ」トノ動議ヲ提出シ議長(大岡育造君)ハ先決問題トシテ記名投票ヲ以テ採決シタリ

(一五) 議案議了迄一切ノ議事進行ノ發言ヲ許サストノ動議

第五十二回議會 昭和二年三月三日政府提出震災手形補償公債法案外一件ノ第一讀會ノ續會ニ於テ質疑終局スルヤ菊池謙二郎君、東武君、高橋熊次郎君ヨリ議事進行ニ付發言通告アリタルニ對シ井本常作君ハ日程第十八第十九第二十ノ審議終了迄一切ノ議事進行ノ發言ヲ許サストノ動議ヲ提出シ議長(粕谷義三君)ハ「只今井本常作君ヨリ日程第十八第十九第二十此各案ノ審議終了迄一切ノ議事進行ノ發言ヲ中止スルト云フコトノ動議ガアリマシタ此動議ガ出マシタ以上ハ議長ハ之ヲ採決スルノ外ハアリマセヌ」ト述ヘ先決問題トシテ直ニ之ヲ採決シタリ

(一六) 質疑終局ノ動議

質疑終局ノ動議起ルトキハ先決問題トシテ採決ス故ニ發言通告者アルモ直ニ其ノ動議ヲ採決ス

(一七) 討論終局ノ動議

討論終局ノ動議起ルトキハ發言通告者未タ發言セサル前又ハ通告者中發言ヲ爲ササル者アルモ先決問題トシテ採決スルヲ例トス

參看 三八八號、三八九號

(一八) 討論終局ノ實行ヲ延期スルノ動議

第一回議會 明治二十四年二月九日明治二十四年度豫算案歳出經常部外務省所管ノ會議中討論終局ノ動議可決ノ後政府委員岡部外務次官發言ヲ求メ議長(中島信行君)ハ其ノ發言ヲ許サムトシタルニ之カ許否ニ付議場喧騒シ植木枝盛君ハ討論終局ノ實行ヲ延期スヘシトノ動議ヲ提出シタルヲ以テ議長ハ先ツ此ノ動議ノ採決ヲ爲シタリ

參看 三九一號、六〇九號

(一九) 議事及議決延期ノ動議

議事及議決延期ノ動議ハ先決問題トシテ直ニ之ヲ議題ト爲スヲ例トス

參看 三六三號

(二〇) 豫算案ノ編成替ヲ要求スルノ動議

第十回議會 明治三十年二月十六日明治二十九年年度豫算追加案ノ會議ニ於テ陸軍省所管ニ對シ栗原亮一君ハ歳出入ノ平衡ヲ得サシメムカ爲ニ第二款及第三款ノ編成替ヲ求メ總額ニ於テ減額スヘシトノ修正說ヲ出シタルニ議長(鳩山和夫君)ハ「栗原亮一君ノ修正說ト稱セラレルモノガアリマスガ……修正說ト云フヨリハ寧ロ第二款第三款ノ新ニ編纂即チ編纂替ヲ求メルヤウニ思ヒマスガ左様デハナイノデスカ」栗原君「編纂替ヲ求メルノデアリマス即チ各款ニ就イテノ修正ニ涉ッテ居リマス」議長「ソレデハサウ云フコトニシテ」「是ハ三十人ハ要ラナイ一ノ動議デスカ」ト告ケ其ノ採決ニ際シ「栗原亮一君ノ動議ハ先決問題ノ様ニ考ヘマスカラ是カラ先ニ採決致シマス」ト宣告シタリ

同 三十年三月八日豫算委員長元田肇君ハ(總追第二號)明治三十年度總豫算追加案外二件ノ報告ヲ爲シ且右各案ハ本院ニ於テ政府ニ對シテ撤回ノ上更ニ編成提出ヲ請求スヘシトノ動議ヲ提出セルニ議長ハ「豫算委員長ノ報告……元田君ノ動議ハ先決問題ト認メテ宜シウゴザイマスカ」ト諮ヒ異議ナキヲ以テ先決問題トシテ之ヲ採決シタリ
第十三回、第二十三回、第二十四回、第二十七回、第二十八回、第三十一回、第四十四回、第五十回及第五十二回議會ニ同一ノ事例アリ

(二) 全院委員會ヲ開クノ動議

第三十一回議會 大正三年二月十二日大正三年度豫算案ノ會議中高木益太郎君ヨリ右豫算案ニ對シ質疑ノ爲全院委員會ヲ開クヘシトノ動議ヲ提出シ議長(大岡育造君)ハ「本動議ハ討論ヲ許サズシテ可否ヲ議場ニ諮フベキモノデアリマス」ト告ケ先決問題トシテ之ヲ採決シタリ

第三十七回議會(大正四年十二月二十七日)第四十三回議會(大正九年七月二十六日)ニ同一ノ事例アリ

第二 議題ニ直接ノ關係ナキモノ

(三) 議員ノ身上又ハ發言ニ關シ調査委員ヲ設クヘシトノ動議

第三回議會 明治二十五年六月十四日貴族院回付明治二十五年豫算追加案ノ會議ニ於テ稻垣示君ハ「本案ニ關シ議員中ニ收賄ヲ爲シ又ハ收賄セムトシタル者アルヲ以テ其ノ眞僞調査ノ爲委員ヲ設クヘシ」トノ動議ヲ提出セルニ議長(星亨君)ハ先決問題トシテ討議ニ付シタリ

第二十回(臨時)議會 明治三十七年三月二十三日政府提出臨時事件費支辨ニ關スル法律案ノ第一讀會中小河源一君ハ十八名ノ委員(議長指名)ヲ設ケテ議員秋山定輔君ニ關スル事實ヲ調査セシムヘシトノ動議ヲ提出シタルニ議長(松田正久君)ハ「是ハ如何デゴザイマセウカ本件ハ即チ議員ノ進退ニ關係スルコトデアッテ先決問題トシテ之ヲ決スルガ至當デアルト考ヘル因ッ

テ此事ヲ先決問題トシテ決スルヤ否ヤト云フコトヲ初メニ決シタイノデアリマスカラ諸君ノ御意見ヲ伺ヒマス」ト諮ヒ異議ナカリシヲ以テ先決問題トシテ之ヲ議題ト爲シタリ

第二十八回議會 明治四十五年三月二十二日小橋榮太郎君提出北海道拓殖經營ニ關スル建議案ノ會議ニ於テ三士忠造君ハ小橋榮太郎君ノ發言ニ關シ調査委員ヲ設クルノ動議ヲ提出シ議長(大岡育造君)ハ先決問題ト認メ之ヲ採決シタリ

然ルニ左ノ動議ニ付テハ議事日程ヲ變更シテ之ヲ院議ニ付シタリ

第八回議會 明治二十八年一月二十一日板東勘五郎君提出銀行問題ニ付議員收賄ノ事ヲ新聞ニ記載シアルハ本院ノ面目ニ關スルニ依リ調査委員ヲ設クヘシトノ動議

第二十三回議會 明治四十年三月十二日小川平吉君外二名提出本院ノ體面ニ關シ調査委員ヲ設クルノ動議

(三) 院内ノ秩序回復セラルル迄休會スルノ動議

第三十一回議會 大正三年二月十四日ノ會議ニ於テ武富時敏君ハ本日午後三時頃營業稅外九件ノ委員會ニ於テ議員ニアラサル大野某ナルモノ院内通行證第十四號竝委員會出入證第三號徽章ヲ佩用シ議員加賀卯之吉君ニ危害ヲ加ヘテ面部ヲ打撲シ疾病休業ニ週間ノ怪我ヲ負ハシメタリ議院内部ノ警察ハ議長ノ責任ナリ議長ハ如何ナル處理ヲセラルルヤ明答アリタシ而シテ

右答辯如何ニ拘ラス此ノ議場内ノ秩序ハ紊亂ノ極ニ達セルニヨリ秩序ノ回復セララル迄三日間休會スヘシトノ動議ヲ提出シ議長(大岡育造君)ハ右質疑ニ對シ辯明ヲ爲シ唯今ノ動議ヲ先決問題ト爲ス旨ヲ告ケ其ノ可否ヲ院議ニ諮ヘリ

同日右武富時敏君提出動議ノ採決ニ次テ才賀藤吉君ヨリ本日ノ營業稅委員會ニ於テ加賀卯之吉君ハ暴漢ノ爲ニ迫害ヲ加ヘラレ尙危險ノ狀態多々アルニ依リ本日ハ茲ニ休會スヘシトノ動議ヲ提出シ議長ハ先決問題トシテ之ヲ採決シタリ

(二四) 休憩ノ動議

第五十二回議會 昭和二年三月三日政府提出震災手形損失補償公債法案外一件ノ會議ニ於テ羽室庸之助君ヨリ一時間休憩スヘシトノ動議ヲ提出シタルニ依リ先決問題トシテ直ニ之ヲ採決シタリ

(二五) 或時期迄本院ノ議事中止ノ動議

第五十二回議會 昭和二年三月十二日ノ會議ニ於テ濱田國松君ハ議事進行ニ關スル緊急動議(片岡大藏大臣ハ震災手形法案ノ審議ニ際シ本院ニ於テハ財界動搖ニ藉口シテ緊要ナル事實關係ノ説明ヲ爲サス貴族院ニ於テハ之ニ反スル態度ニ出テ且本院議員ヲ侮蔑スル放言ヲ爲シタルハ本院ヲ藐視シタルモノニシテ政府カ反省ノ實ヲ舉クル迄本院ノ議事ヲ中止スヘシトノ

動議)ヲ提出シタルニ議長(粕谷義三君)ハ「濱田國松君ヨリ御提出ニナリマシタ動議ハ先決問題ト認メマスカラ直ニ其趣旨辯明ヲ許シマス」ト述ヘ直ニ議題ト爲シ趣旨辯明ヲ許可シ討論ノ後該動議ハ否決セラル

(二六) 國務大臣ノ出席要求又ハ希望ノ動議

國務大臣ノ出席ヲ要求シ又ハ希望スルノ動議ハ先決問題トシテ之ヲ採決スルヲ例トス

第三十一回議會 大正三年二月二十一日海軍問題ニ關スル件ノ會議ニ於テ齋藤隆夫君ハ「院議ヲ以テ總理大臣ノ出席ヲ要求ス」トノ動議ヲ提出シ議長(大岡育造君)ハ直ニ右動議ヲ院議ニ諮ヒ院議之ヲ採用シタリ

第四十回議會 大正七年二月十六日戰時船舶管理令(承諾ヲ求ムル件)會議ニ於テ野村嘉六君ハ「是非共總理大臣始メ各國務大臣ノ御出席ヲ院議ヲ以テ請求シマス」トノ動議ヲ提出シ議長(大岡育造君)ハ直ニ右動議ヲ院議ニ諮ヒタリ

第二十五回議會(明治四十二年一月二十一日)、第二十六回議會(明治四十三年二月二十三日)、第二十七回議會(明治四十四年一月二十四日)ニ同一ノ事例アリ

(二七) 十二時ヲ經過スルモ議事ヲ延長スルノ動議

第三十一回議會 大正三年二月十四日關直彦君外五名提出營業稅法廢止法律案外十件ノ會議ニ

於テ守屋此助君提出ノ委員ニ再審査ノ動議及小河源一君提出修正動議ノ討論中伊藤大八君ヨリ「十二時ガ經過致シマシテモ此問題ヲ終結スルマデハ議事ヲ延長シテ本案ヲ議了スルト云フ緊急動議デアルト」トノ動議ヲ提出シ議長(大岡育造君)ハ先決問題トシテ之ヲ院議ニ付シ討論終局ノ動議採決ノ際懲罰事犯アリタルヲ以テ散會ヲ宣告シ討論終局ノ動議ト共ニ本動議ハ採決スルニ至ラサリキ

(二八) 議員ノ補闕選舉ニ關スル動議

第二十四回議會 明治四十一年三月十四日議事日程ニ入ルノ前山口熊野君ハ武藤金吉君ノ補闕選舉ノ件ニ關シ十八名ノ調査委員ヲ設クルノ動議ヲ提出シ副議長(箕浦勝人君)ハ「山口君ノ動議ハ議員ノ存在ニ關シテ居ル問題デゴザイマスカラ議案ノ順序ニ拘ラズ此場合議題ト致シマス」ト宣告シ直ニ之ヲ採決シタリ

參看 一二三號、一二四號

(二九) 議員ノ身體ノ安全言論ノ自由ヲ保障スル爲議長ハ適當ノ處置ヲ爲スヘシトノ動議

第三十一回議會 大正三年二月十四日ノ會議ニ於テ藏原惟郭君ハ上記ノ動議ヲ提出シ議長(大岡育造君)ハ先決問題ト認メ藏原君ニ趣旨辯明ヲ許シ次テ採決セリ

三七三 先決問題ヲ本案ト共ニ議題ニ供シ採決ハ之ヲ先ニス

先決問題ノ提出セラルルトキハ直ニ之ヲ議題トシ可否ヲ決スヘキモノナルモ本案ト關聯シ討論スルヲ便宜トスル場合ニハ之ヲ併セテ議題トシ豫算返付ノ動議ノ如キハ概ネ本案ト共ニ討論ニ付スルヲ例トス而シテ採決ニ際シ先ニ之ヲ決定スルモノトス

第三十七回議會 大正五年二月十七日政府提出簡易生命保險法案外一件ノ第一讀會ノ續會ニ於

テ委員長報告ニ次テ堀切善兵衛君ハ本案ニ對シ繼續委員ヲ設クヘシトノ少數意見ヲ提出セシトキ議長(島田三郎君)ハ「此際更ニ一言致シテ置キマス、繼續委員ヲ設クベシトノ動議ハ先決問題デアリマス、先ヅ此動議ヲ議題トシテ之ニ付テ討論ヲ許シマス、サウシテ採決シテ然ル後ニ本案其物ニ移ルノガ精密ナル順序ダト考ヘマス併ナガラ、此動議ハ本案ノ成立ト關聯致シマシテ離ルベカラザルモノデアリマスカラ、同時ニ議題ト致シマシテ採決ニ際シテハ先決問題トシテ別ニ採リマス」ト宣告シタリ

第四十四回議會 大正十年二月十二日豫算案ノ會議ニ於テ委員長報告ニ次テ早速整爾君鈴木梅四郎君ハ孰レモ豫算返付ノ動議(先決問題)ヲ提出シタルニ依リ報告ニ次テ趣旨辯明ヲ爲サシメ然ル後返付ノ動議ハ本案ト共ニ討論ニ付シ採決ノ際返付ノ動議ヲ先ニ採決セリ

參看 三七二號ノ(二〇)

三七四 討論終局ノ動議ト委員付託ノ動議ト同時ニ起リシトキハ先ツ委員付託ノ動議ヲ採決ス

委員ニ付託スルヤ否ハ討論終局前ニ決定スヘキ事項ナルヲ以テ討論終局ト委員付託トノ二動議並起リタルトキハ委員付託ノ動議ヲ先ニ採決スヘキモノトス

第十三回議會 明治三十二年二月二十日星亨君外十三名提出第五回内國勸業博覽會ヲ東京市ニ設置スルノ建議案ノ會議中討論終局ノ動議起リタルトキ議長(片岡健吉君)ハ「討論終結ノ動議ガゴザイマシタガ先キニ此所ニ委員付託ノ動議ガ來テ居リマス是ハ先決問題ニナリマスカラ委員付託ノ採決ヲ致シマス」ト告ケ先ツ委員付託ノ動議ヲ採決シタリ

第二十七回議會 明治四十四年二月十八日島田三郎君提出織物消費稅法廢止法律案外二件ノ會議中討論終局ノ動議ニ次テ委員付託ノ動議起リ執レモ贊成者アリタルトキ議長(長谷場純孝君)ハ「……既ニ一面ニ於テ委員付託ト云フ動議、一面ニハ討論終結ノ動議、此二動議ガ同時ニ起リシトキニハ先ツ委員付託ノ說ヲ採決スルト云フコトガ先例ニナツテ居リマスカラ此先例ニ依テ是カラ採決致シマス」ト告ケ委員付託ノ動議ヲ採決シタリ

第四十三回議會 大正九年七月十二日植原悦二郎君外二名提出衆議院議員選舉法中改正法律案外一件ノ第一讀會中討論終局ノ動議ニ次テ委員付託ノ動議提出セラレタルトキ議長(奥繁三

郎君)ハ「諸君討論終結ノ動議ニハ贊成ガアツテ成立致シマシタ、サリナガラ委員付託ノ動議モ出マシテ贊成モアリマス仍テ先ツ委員付託ノ動議ヨリ採決スル考デス」ト告ケ先ツ委員付託ノ動議ヲ採決シタリ

參看 三二四號

三七五 讀會省略ノ動議ト委員付託ノ動議ト同時ニ起リシトキハ先ツ委員付託ノ動議ヲ採決ス

委員付託ト讀會省略トノ二動議並起リタルトキハ先ニ委員付託ノ動議ヲ採決スヘキモノトス

第三回議會 明治二十五年五月十三日箕浦勝人君外四名提出新聞紙法案ノ第一讀會中讀會省略ノ動議ニ次テ委員付託ノ動議起リ執レモ贊成者アリタルニ議長(星亨君)ハ「本件ヲ特別委員ニ付シテ其特別委員ハ議長ノ指名ニスル、之ヲ一緒ニ採ラウト思ヒマス……」ト告ケタルニ有友正親君ハ「特別委員ト云フ方カラ先キニ採ルト云フ御宣告デゴザイマス……此三讀會ノ順序ヲ省略スルト云フ方ヲ先キニ採ツテ置キマセスト大變都合ガ惡カラウ其方ヲ決シタ上……省略スルト云フコトニナリマスルト云フト此委員ヲ選バナイデモ宜イト思ヒマス」ト云ヒ議

長ハ「ケレドモソレハ原案ヨリ餘程遠クナルノデアリマス今マデノ例ニ依テ議長ハ四十一番ノ動議(即チ委員付託ノ動議)ヨリ採ツテソレガ消滅スレバ又ドウト云フコトガ出來ナケレバナラヌ……即チ此案ヲシテ議長ノ指名特別委員ニ付託スルト云フコトデゴザイマスカラ其說ニ賛成ノ方ハ起立ナサイト宣告シ委員付託ノ動議ヲ採決シタリ

三七六 委員付託ノ動議ト議事延期ノ動議ト同時ニ起リシトキハ先ツ議事延期ノ動議ヲ採決ス

委員付託ト議事延期トノ二動議並起リタルトキハ議事延期ノ動議ヲ先ニ採決ス

第八回議會 明治二十八年二月二十二日佐々木松坪君外一名提出電信條例中改正法律案ノ第一讀會中

第九回議會 明治二十九年一月八日角田眞平君外四名提出市制中東京市京都市大阪市ニ設ケタル特例廢止法律案同月十日箕浦勝人君外一名提出新聞紙法案ノ會議中

第十回議會 明治三十年一月十九日今井磯一郎君外二名提出社寺上地林保管法案ノ會議中

三七七 即決ノ動議ト委員付託ノ動議ト同時ニ起リシトキハ先ツ委員付託ノ動議ヲ採決ス

委員付託ト直ニ採決ヲ爲ストノ二動議並起リタルトキハ委員付託ノ動議ヲ先ニ採決ス

第三十六回議會 大正四年五月三十一日伊東知也君提出東方調査局設置ニ關スル建議案ノ會議ニ於テ提出者ノ趣旨辯明ノ後荒川五郎君ハ委員付託ノ動議ヲ前川虎造君ハ即決ノ動議ヲ提出シ各賛成者アリテ成立シタルトキ議長(島田三郎君)ハ「順々ニ決ヲ採リマス、委員付託ノ說ヲ第一ニ採リマシテ即決ヲ第二ニ採リマス、御異議ハゴザイマセヌカ」ト告ケタルニ異議ナカリキ

第三十七回議會 大正五年二月二十二日關野善次郎君外二名提出藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案第一讀會ニ於テ森田小六郎君ハ直ニ本案ヲ否決スヘシトノ動議ヲ廣岡宇一郎君ハ委員付託ノ動議ヲ提出シ各賛成アリテ成立シタルトキ福田又一君ハ「委員付託ト即決說ト二ツアレバ、委員付託ノ動議ガ先決問題デアリマスカラ」……更メテ「議長指名十八名ノ委員ニ付託セラレムコトヲ望ミマス」ト提議シタルトキ議長(島田三郎君)ハ先ツ委員付託ノ動議ヲ採決シタリ

三七八 即決否決ノ動議ト議事延期ノ動議ト同時ニ起リシトキハ先ツ議事延期ノ動議ヲ採決ス

第三十一回議會 大正三年三月十四日小山谷藏君提出對支「シンデケート」設置ニ關スル建議案ノ會議ニ付セラルルヤ中村啓次郎君ヨリ即決否決ノ動議ヲ又野村嘉六君ヨリ議事延期ノ動議ヲ提出シ各贊成者アリテ成立シタルトキ副議長(關直彦君)ハ「野村君ノ延期說ニ付テ採決致シマス」ト告ケ先ツ延期說ヲ採決シタリ

三七九 討論終局ノ動議ト議事延期ノ動議ト同時ニ起リシトキハ先ツ議事延期ノ動議ヲ採決ス

討論終局ト議事延期トノ二動議並起リタルトキハ先ニ議事延期ノ動議ヲ採決スルモノトス然ルニ第五回議會明治二十六年十二月十八日青山朗君外一名提出特別輸出港追加法律案ノ會議中、第十回議會明治三十年三月十日政府提出貨幣法案ノ會議中討論終局ノ動議ニ次テ議事延期ノ動議起リタルニ議長ハ孰レモ先ツ討論終局ノ動議ヲ採決シタリ

三八〇 質疑終局ノ動議ト質疑延期ノ動議ト同時ニ起リシトキハ先ツ質疑延期ノ動議ヲ採決ス

第三十六回議會 大正四年五月二十二日國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ノ會議中高柳覺太郎君ヨリ質疑延期ノ動議ヲ、荒川五郎君ヨリ質疑終局ノ動議ヲ提出シ各贊成者アリテ成立シタルトキ議長(島田三郎君)ハ先ツ高柳君提出ノ質疑延期ノ動議ヲ採決シ院議少數ニテ否決トナリ次に荒川五郎君提出ノ質疑終局ノ動議ヲ採決シタリ

三八一 討議中ノ問題ヲ議決スルニ及ハス若ハ議スヘカラストノ發議ハ反對說ニシテ先決問題ニ非ス

討議中ノ問題ヲ議スルニ及ハストノ發議ハ其ノ發議カ動議トシテ成立スルト否トニ拘ラス又理由ノ如何ニ拘ラス問題ヲシテ消極的ニ終ラシメ否決ト同一ノ結果ヲ來サシムルモノナルニ依リ反對說ト認ムヘキモノトス

第五回議會 明治二十六年十一月二十九日安部井磐根君提出議長星亨君ノ信任ニ關スル件ノ會議中小松三省君ハ先決問題トシテ發言ヲ求メ「私ハ此問題ニ就イテ先決問題ヲ提出スル積デ

ゴザイマス夫ハ斯ノ如キ議長信任トカ云フヤウナ問題ト云フモノハ本院ニ於テカラニ取上ゲテ議題トナスベカラザルモノデアルト云フコトヲ私ハ先決問題トスル積デゴザイマス」ト云ヒタルニ副議長(楠本正隆君)ハ「斯ノ如キ問題ハ問題トナスベカラズト云フ趣意ノ先決問題デ之ハ反對論ニシテ先決問題デナイト思ヒマス之ハ差止めマス……」ト告ケ先決問題ト認めサリキ

第九回議會 明治二十九年三月二十六日肥塚龍君ハ議事日程第一ニ掲載シタル政府提出臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案ハ今日ニ於テ議スヘキモノニアラスト發議シタルニ小松三省君ハ反對論ナリト主張シ議長(楠本正隆君)ハ「……第五期ノ時ニハ議スベカラズト云フコトハ反對デアルト云フコトニ決定ニナツテ居リマス此慣例ヲ破ラヌト云フコトハ未來ニ取ツテ緊要ノ事デアリマス」尾崎行雄君「其慣例ハ違ヒマス此度ハ政府カ忽チ出シテ忽チ撤回シタ特別ノ仕事ヲシタノデアリマス」議長「理由ハ種々アルケレドモ要點ニ於テハ一ニ歸シマス(中略)……議スベカラズト云フハ反對論ニ外ナラヌト云フ趣意デアアル右ニ同意ノ諸君ハ起立……多數即チ小松君ノ説ノ通決定シ從來ノ慣例ヲ益々確メマシタ」ト告ケタリ

第十九節 修正

三八二 修正動議ヲ提出スルニハ其ノ案ヲ具フルヲ要ス

第十回議會 明治三十年二月十六日明治三十年度豫算案ノ會議中工藤行幹君ハ歳出經常部陸軍省所管第二款ノ費項中削減スヘキ金額ノ案ヲ修正動議トシテ提出シタルニ議長(鳩山和夫君)ハ「議長ハ此儘デハ是ハ正式ナル修正案トハ認めラレヌト考ヘマス……」ト告ケ修正金額ノ案ニ改作シテ提出セシメ又同日阪田昌熾君ハ歳出經常部海軍省所管軍事費中臨時建築部費ヲ削減シ之ヲ歳出臨時部中ニ移スヘシトノ修正動議ヲ提出シタルトキ議長ハ「此衆議院規則ニ依ルト」議案ニ對スル修正ノ動議ハ其ノ案ヲ具ヘ議長ニ提出スヘシ」トアリマシドウゾ議長ニ其案ヲ御出シ下サイ……是ハ案ニナツテ居リマセヌカラ修正トハ認めマセヌ」トノ宣告ヲ爲シタリ

第二十六回議會 明治四十三年二月十二日明治四十二年度豫算案ニ對シ木村省吾君、島田三郎君外六名、大石正巳君外四名ヨリ提出セル三種ノ修正案ハ全部ニ互リ孰レモ削除ノ金額ノミヲ記載シタル略式ノモノナリシニ議長(長谷場純孝君)ハ修正案トシテ其ノ趣旨ヲ辯明セシメ採決ニ際シ「……若シ此修正案ガ多數デ成立致シマシタナラバ之ニ依ッテ豫算ヲ修正スレバ宜

シイト思ヒマスカラ……ト告ケ逐次之ヲ採決シタリ

第三十九回議會 大正六年七月十四日政府提出産業組合法中改正法律案外三件第二讀會ニ於テ高木益太郎君質疑中議長(大岡育造君)ハ「修正ニ關係ガアリマスカ、ドウ云フ修正デアリマスカ、修正文ヲ御出シヲ願ヒマス」ト注意シタルニ同君ハ「修正文ハ此農工銀行ノ重役ニ收賄行爲ノアッタ者ハ公吏瀆職罪ヲ以テ罰スヘシト云フデアリマス」ト述ヘタルニ議長ハ「此場合誤解ノナイヤウニ願ヒマス、二讀會デアリマスカラ修正ナラバ許シマスガ、質問ハ許サヌト云フコトヲ明カニシテ置キマス」ト告ケ高木君ハ進ンデ修正意見ヲ述ヘ其ノ修正ニ對スル政府ノ意見ヲ質シ修正案ヲ提出シタリ

參看 三〇七號、四四二號

議第九七條

三三三 修正動議ハ讀會省略ノ場合ニ於テハ何時ニテモ之ヲ提出スルコトヲ得

法律案ノ會議ニ於テ修正動議ヲ提出スルハ必ス第二讀會ニ於テ之ヲ爲ササルヘカラサルモ第一讀會若ハ其ノ續會ニ於テ讀會省略即チ第二、第三讀會ヲ省略スルノ動議可決シタルトキハ何時ニテ

モ之ヲ提出シ得ルモノトス

第二十三回議會 明治四十年三月十二日請願委員長提出家祿賞典錄處分ニ關スル法律案第一讀會ニ於テ讀會省略セラレタル後採決ニ際シ森肇君ハ修正ノ動議ヲ提出シ其ノ趣旨ヲ辯明シタリ

第八回議會(明治二十八年二月四日)第九回議會(明治二十九年三月十八日)第十回議會(明治三十年三月八日、十三日、十七日、二十四日)第十二回議會(明治三十一年六月一日)ニ同一ノ事例アリ

參看 四四二號

三八四 修正ハ討論終局ノ動議成立前之ヲ提出スルコトヲ要ス

討論終局ノ動議成立スルトキハ先決問題トシテ直ニ採決スヘキモノナルヲ以テ修正案若ハ修正ノ動議ハ遅クモ終局ノ動議成立迄ニ提出スヘキモノトス

三八五 議案ヲ分合シ又ハ其ノ事項ヲ擴張シ若ハ其ノ性質内容ヲ變更スルハ修正ノ範圍内トス

議院ニ於ケル議案修正ノ範圍ハ頗ル廣汎ニシテ議案ヲ分割シ若ハ之ヲ併合シ又ハ其ノ事項ヲ擴張スルハ勿論其ノ性質内容ヲ變更スルモノモ總テ之ヲ修正ト認メタリ

(一) 議案ヲ分割シタル例

第十五回議會 明治三十四年三月十六日多田作兵衛君外三名提出市制町村制中改正法律案ヲ市制中改正法律案、町村制中改正法律案ノ二案ト爲シタリ

同月十八日菅野善右衛門君提出徵兵令補則法律案ヲ兵役稅法案、兵卒給與法案ノ二案トセリ

第二十五回議會 明治四十二年三月十三日齋藤二郎君外四名提出内地及臺灣司法共通ニ關スル法律案ヲ裁判所臺灣總督府法院、統監府法務院及理事廳ノ判決ノ執行ニ關スル法律案、辯護士ノ職務並判官、評定官、檢査官及辯護士ノ在職年限ニ關スル法律案ノ二案ト爲シタリ

(二) 數議案ヲ併合シタル例

(イ) 二箇ノ政府提出法律案ヲ併合シタルモノ

第四十三回議會 大正九年七月二十日政府提出現受恩給者ノ恩給等ノ増額ニ關スル法律案同軍人恩給等ノ増額ニ關スル法律案ヲ併合シテ一案ト爲シ恩給扶助料等ノ増額ニ關スル法律案ニ

改メ修正議決シタリ但シ貴族院ニ送付スル場合ハ第一案ヲ修正議決シタルモノトシテ貴族院ニ送付シ第二案ハ自然消滅シタルモノトシテ送付セサリキ(兩院ノ事務取扱ノ協定ニ依ル)

(ロ) 政府提出法律案ト議員提出法律案トヲ併合シタルモノ

政府提出法律案ト議員提出法律案ト併合シテ一案ト爲シタルモノナク只其ノ實質ニ於テ併合シタルモノアリ而シテ形式ニ於テハ政府提出案ハ委員會ノ修正案ヲ可決シ其ノ他ノ案ハ否決若ハ議決不要トナレリ其ノ例左ノ如シ

第三回議會 明治二十五年六月二日政府提出鐵道公債法案第一讀會ノ續會ニ於テ委員長佐藤里治君ハ其ノ報告中「…所謂一長一短故ニ其ノ長ヲ取り粹ヲ集メテ所謂短所ヲ去ツターノ新規ノ案ヲ製シマシタノデゴザリマス、即チ是ガ此特別委員會ノ報告ノ鐵道敷設法案ト云フモノノ所謂此五ツノ案ヲ湊簇シタルモノヲコ、ニ拵へ出シタモノデゴザリマス…」ト述へ此ノ修正ニ對シテハ何等ノ異議ナク同月六日ヲ以テ修正議決シ其ノ結果政府提出鐵道公債法案ハ鐵道敷設法案ト改題ノ上修正議決シ其ノ他ノ議案即チ政府提出私設鐵道買收法案ハ否決シ佐藤里治君提出鐵道擴張法案外二件ハ議決不要トナレリ

第十回議會 明治三十年二月二十七日政府提出新聞紙條例中改正法律案ハ併合ノ意味ニ於テ可決シ箕浦勝人君外二名提出新聞紙條例改正法律案外一件ハ否決トナレリ

(ハ) 數箇ノ議員提出法律案ヲ併合シタルモノ

第四十回議會 大正七年三月九日赤尾彦作君提出刑法中改正法律案、高木益太郎君提出人權保護ニ關スル法律案、同君提出刑事訴訟法中改正法律案ノ三案ヲ裁判檢察及警察ノ職務ヲ行ヒ又ハ之ヲ補助スル者ノ處罰ニ關スル法律案ト爲シタリ

第五十二回議會 昭和二年二月二十四日林田龜太郎君外一名提出大正十四年法律第四十七號衆議院議員選舉法中改正法律案東武君外二名提出同一題名法律案及小池仁郎君外六名提出同一題名法律案ノ三案ヲ樺太ニ衆議院議員選舉法施行ニ關スル法律案ト爲シタリ

(二) 議員提出法律案ト併合シタルモノ

第三十九回議會 大正六年七月十四日尾崎行雄君外九名提出市町村立小學校費國庫補助法案、原敬君外七名提出市町村教育費國庫補助ニ關スル建議案、西村丹治郎君外二名提出義務教育費國庫補助ニ關スル建議案、石黒涵一郎君外六名提出小學校教員俸給國庫補助ニ關スル建議案ノ四案ヲ市町村義務教育費國庫補助ニ關スル建議案ト爲シタリ

(ホ) 數箇ノ建議案ヲ併合シタルモノ

第四十回議會 大正七年三月十六日村松恆一郎君提出物價調節ニ關スル建議案、降旗元太郎君外二名提出物價調節ニ關スル建議案、元田肇君外二名提出物價調節ニ關スル建議案ノ三案ヲ

同名ノ一案ト爲シタリ同會期ニ於テ同一ノ事例四件アリ

第四十一回議會 大正八年三月四日小西和君外一名提出四國海岸循環鐵道建設ニ關スル建議案、林毅陸君外四名提出四國循環鐵道建設ニ關スル建議案、高島兵吉君外一名提出四國鐵道循環線敷設ニ關スル建議案ノ三件ヲ四國循環鐵道建設ニ關スル建議案ト爲シタリ同會期ニ於テ同一ノ事例二件アリ

第八回以來其ノ事例多シ

(ヘ) 數箇ノ決議案ヲ併合シタルモノ

第二十回(臨時)議會 明治三十七年三月二十五日福島宜三君外三名提出決議案、原敬君外九名提出決議案ヲ同名ノ一案ト爲シタリ

(ト) 建議案ト併合シタルモノ

第四十五回議會 大正十一年三月二十五日大岡育造君外十名提出陸軍ノ整理縮少ニ關スル建議案、犬養毅君提出軍備縮少ニ關スル決議案ノ二案ヲ陸軍整理縮少ニ關スル建議ト爲シタリ

(三) 議案ノ事項ヲ擴張シタル例

(イ) 政府提出議案

第四十回議會 大正七年三月十九日京都市、大阪市其ノ他ノ市ノ市區改正ニ關シ東京市區改正

條例及東京市區改正土地建物處分規則ヲ準用シ得ルノ法律案
第八回以來其ノ事例多シ

(□) 議員提出議案

第二十七回議會 明治四十四年三月十四日東京市及大阪市ニ關スル法律案

第三十一回議會 大正三年三月十七日明治三十七八年戰役ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案

第四回以來其ノ事例多シ

(四) 議案ノ性質内容ヲ變更シタル例

第四十回議會 大正七年三月七日磯部尙君外五名提出爆發物取締罰則廢止法律案ニ對シ委員長

松田源治君ハ「政府ハ廢止ニハ同意出來ヌ刑法ト權衡ヲ取ル修正ナラハ同意スル云々委員會

ニ於テ一ノ修正案ヲ作製致シマシタ」ト報告シ題名ヲ爆發物取締罰則中改正法律案ト改メ議

案ノ性質内容ヲ變更セリ

第三回議會以來其ノ事例多シ

三八六 修正案ヲ提出シ次テ返付ノ動議ヲ提出セムトスルトキハ先ツ修正案ヲ撤回スルヲ要ス

第五十回議會 大正十四年二月十二日大正十四年度豫算案ノ會議ニ於テ政友本黨ノ吉植庄一郎

君ハ修正案ヲ提出シ其ノ討論中同黨ノ鳩山一郎君ハ政府ニ質疑ヲ爲シタル後更ニ豫算返付

ノ動議ヲ提出シタリ依テ副議長(小泉又次郎君)ハ鳩山君ハ修正案贊成者トシテ署名セラレ又

此處ニ返付ノ動議ヲ提出セラレタルモ順序トシテハ修正案ヲ撤回シ然ル後本動議ヲ提出セラ

ルルヲ議事ノ整理上必要ト認ム故ニ先ツ政友本黨ヨリ提出セラレタル修正案ヲ撤回セララル

ヤ否ヲ問ヒタルニ鳩山君ハ本動議成立セハ修正案ハ當然消滅スヘキモノナリト答ヘタリ副議

長ハ返付ノ動議ハ成規ノ贊成アリテ已ニ成立セルヲ以テ修正案ハ消滅セリ依テ返付ノ動議ノ

採決ハ之ヲ保留シテ後ニ採決スヘキ旨ヲ宣告シタルニ小橋藻三衛君ハ修正案ヲ撤回シタル後

ニ非サレハ返付ノ動議ヲ提出スルコトヲ得スト主張シ議場紛擾シタル爲暫時休憩シ再會ノ際

議長(粕谷義三君)ハ修正案ハ提出者ヨリ撤回ノ申出アリタル旨ヲ告ケ院議ニ諮ヒ其ノ撤回ヲ

許可セリ

三八七 數案ヲ併合シテ修正報告アリタルトキハ便宜上修正案ヲ原案トシテ
議題ニ供ス

法律案又ハ建議案ノ會議ニ於テ數案ヲ併合シテ報告アリタル場合ニハ便宜上修正案ヲ原案ト看做
シテ議題ニ供スルヲ例トス

第二十九回議會 大正六年七月十四日尾崎行雄君外九名提出市町村立小學校費國庫補助法案外
三建議案ヲ一括議題ト爲スヤ議長(大岡育造君)ハ「唯今委員長ノ報告ヲ聽キマス此四案ヲ綜
合シテ一ツノ建議案ガ現レマシタノデアリマスカラ、此場合委員長ノ報告ヲ議題トスル譯ニ
ナリマス」ト告ケ委員長ノ報告ヲ許可シ次テ討論ヲ經、院議委員長報告(四案ヲ併合シテ一建
議案ト爲ス)ヲ可決シタリ

參看 四四六號

第二十節 討論終局

三八八 討論終局ノ動議提出セラルルトキハ先決問題トシテ直ニ採決ス

討論終局ノ動議ハ先決問題ナルヲ以テ通告者中發言ヲ爲ササル者アルモ討論ヲ用キスシテ直ニ採
決スルモノトス

第一回議會 明治二十三年十二月九日島田三郎君提出司法大臣ノ覆牒ニ對スル動議ノ會議中討
論終局ノ動議起リタルトキ議長(中島信行君)ハ「……通告ガアルニモセヨ討論終局ノ動議ガ
出テ贊成者ノアツタ以上ハ是カラ先ニ決ヲ採リマス……」ト告ケ之ヲ採決シタリ

同 二十三年十二月二十二日政府提出窮民救助法第一讀會ノ續會ニ於テ發言通告者四十一名ア
リ其ノ内三名ノ發言ヲ了リタルトキ討論終局ノ動議起リ議長ハ「……討論終局ノ動議ヲ提出
セラレマシタガ之ニ贊成ガアリマス即チ此動議ニ就イテハ決ヲ集會ニ問ハザルヲ得マセスカ
ラ問ヒマス……」ト告ケ之ヲ採決シタリ

同 二十四年二月五日坪田繁君提出憲法第六十七條既定ノ歳出ニ關スル議事ノ性質ノ會議中討
論終局ノ動議起リタルトキ議長ハ「本案ニ就テハ贊成者反對者ノ通告ガ澤山アリマス今討論
終結ノ動議モアリマスケレドモ尙是丈ノ通告ノアル以上ハ十分ニ討論ヲシタ方ガ宜シイト考
ヘル(中略)ソレデハ討論終結ノ決ヲ採リマス」ト告ケ之ヲ採決シタリ

第三回議會 明治二十五年六月六日政府提出鐵道公債法案ノ第二讀會ニ於テ討論終局ノ動議起
リ議長(星亨君)ハ岩崎萬次郎君ノ發言ヲ求メタルニ對シ「君ノ番デスガ討論終結ニ贊成者ガ

アリマスカラト告ケ之ヲ採決シタリ

同 二十五年六月十三日鹽田奥造君外七名提出蠶業獎勵法案ノ第一讀會ニ於テ討論終局ノ動議起リタルトキ副議長(會禰荒助君)ハ「討論終結ノ聲ヲ耳ニシマシタ併ナガラマダ反對ト賛成ト……タツタ反對ハ一人シカナイ……討論終結ト云フコトハ少シ……ドウデスモウ少シヤツテハマダ片方丈ホカゴザイマセヌ討論終結ハ耳ニハシマシタ耳ニハ致シマシタガ必ズ決ヲ採レト云フコトデアレバ決ヲ採リマス決ヲ採リマスカ如何デアアル」ト諮ヒ討論終結ト呼フ者アリシヲ以テ之ヲ採決シタリ

然ルニ討論ニ入ラサル前討論終局ノ動議起リ未タ討論ニ入ラサルノ故ヲ以テ採決ヲ爲サス發言通告者ヲシテ發言セシメ又ハ反對賛成ノ一方發言シタル場合ニ他ノ一方ノ發言ヲ許可シタルコトアリ是レ一ニ當時ノ事情ニ依ルモノニシテ本則トシテハ直ニ採決スヘキモノトス

(一) 討論ニ入ラサル前ノ故ヲ以テ通告者ニ發言ヲ許シタル例

第四回議會 明治二十六年二月二十八日政府提出東京府及神奈川縣境域變更ニ關スル法律案第一讀會ノ續會ニ於テ委員長ノ報告及少數者意見ノ演說アリタルノミニテ討論終局ノ動議起リ之ニ賛成者アリタルモ議長(星亨君)ハ「討論シナイ中ニ討論終結ハ出來マセヌ」ト告ケ關戶覺藏君ヲ指名シ同君ニ發言ヲ許シ採決ヲ爲ササリキ

第九回議會 明治二十九年三月二十五日深山養嶺君外三十五名提出家祿賞典祿處分法案ノ確定議ニ於テ工藤行幹君ヨリ

發言ヲ求メタルニ議員中「討論終結」ト呼フ者アリ議長(楠本正隆君)ハ「此場合討論終局ト云フ御方ニアルガ未ダ討論ガナイノデアアル討論ガナイ前ニ終局ノシヤウガナイ」ト告ケ工藤行幹君ニ發言ヲ許シタリ

第十回議會 明治三十年三月十七日肥塚龍君外三名提出東京市制案外三件ノ第一讀會ニ於テ高木正年君ハ「通告ガアリマス」ト云ヒ發言ヲ求メタルニ議員中「討論終結」採決々々」ト呼フ者アリ副議長(島田三郎君)ハ「唯今ノ所デ討論ヲシニ終結スルモ如何ト思ヒマスカラ高木君ガ強ヒテ發言ヲ望マレルノヲ議長ガ之ヲ止メルハ穩ナラヌト考ヘマス……」ト告ケ高木君尙發言ヲ求メタルニ依リ副議長ハ「強ヒテ求メラレマスルナラバ通告ガアリマスカラ御登壇ニナリマスヤウニ」ト告ケ同君ノ發言ヲ許可シタリ

(二) 反對、賛成ノ一方ノミ發言シタル場合ニ他ノ一方ノ發言ヲ許シタル例

第四回議會 明治二十五年十二月七日政府提出田畑地價特別修正法律案第一讀會ノ續會ノトキ工藤卓爾君ノ反對ノ演說ニ次テ討論終局ノ動議起リ之ニ賛成者アリタルモ議長(星亨君)ハ角利助君ヲ指名シ同君演壇ニ登リタルニ尙動議ノ採決ヲ求ムル者アリシニ依リ議長ハ「討論終結ハ聞カナイ唯諸君ニ願フハ原被ダケノコトハ御許ヲ願ヒタイ」ト告ケ同君ニ賛成ノ演說ヲ爲サシメタリ

第六回議會 明治二十七年六月一日鈴木重遠君外五名提出條約ニ關スル決議案ノ會議ニ於テ鈴木充美君ノ賛成ノ演說ニ次テ討論終局ノ動議起リ之ニ賛成者アリタルモ重岡董五郎君ハ「反對ヲ表シマス」ト云ヒ議長(楠本正隆君)ハ「反對ガ一人現ハレマシタカラ……」ト告ケタルニ尙討論終結ノ聲アリタルニ依リ議長ハ「然ラバ己ムヲ得マセヌガ討論終結ノ

決議ヲ採リマスト告ケタルモ同君演壇ニ登リタルヲ以テ議長ハ「折角反對者ガ登壇シタカラ一人ダケ御許シテ請ヒマ
ス」ト告ケ同君ニ反對ノ演説ヲ爲サシメタリ

參看 三七二號ノ(一七)

三八九 議長ノ發言許可後ハ其ノ發言ヲ終ル迄討論終局ノ動議ヲ提出スルコ
トヲ得ス

第三十一回議會 大正三年三月五日長谷場純孝君外六名提出通行税法中改正法律案ノ會議ニ於
テ議長(大岡育造君)ハ紫安新九郎君ヲ指名シ發言ヲ許セシ際長晴登君ヨリ討論終局ノ動議ヲ
提出シ多數ヲ以テ之ヲ可決セルニ紫安君ノ發言權ニ關シ議論ヲ生シ花井卓藏君ハ「議長ニ於
テ一旦發言ヲ許可シタル以上ハ其ノ發言ヲ終ル迄討論終局ノ動議ヲ提出スルヲ得ス」トノ動
議ヲ提出シ院議異議ナク之ヲ可決シタリ

【備考】

第四十四回議會及第四十五回議會ノ始各派協議會ニ於テ「討論終局質疑打切ノ動議提出ハ成ルヘク各派協議ノ結果ニ俟
ツコト」トノ申合ヲ爲シタリ

參看 三七二號ノ(一七)(一八)

三九〇 討論終局ノ動議成立後ハ質疑、修正、趣旨辯明ノ補足、身上辯明モ之ヲ
許サス

討論終局ノ動議成立後ハ直ニ其ノ動議ヲ採決スルノ外ナキヲ以テ質疑、修正ハ勿論趣旨辯明ノ補
足身上辯明モ之ヲ許ササルモノトス

(一) 質疑ヲ許ササリシ例

第八回議會 明治二十八年一月二十一日議員收賄ノ調査委員ヲ設クル件ニ付討論終局ノ動議成
立後田中正造君質疑ノ爲發言ヲ求メタルニ議長(楠本正隆君)ハ「討論終局ガ問題ニナリマシ
タ」ト告ケ質疑ヲ許ササリキ

(二) 修正ヲ許ササリシ例

第三回議會 明治二十五年五月十二日河野廣中君外八名提出選舉干涉ニ關スル上奏案ノ會議中
討論終局ノ後神鞭知常君ハ修正動議ヲ提出セムコトヲ求メタルモ議長(星亨君)ハ「一寸御注
意シマスガ字句ハドウデアアルカ直シテモ宜イカモ知ラヌガ修正スル動議ガアルナレバ討論終

結ノ出ナイ前ニヤレバ宜カツタト告ケテヲ許ササリキ

同 二十五年六月十一日太田實君ハ高梨哲四郎君外二名提出外國ニ輸出スル物品ニ課スル海關稅免除法律案第一讀會ノ續會ニ於テ討論終結シ其ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ採決ニ際シ「私ハ討論デハナイガ提出者トシテ報告シタイソレハ訂正スルコトニ付テ一言シマス」トノ請求ヲ爲シタルモ議長(星亨君)ハ「討論ハ終結シタ決ヲ採ルヨリ外ナイ」ト告ケ訂正ノ爲ノ發言ヲ許ササリキ

(三) 趣旨辯明ノ補足ヲ許ササリシ例

第五十回議會 大正十四年二月五日鳩山一郎君ハ議事進行ニ關スル發言ヲ求メ「…高田耘平君ガ將ニ討論ヲ終ラントスルニ先チマシテ私ハ提案ノ趣旨ノ説明ノ補足ヲ書記官長竝ニ議長ニ發言ノ通告ヲ致シタノデアリマス、之ヲ何故ニ御許シニナラナカッタノデアルカ…」ト質シタルニ議長(粕谷義三君)ハ「…御承知ノ通り議長ハ其當時田中隆三君ヨリ趣旨辯明ノ補足ヲシタイト云フ申立ヲ受領シテ居リマシタ其發言ヲ許サントスル刹那、作間君ヨリ討論終局ノ動議ガ提出セラレマシタ議長ハ討論終局ノ動議ヲ以テ先決問題ト考ヘテ居リマシタ爲ニ此趣旨辯明ヲ許スノ時ニアラズト考ヘテ採決ヲ致シタ次第デアリマス…」ト答ヘタリ

(四) 身上辯明ヲ許ササリシ例

第五十一回議會 大正十五年二月二十四日大正十五年度豫算案ノ會議ニ於テ作間耕逸君討論終局ノ動議ヲ提出シタルニ同時ニ財部海軍大臣濱口大藏大臣ヨリ發言ヲ求メラレタルニ依リ議長(粕谷義三君)ハ前動議ヲ保留シテ兩國務大臣ノ發言ヲ許ス旨ヲ告ケ其ノ發言ヲ終リタル際小野義一君ヨリ財部海軍大臣ノ演說ニ關シ一身上ノ辯明ヲ求メラレタルニ議長ハ討論終局ノ動議成立後ハ各種ノ發言ハカメテ之ヲ避クルコトニナリ居ルニ付此ノ發言ヲ許スヤ否ハ新例ニ屬スルヲ以テ院議ヲ以テ其ノ許否ヲ決スル旨ヲ告ケ起立ニ依リ採決ヲ爲シタルニ少數ニテ小野君ノ一身上ノ辯明ハ之ヲ許ササルニ決セリ

參看 二八七號、二八八號、三八三號

三九一 討論終局ノ動議出テタル際國務大臣政府ノ意思ヲ表明ス

討論終局ノ動議出テタル際國務大臣發言ヲ求メ政府ノ意思ヲ表明スルコトハ重要法案ニ對シ往々見ルトコロノ事例ニシテ而モ討論終局ノ動議提出ト同時ナル場合ハ議長ハ先ツ討論終局ノ動議ヲ保留シ若ハ成立セシメ國務大臣ノ發言ヲ許シ然ル後終局ノ動議ヲ採決スルモノトス

第三十九回議會 大正六年六月三十日尾崎行雄君外七名提出決議案ノ會議ニ於テ討論終局ノ動

議出テタル後寺内閣總理大臣ハ政府ノ意思ヲ表明シタリ

同 六年七月十三日森田茂君外二名提出決議案ノ會議ニ於テ討論終局ノ動議出テタル後寺内閣總理大臣ハ政府ノ意思ヲ表明シタリ

第四十一回議會 大正八年二月十三日大正八年度豫算案外三件ノ會議ニ於テ岩崎勳君ハ討論終局ノ動議ヲ提出シタル後高橋大藏大臣ハ政府ノ意見ヲ演說シタリ

第四十二回議會 大正九年二月十三日大正九年度豫算案外一件ノ會議ニ於テ討論終局ノ動議出テタルトキ原内閣總理大臣ハ政府ノ意見ヲ演說シタリ

第四十五回議會 大正十一年二月十四日臨時軍事費豫算追加案ノ會議ニ於テ討論終局ノ動議出テタルトキ高橋内閣總理大臣ハ政府ノ意見ヲ演說シタリ

第五十三回議會 昭和二年五月七日安達謙藏君外十八名提出決議案(樞密院ノ奉答ニ關スル件)ノ會議ニ於テ井本常作君ヨリ討論終局ノ動議ヲ提出シタル際議長(森田茂君)ハ「此ノ動議ニハ成規ノ賛成ガアルト認メマスルガ田中總理大臣ヨリ發言ヲ求メラレテ居リマスルカラ

此際其發言ヲ許スコトニ致シマス」ト告ケ田中内閣總理大臣ハ決議案ニ反對ノ意思ヲ表示セリ而シテ其ノ發言ヲ終ルヤ議長ハ井本君ノ動議ヲ採決セリ

參看 六〇九號

第二十一節 表決

三九二 表決權ハ之ヲ拋棄スルコトヲ得

表決ノ際議場ニ現在セサル議員ハ表決ニ加ハルコトヲ得サルモ議場内ノ議員ノ表決權ニ關シテハ何等ノ規定ナキヲ以テ第一回議會以來自由ニ之ヲ拋棄スルコトヲ認メタリ即チ第一回議會明治二十四年三月二日明治二十四年度豫算特別委員ノ修正案ニ付記名投票ヲ用キタル際北川矩一君、新井毫君ハ孰レモ投票權ヲ拋棄スト云ヒタルニ議長(中島信行君)ハ「投票權ハ自由デアリマス」ト告ケ、第二回議會明治二十四年十二月十六日東尾平太郎君ヨリ議事日程ノ變更ヲ求メ氏名點呼ヲ行フ際粟谷品三君ハ「本員ハ拋棄シマス」ト述ヘタリ

三九三 投票セサル者ハ表決權ヲ拋棄シタルモノト看做ス

投票ノ際議長ハ投票漏ノ有無ヲ注意スルモ尙投票セサル者往々之レアルヲ以テ議長ハ此ノ場合棄權ト看做ス旨ヲ宣告スルコトハ毎會期其ノ事例尠カラズ從テ無名投票ノ場合ニ於テ球數名刺數ニ達セサルトキハ棄權ト看做スヲ例トス

第三十七回議會 大正四年十二月十六日廣岡宇一郎君ノ要求ニ係ル豫審調書ヲ速記録ニ全部掲載スヘキヤ否ニ付テ記名投票ヲ終リタル際議長(島田三郎君)ハ「票投漏ハアリマセヌカ……投票漏ノ御方ガアレバ速ニ投票ナサイ投票ヲ爲サヌナレバ棄權シタル者ト認メマス」ト告ケタリ

第五十二回議會 昭和二年三月十七日竹原樸一君外十六名提出未成年者飲酒禁止法中改正法律案ノ第一讀會ノ續會ニ於テ第二讀會ヲ開クヘキヤ否ヤヲ無名投票ニ依リ採決シタルニ投票總數ハ二百二十六、名刺ノ數ハ二百二十七ニシテ投票數名刺ノ數ニ達セサルヲ以テ副議長(小泉又次郎君)ハ先例ニ依リ棄權シタモノト看做ス旨ヲ宣告シタリ
參看 四〇五號

三九四 議場ノ閉鎖ハ議長ノ宣告ニ依リ之ヲ行フ

表決ノ際議場閉鎖ハ議長ノ命令ニ依リ守衛之ヲ執行スルモノトス然ルニ第三回議會明治二十五年六月七日政府提出愛知岐阜富山福岡四縣下土木費補助トシテ明治二十四年度豫算外支出ノ件ニ付議長(星亨君)記名投票ノ宣告ヲ爲シ未タ閉鎖ヲ命令セサルニ守衛直ニ議場ノ閉鎖ヲ爲シタル爲島

田三郎君ハ「議長ノ命令デナクテ閉メタノミナラズ議員ノ這入ラウトシタモノヲ慥ニ突返シタ守衛ガアリマスカラ處分ヲ願ヒマス」ト述ヘ議長ハ「命令ヲシナイ、ダカラ閉鎖ヲシタル者ハ過チデアル」ト告ケ一旦閉鎖ノ上更ニ閉鎖ヲ命シテ投票ヲ行ヒタリ
參看 六五號

三九五 閉鎖中入場セシ議員アリタル爲改メテ表決ヲ爲ス

閉鎖ノ命令徹底セサリシ爲閉鎖中入場セル議員數名アリ其ノ氏名判然セサリシ爲更ニ表決ヲ爲シタリ
第四回議會 明治二十五年十二月十日齋藤良輔君外一名提出官有林野處分ニ關スル建議案ノ會議中委員付託ノ動議ニ付氏名點呼ヲ行フ際入場シタル議員數名アリ「今日ハ出入勝手次第デスカ」ト呼フ者アリタルトキ議長(星亨君)ハ「宜シクナイ守衛ガ間違デアルカラ尙ホヤリ直スノ外ハナイ」ト告ケ更ニ起立ニ依リ採決ヲ爲シタリ

三九六 閉鎖中退場セムトスルトキハ議長ノ許可ヲ得ルコトヲ要ス

議場閉鎖中病氣其ノ他ノ事由ニ依リ退場セムトスルトキハ之ヲ黙許セラレタルコトアリシモ議長ノ許可ヲ要スコトナレリ而シテ退場ノ場合ニハ議長席後方ノ闖ヨリス

第一回議會 明治二十四年二月十日明治二十四年度豫算案外務省所管ニ付記名投票ヲ用キ氏名

點呼中議長(中島信行君)ハ「是恆眞楫君ハ病氣ノ趣ニテ退席ヲ請ハレ……閉鎖中デ御座イマ
スガ公然退席ヲ請ハレタルニ依テ……」ト告ケ之ヲ許可シタリ

第三十七回議會 大正四年十二月二十六日臨時軍事費豫算追加案ノ質疑終了ノ動議採決中武富

時敏君望月小太郎君閉鎖ヲ破リタリトシテ其ノ動議採決後濱田國松君ヨリ兩君ヲ懲罰委員ニ
付スヘシトノ緊急動議ヲ提出シ否決セラレ翌二十七日廣岡宇一郎君ヨリ緊急動議ヲ提出シタ
ルカ其ノ内投票中閉鎖ヲ破リテ出入シタリ云々トアリ之ニ對シ望月小太郎君先例彙纂ヲ引用
シテ辯明シタルニ江藤哲藏君ハ「先例彙纂ニ在ル閉鎖中退場ヲ黙許スルノ慣例ハ既ニ島田議
長ニ依リテ否認セラレタルモノナリ即去ル十八日同シク閉鎖中外出セムトセシニ議長之ヲ許
ササリシニアラスヤ云々」ト述ヘ、前川虎造君其ノ事實ヲ確メタルトキ議長ハ「書記官長ヨリ
唯今ハ誠ニ混雜スルカラ出ナイヤウニシタイ、御斷リヲシタト云フコトヲ、後ニ承認ヲ求メマ
シタノデ、ソレガ宜シイト言ッタ……」ト辯明シ引續テ前川君江藤君望月君ト議長トノ間ニ應

答ヲ重ネ越エテ翌五年一月二十二日休會明ノ劈頭前川虎造君ハ之ニ關スル結末ニ付議長ニ質
ス所アリ一月二十五日議長ハ「……閉鎖ハ正式ニ行ヒマス時ニハ一切ノ出入ヲ留メルノデア
リマス先例ニ依リマシテ議長ノ背後ヨリ出入スルコトハ黙許ニ過ギナカッタノデアリマス、
出入自由ト云フノトハ違ヒマス閉鎖中出入ノ請求ガアルトキハ其時ノ事情ニ依テ是ガ許否ヲ
決スルノデアリマス將來ハ成ルベク嚴正ニ行ヒタイト考ヘテ居リマス併シ是ガ爲ニ先例ニ違
背シタルモノトハ考ヘテ居リマセヌ云々」ト答辯セリ

三九七 投票ハ書記官演壇ニ於テ之ヲ受取り投函ス

第一回議會 明治二十四年二月十日明治二十四年度豫算案外務省所管ニ付記名投票ヲ用キタル

際議長(中島信行君)ハ「……而シテ萬一間違ガアッテハ混雜ヲ生ジマスカラ此處デ書記官ノ手
ニ受取りテ入レマス」ト宣告シ書記官ヲシテ演壇ニ於テ名刺及投票ヲ受取り投函セシメタリ
第二回、第三回議會ニ於テ一ニノ異例アリシモ爾來常ニ此ノ例ニ依ルコトナレリ

參看 六三號

三九八 投票ノ爲議員登壇シ得サル場合ハ書記官其ノ席ニ就キ投票ヲ受取り
投函ス

投票ノ際議員病氣其ノ他ノ爲登壇シ得サル場合ニハ書記官其ノ席ニ就キ投票ヲ受取り代リテ投函
スルヲ例トス

參看 六四號

衆第三〇條

三九九 表決ニ對スル異議申立ハ次ノ議題宣告前ナルヲ要ス

第一回議會 明治二十四年二月二十八日末廣重恭君ハ湯本義憲君提出治水ニ關スル建議案ノ會
議ヲ延期シ伊藤大八君提出集會及政社法改正案第一讀會ノ續會ヲ開クヘシトノ議事日程變更
ノ動議ヲ提出シ之ニ贊成者アリタルヲ以テ副議長(津田眞道君)ハ起立ヲ以テ之ヲ採決シ多數
ニテ可決シタル旨及集會及政社法改正案ノ會議ヲ開ク旨ヲ宣告シタルニ湯本義憲君ハ異議ノ
申立ヲ爲シタルモ副議長ハ「異議ガアツテモ宣告シタ後デアルカラ議長ハ其機ヲ失シタモノト
認メマス」ト告ケ異議申立ヲ認メサリキ

衆第一〇三條

四〇〇 起立ノ數判然セサルトキハ反對表決ヲ爲スコトヲ得

起立ヲ以テ採決ヲ爲ストキ其ノ可否ノ數判然セサル場合ニハ記名若ハ無名投票ヲ以テ之ヲ決スヘ
キモノナルモ時ニ反對者ヲ起立セシメ反對表決ヲ爲スコトナキニ非ス

第四十三回議會 大正九年七月二十六日ノ會議ニ於テ佐々木安五郎君ハ瀆職ノ嫌疑ヲ受ケタル
三大臣ニ對シ其明細ナル説明ヲ聽クヘク全院委員會ヲ開會スヘシトノ動議ヲ提出シ議長(奥
繁三郎君)ハ全院委員會ヲ開クヤ否ヤヲ起立ニ依テ之ヲ採決シタルニ起立ノ數判明セサルヲ
以テ更ニ議長ハ開クヘカラス即チ反對ノ諸君ノ起立ヲ求メマスト宣告シ反對表決ヲ採リタリ

參看 四〇七號

衆第一三一條

四〇一 起立採決ニ依ラス直ニ記名若ハ無名投票ヲ以テ採決ス

採決ハ先ツ起立ヲ以テスルヲ通則ト爲スモ議長必要ト認メ若ハ院議ニ諮ヒ又ハ議員二十人以上ノ
要求ニ依リ直ニ記名若ハ無名投票ヲ用ウルコト尠シトセス而シテ重要ナル議案ニ對シテハ此ノ方
法ニ依ルヲ例トス

(一) 記名投票ヲ用キタル例

第二編 會議

第二章 議事通則

第二十一節 表決

(三九八—四〇一)

三百八十七

(イ) 議長必要ト認メタルモノ

第四十五回議會 大正十一年二月二十八日安達謙藏君外五名提出決議案(選舉法改正案上程日ニ於ケル院外取締ノ件)ノ會議ニ於テ採決ニ際シ議長(奥繁三郎君)ハ「是ハ記名投票ニ依リマシテ決スル考デアリマス」ト宣告シ記名投票ヲ以テ採決シタリ

第四十七回議會 大正十二年十二月十九日(第一號)大正十二年度歳入歳出總豫算追加案ノ會議ニ於テ委員長報告ノ採決ニ際シ副議長(松田源治君)ハ「本案ハ記名投票ヲ以テ採決致シマス」ト宣告シ記名投票ヲ以テ採決シタリ

(ロ) 院議ニ諮ヒタルモノ

第三十六回議會 大正四年六月八日原敬君外八名提出決議案(内閣不信任ノ件)採決ニ際シ議長(島田三郎君)ハ「嚴正ニ記名投票ニ致シマスルカ或ハ起立デ可ナリト云フノデアリマスカ」：記名投票ニ致シテ御異議アリマセヌカ」ト諮ヒ記名投票ヲ以テ採決シタリ

(ハ) 議員ノ要求ニ依ルモノ

第四十六回議會 大正十二年二月三日濱田國松君外二名提出決議案(日支郵便約定問題ニ關スル件)ノ會議ニ於テ採決ニ際シ副議長(粕谷義三君)ハ前川虎造君ノ要求ニ依リ記名投票ヲ以テ採決シタリ

同 大正十二年三月二十六日濱田國松君提出議員山口義一君外二名ヲ懲罰委員ニ付スルノ動議

採決ニ際シ議長(粕谷義三君)ハ「採決ニ付テハ濱田君ヨリ記名投票ヲ以テ採決ノ要求ガアリマス依テ記名投票ヲ以テ採決致シマス」ト宣告シ記名投票ヲ以テ採決シタリ

(ニ) 無名投票ヲ用キタル例

(イ) 議長必要ト認メタルモノ

第四十五回議會 大正十一年一月三十一日安達謙藏君外四名提出決議案(奥議長不信任ノ件)採決ニ際シ副議長(粕谷義三君)ハ無名投票ヲ以テ決シヤウト思ヒマス」ト宣告シ無名投票ヲ以テ採決シタリ

(ロ) 院議ニ諮ヒタルモノ

第三十七回議會 大正四年十二月二十三日政府提出裁判所ノ設立及移轉ニ關スル法律案外一件第二讀會ニ於テ採決ニ先チ議長(島田三郎君)ハ投票ノ方法ヲ院議ニ諮ヒ無名投票ヲ以テ採決シタリ

第四十回議會 大正七年二月七日政府提出石油消費税法廢止法律案外一件ノ會議ニ於テ採決ニ際シ野添宗三君ヨリ記名投票廣岡宇一郎君ヨリ無名投票ノ要求アリ議長(大岡育造君)ハ院議ニ諮ヒ無名投票ヲ以テ採決シタリ

(ハ) 議員ノ要求ニ依ルモノ

第五十回議會 大正十四年三月五日松山常次郎君提出公娼制度制限ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續會ニ於テ採決ニ際シ松山常次郎君外二十九名ヨリ無名投票ノ要求アリ副議長(小泉又次郎君)ハ無名投票ヲ以テ採決シタリ

四〇二 投票ハ更正スルヲ得ス

第四回議會 明治二十五年十二月十三日高田早苗君外二名提出狩獵規則ニ關スル決議案ニ對スル高梨哲四郎君修正動議ニ付記名投票ヲ用キタルトキ無名ニテ投票シ更ニ白紙ニ記名シテ訂正ヲ申立テタル者アリシモ議長(星亨君)ハ院議ニ諮ヒ之ヲ無効投票ト爲シタリ

四〇三 表決ノ宣告徹底セサル爲重テ宣告シタルモ既ニ爲シタル投票ハ之ヲ有効トス

第四十九回議會 大正十三年七月十一日山本条太郎君提出贅澤品等ノ輸入税ニ關スル法律案ニ

關スル決議案ヲ記名投票ヲ以テ採決スルニ當リ議長(粕谷義三君)ハ投票開始ヲ宣告シ之カ投票ヲ開始シタルモ議場喧囂ノ爲宣告徹底セサリシヲ以テ議長ハ更ニ宣告ヲ爲スト同時ニ……今マデニ投票ヲ御入レニナッタ方ガアリマス此ノ諸君ハ議長ノ宣告ヲ御諒解ニナッタモノト思ヒマス」ト告ケ既ニ投票シタルモノハ之ヲ有効ト爲シ投票ヲ繼續セリ

四〇四 記名投票ノ際誤テ他人ノ名刺ヲ用キタル者アルトキハ場合ニ依リ其ノ效力ヲ異ニス

記名投票ノ際誤テ他人ノ名刺ヲ用キテ投票シタル者ニ對シテハ或ハ之ヲ無効トシ又ハ之ヲ有効ト認メタリ

(一) 無効トシタル例

第二十三回議會 明治四十年三月二十七日議長(杉田定一君)ハ議院ニ報告シテ曰ク「昨日記名投票ヲ以テ決議ニナリマシタ第二女子高等師範學校ノ投票中ニ同一氏名ノ投票ニ葉アルコトヲ發見シマシタ之ヲ調査シマシタトコロガ榎本次郎右衛門君ガ隣席ノ小田文行君ノ名刺ヲ自分ノ名刺ト誤認シテ投票セラレタコトガ分リマシタ而シテ何レモ青票デアリマス」ト榎本次

郎右衛門君ハ此ノ報告ニ對シ辯明ヲ爲シ其ノ粗漏ヲ陳謝シタルニ議長ハ「就キマシテハ榎本
次郎右衛門君ノ投セラレタ一票ハ不適法即チ無効ト言ハネバナリマセヌ」ト宣言シタリ
右宣言ノ結果可否同數トナリ議長ハ前日ノ否決ノ宣告ヲ取消シ更ニ議長ノ決裁ニ依リ否決ト
ナレリ

第五十一回議會 大正十五年三月六日ノ本會議ニ於テ議長(粕谷義三君)ハ「昨日ノ會議ニ於キ
マシテ第一回ノ記名投票中(濱田國松君提出暫時休憩スヘシトノ動議ノ採決)ニ同一氏名ノ白
票ガ二票アリマシタ是レハ隣席ノ方ガ誤ッテ持參セラレタト云フ申出ガアリマシタガ、投票終
了後デアリマスカラ其中一票ハ無効ト致シタイト思ヒマス……但シ可否ノ結果ニハ異動ヲ及
ボサヌノデアリマス」此事ヲ御諒承ヲ願ヒマスト告ケタリ

(二) 有効ト認めタル例

第二十四回議會 明治四十一年二月四日議長(杉田定一君)ハ「諸君ニ御諮リ致シマス酒造税法
中改正法律案投票ノ際寺井純司君ハ過ッテ隣席田中藤次郎君ノ名刺ヲ持參シタル旨届出ラ
レタノデアリマス、田中藤次郎君ハ本日缺席セラレ且配付ノ名札ノ數ニ於テモ明瞭トナッテ居
リマスル因テ其名ノ訂正ヲ許シマシテ御異議ハアリマセヌカ」ト諮ヒタルニ「異議ナシ異議ナ
シ」ト呼フ者アリタルニ依リ「御異議ハナイト認めマスト」ト宣告シタリ

第三十九回議會 大正六年七月三日尾崎行雄君ノ發言取消ニ關スル動議ヲ記名投票ニ依リ採決
ノ際議長(大岡育造君)ハ「唯今ノ投票中ニ野田卯太郎君ガ隣席ノ名刺ヲ御持參ニナッタコトヲ
發見シテ御訂正ニナリマシタ之ヲ許シテ差支ナカラウト思ヒマス如何デス」ト諮リシニ異議
ナカリキ

四〇五 無名投票ノ際名刺ノミヲ投入シタル者ニハ更ニ球ノ投入ヲ許サス

第二十六回議會 明治四十三年二月五日中村舜次郎君ノ議員資格審査ノ件ニ付無名投票ヲ行ヒ
タルトキ議長(長谷場純孝君)ハ「投票漏ハアリマセヌカ——尙念ノタメニ申上ゲマスガ萬一
名刺ダケヲ書記官ニ渡シテ球ヲ入レルコトヲ御忘レニナッタ御方ガアリマシタナラバ間違ノ
ナイヤウニ」ト注意シ望月右内君「私ガ忘レタト思ヒマス」ト云ヘルニ長晴登君ハ投票漏アル
モ再ヒ投票ヲ許スヘカラストノ動議ヲ提出シ院議之ニ異議ナカリシヲ以テ議長ハ「今ノ動議
ノ通り投票ヲサセヌコトニ決定致シマスル」ト告ケ更ニ球ノ投入ヲ許ササリキ

參看 三七三號ノ(一三)

四〇六 議員ノ進退又ハ身上ニ關スル事件ノ表決ハ概ネ無名投票ヲ用ウ

議員ノ進退又ハ身上ニ關スル事件ノ表決ハ概ネ無名投票ヲ以テスルヲ例トスルモ近時記名投票ヲ用キルノ傾向トナリ殊ニ懲罰委員ニ付スルノ動議ノ如キハ起立採決ニ依ルコト多シ

(一) 無名投票ニ依リタルモノ

第一回議會 明治二十四年二月二十八日二田是儀君ノ資格審査ノ件ノ採決ニ際シ副議長(津田眞道君)ハ「常席ニ於テハ衆議院規則ニ依リマシテ無名投票ヲ以テ致シマス」ト宣告シタリ

第二十三回議會 明治四十年三月十九日本院ノ體面ニ關シ調査ノ件(委員長報告)會議ニ於テ少數意見ノ採決ニ際シ山口熊野君外四名ヨリ無名投票長谷場純孝君外數名ヨリ記名投票ノ要求アリ議長(杉田定一君)ハ「此際此採決ノ方法ハ議長ニ一任下スツテハ如何デアリマセウカ」ト諮リ院議長長ニ一任スルニ決シ議長ハ「事苟モ議員ノ身上ニ關係スルコトデゴザイマスカラ無名投票ヲ以テ採決スルコトニ致シマス」ト宣告シタリ

第二十五回議會 明治四十二年二月二十三日高野孟矩君議員資格審査ノ件會議ニ於テ採決ノ際議長(長谷場純孝君)ハ「採決ノ方法ハ議長ハ必要ト認メマスカラ衆議院規則ニ依リ無名投票ヲ用キテ採決致シマス」ト宣告シ次ニ上出長次郎君資格審査ノ件ニ付討論終局ノ後議長ハ「採決ノ方法ハ河野廣中君外數名ヨリ請求モアリマシタシ衆議院規則ニ依リ無名投票ヲ以テ採決

致シマス」ト宣告シタリ

第三十六回議會 大正四年六月九日齋藤珪次君提出決議案(議院ハ議長島田三郎君ヲ信任セス)ノ會議ニ於テ副議長(花井卓藏君)ハ「表決ノ方法ハ衆議院規則並先例ニ依リマシテ議員ノ身上ニ關スルコトデゴザイマスカラ無名投票ヲ用キル積リデアリマス」ト宣告シタリ

(二) 記名投票ニ依リタルモノ

第四十三回(特別)議會 大正九年七月二十七日小川平吉君提出決議案(島田三郎君ニ對シ引責處決ノ件)ノ採決ニ際シ議長(奥繁三郎君)ハ記名投票ニ依リ採決スル旨ヲ宣告シタリ又同日島田三郎君ヲ懲罰ニ付スルノ動議採決ハ直ニ記名投票ヲ以テセリ

(三) 起立採決ニ依リタルモノ(異議申立後記名若ハ無名投票ニ依ル)

第四十二回議會 大正九年二月十四日赤尾彦作君ヲ懲罰委員ニ付スルノ動議ハ議長(大岡育造君)ハ起立ニ依リ採決シタリ

第三十六回議會 大正四年六月九日藏内次郎作君齋藤珪次君ヲ懲罰委員ニ付スルノ動議ニ對シ議長(島田三郎君)ハ起立ニ依リ表決ヲ爲シタルニ異議ノ申立アリタルヲ以テ更ニ記名投票ヲ以テ採決シタリ

第三十九回議會 大正六年七月十三日高見之通君ヲ懲罰委員ニ付スルノ動議ハ表決ヲ起立ニ依

リ議長(大岡育造君)ハ少數ヲ宣告シタルニ異議アリタルヲ以テ更ニ無名投票ニ依リ採決シタリ

第五十一回議會 大正十五年三月二十日湯淺凡平君提出決議案(議員梅田寛一君ノ處決ニ關スル件)ノ採決ニ當リ議長(粕谷義三君)ハ「此採決ハ無名投票ヲ以テ致シマスルノガ本則ト思ヒマスガ此場合ハ起立ニ依ツテ採決致シタイト思ヒマス御異議アリマセヌカ」ト諮ヒ院議異議ナク起立ニ依リ採決セリ

(四) 諮問ニ依リタルモノ

第二十一回議會 明治三十八年二月十六日佐竹作太郎君及根津嘉一郎君資格審査ノ件ハ委員長報告ニ異議ナキヤヲ諮ヒ院議異議ナク委員長報告ノ通之ヲ決シタリ

四〇七 直ニ消極ノ表決ヲ採ルコトヲ得

表決ハ問題ヲ可トスルモノヨリ之ヲ採ルヲ通例トスルモ議長ニ於テ便宜ト認ムルトキハ先ニ否トスルモノ即チ採用スヘカラス若ハ同意スヘカラストノ側ヨリ採決スルコトナシトセス

第十六回議會 明治三十五年三月八日本院提出市町村會議員及市參事會員ニ關スル法律案兩院

協議會成案ノ採決ニ當リ議長(片岡健吉君)ハ「兩院協議會ノ成案ニ不同意ノ諸君ノ起立ヲ請マス」ト宣シ先ニ消極ノ表決ヲ採リタリ

第三十回議會 大正二年三月二十五日營業税法中改正法律案ノ第二讀會ニ於テ松田源治君ヨリ討論終局ノ動議出テ賛成者アリタルヲ以テ議長(大岡育造君)ハ右動議ニ反對ノ諸君ノ起立ヲ求メマスト告ケ先ニ消極ノ表決ヲ採リタリ

第九回議會(明治二十九年二月二十五日)第二十五回議會(明治四十二年二月二十日)第二十六回議會(明治四十三年二月十二日、三月十七日)第二十七回議會(明治四十四年三月七日、十一日、十六日、十八日)第二十八回議會(明治四十五年三月二十三日)第五十回議會(大正十四年三月二十四日)ニ同一ノ事例アリ

參看 四〇〇號

四〇八 記名投票ノ場合ニ一方ノミ投票ヲ爲ス

記名投票ヲ行フ場合ニ於テハ反對又ハ賛成ノ一方ノミ投票シ他ノ一方ノ投票セサルコトナシトセス

第二十二回議會 明治三十九年三月二十七日政府提出貴族院回付鐵道國有法案ノ會議ニ於テ長谷場純孝君ノ緊急動議(討論ヲ用キスシテ賛否ヲ決スヘシ)可決セラレ議長(杉田定一君)ハ記名投票ヲ宣告シ之ニ應シテ投票セルハ貴族院ノ修正ニ同意スヘシトスル議員(二百十四名)ノミナリキ

第三十一回議會 大正三年二月十二日大正三年度豫算案ノ會議ニ於テ尾崎行雄君ニ獨立ノ修正案トシテ其ノ説明ヲ許スヘキヤ否ニ付記名投票ヲ行ヒ之ニ應シテ投票セルハ説明ヲ許スヘカラストセル議員(百九十九名)ノミナリキ

第三十六回議會 大正四年六月九日齋藤珪次君及藏内次郎作君ヲ懲罰委員ニ付スルノ動議ノ採決ニ際シ議長(島田三郎君)ハ記名投票ヲ宣告シ之ニ應シテ投票セルハ懲罰委員ニ付スヘシトスル議員(二百十四名)ノミナリキ

第四十三回議會 大正九年七月二十七日古島一雄君外五名提出決議案(城東線拂下契約不當ノ件)ノ採決ニ際シ議長(奥繁三郎君)ハ記名投票ニ依ル旨ヲ宣告シ之ニ應シテ投票セルハ決議案ヲ否トスル議員(二百四十三名)ノミナリキ

第四十五回議會 大正十一年二月十四日臨時軍事費豫算追加案ノ會議ニ於テ委員長ノ報告ニ付記名投票ニ依リ採決セルニ委員長ノ報告ヲ可トスル議員(二百五十一名)ノミナリキ

四〇九 議長ノ決裁表決ハ消極的ナルヲ例トス

議長ハ選舉ニ關スル投票ハ之ヲ爲シタルコトアルモ表決ニ加ハリタル事例ナシ而シテ表決ノ結果可否同數ニシテ議長ノ決スル所ニ依ル場合ニ於テハ其ノ決裁表決ハ消極的ナルヲ例トス即チ左ノ如シ

第二回議會 明治二十四年十二月十七日渡邊又三郎君提出商法及商法施行條例ノ一部施行ニ關スル法律案ニ付直ニ第三讀會ヲ開クヤ否ノ氏名點呼ヲ行ヒ可否同數ナリシトキ副議長(津田眞道君)ハ「半數デゴサイマス止ムヲ得ズ當席デ決シナケレバナリマセヌ否ト決シマセウ」ト宣告シタリ

第十回議會 明治三十年三月十五日佐藤忠望君外七名提出自家用酒稅法中改正法律案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ノ氏名點呼ヲ行ヒシトキ可否同數ナリシヲ以テ議長(鳩山和夫君)ハ「議長ハ正半數デアアルカラ憲法ニヨリマシテ可否ヲ決シマス議長ハ二讀會ヲ開クベカラザルモノト決シマス」ト宣告シタリ

同 明治三十年三月二十四日政府提出重要輸出品同業組合法案ノ第二讀會ヲ直ニ開クヤ否ノ記名投票ヲ行ヒシトキ可否同數ナリシヲ以テ議長ハ「又議長ガ裁決シナケレバナラヌコトナリマシタ直ニ第二讀會ヲ開クベカラズト決シマス」ト宣告シタリ

第二十三回議會 明治四十年三月二十六日江原素六君外三名提出第二女子高等師範學校位置ニ關スル建議案ハ記名投票ノ結果百三十一ニ對スル百三十二ノ多數ヲ以テ否決セラルルニ其ノ投票中同一氏名ノ投票(青票)二箇アリタル爲翌二十七日議長(杉田定一君)ハ之ヲ議院ニ報告シ次テ「就キマシテハ……一票ハ不適法即チ無効ト言ハネバナリマセヌ之ヲ無効ト致シマスレバ青白同數即チ各々百三十一票トナリマス即チ可否同數デアリマス從ッテ議長ハ昨日多數ニテ否ト宣告シタルモノヲ取消シテ更ニ憲法四十七條ニ依リマシテ議長ガ決裁セネバナリマセヌカラ議長ハ之ヲ否ト決定シマス」ト宣告シタリ

四一〇 議長必要ト認メタル表決方法ニ對シ他ノ表決方法ヲ用キルノ動議起ルトキハ先ツ其ノ動議ヲ採決スルヲ例トス

議長ニ於テ必要ト認メ記名若ハ無名投票ヲ以テ表決スルノ宣告ニ對シテ他ノ表決方法ヲ以テ採決スヘシトノ動議起ルトキハ先ツ其ノ動議ヲ採決スルヲ例トス

第六回議會 明治二十七年五月十七日大井憲太郎君外九名提出上奏案採決ニ際シ議長(楠本正隆君)ハ「……是ハ大事ナ問題デアリマスカラ記名投票ヲ以テ決ヲ採リマス」ト宣告シタルニ

粟谷品三君ハ無名投票ヲ以テ表決ヲ爲スノ動議ヲ提出シ之ニ贊成アリタルヲ以テ議長ハ「議長ガ一應宣告スル前ニ動議ガアレバソレ宜シイガ宣告ヲシテ後ニ始終サウ云フヤウニサレテハ困ル……然ラバ決ヲ採リマセウ……決ヲ採ルガ公平デアリマス……無名投票ニ贊成ノ諸君ハ起立」ト宣告シタリ

第十二回議會 明治三十一年六月十日議事日程第一(政府提出地租條例中改正法律案)ノ議事ニ移ルヤ板東勘五郎君ヨリ其ノ議事ヲ延期スヘシトノ動議(同君外二十二名提出特別地價修正ニ關スル建議案ヲ前ニ議事ニ付スル爲)ヲ提出シ議長(片岡健吉君)ハ先決問題トシテ院議ニ付シ其ノ採決ニ際シ「……記名投票ヲ以テ採決致シマス」ト告ケ次テ「今記名投票ニスルト云フコトヲ宣告ヲ致シマシタガ茲ニ無記名投票デ採決セヨトノ動議ガアリマスサウシテ見レバ是ハ尙ホ議場ニ諮ヒマス……無名投票ヲ以テ之ヲ決シヤウト云フ諸君ハ起立ヲナサイ」ト宣告シタリ

四一一 表決方法ニ付二種ノ請求アルトキハ議長ハ院議ニ諮ヒ又ハ職權ヲ以テ之ヲ決定ス

一問題ニ對シ議員ヨリ記名若ハ無名投票ヲ以テ採決セムコトヲ請求セシ場合ニハ議長ハ院議ニ諮ヒ又ハ職權ヲ以テ之ヲ決定ス而シテ院議ニ諮フ場合ノ表決方法ハ議長之ヲ決スルモノトス

(一) 院議ニ諮ヒ決定シタル例

(イ) 起立ニ諮ヒ決シタルモノ

第五十二回議會 昭和二年二月二十二日武富濟君外九名提出決議案(議員小川平吉君ノ處決ニ關スル件)ノ採決ニ際シ砂田重政君外三十名ヨリ記名投票ヲ以テ、岡本實太郎君外三十名ヨリ無名投票ヲ以テ採決スヘシトノ要求アリ議長(粕谷義三君)ハ記名無名孰レニスヘキヤヲ起立ニ依リテ採決シ記名投票ニ依リ採決スルコトニ決セリ

第三回議會(明治二十五年五月三十日)、第五回議會(明治二十六年十一月二十九日、十二月一日日)、第八回議會(明治二十八年一月二十八日)、第十回議會(明治三十年三月十八日)、第十四回議會(明治三十三年一月二十九日、二月十二日)、第十八回議會(明治三十六年五月二十七日)、第四十回議會(大正七年二月七日)、第五十回議會(大正十四年三月十二日)ニ同一ノ事例アリ

(ロ) 記名投票ヲ以テ決シタルモノ

第五十回議會 大正十四年三月十八日關直彦君外十六名提出震災被害地ノ營業稅免除ニ關スル法律案ノ採決ニ際シ成規ノ手續ヲ經テ一ハ無名投票、一ハ記名投票ノ要求アリタルカ議長(粕

谷義三君)ハ「……仍テ議長ハ此採決ヲ記名ニスルカ、無記名ニスルカト云フコトヲ記名投票ニ依テ採決致シマス」ト宣告シタリ

第十四回議會(明治三十三年二月二十三日)、第三十五回議會(大正三年十二月二十五日)ニ同一ノ事例アリ

(ハ) 無名投票ヲ以テ採決シタルモノ

第十八回議會 明治三十六年五月二十七日犬養毅君外四名提出上奏案ニ對シ副議長(杉田定一君)ハ「……犬養毅君外二十四名ヨリ上奏案ノ採決ハ記名投票ヲ……又別ニ恆松隆慶君外二十三名ヨリ無記名ノ投票ヲ請求致サレテアリマス……是ヲ院議ニ諮フノガ穩當ノ手段デアラウト思ヒマス……其院議ニ諮フ所ノ方法ハ無記名投票ノ方法ヲ以テ院議ニ諮フコトニ致シマス(中略)記名投票ニ贊成ノ御方ハ白球ヲ……反對ノ御方ハ黒球……」ト宣告シタリ

(ニ) 職權ヲ以テ決定シタル例

第十六回議會 明治三十五年三月四日政府提出豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ニ對シ議長(片岡健吉君)ハ「此採決ハ無記名投票ヲ望ムト云フ申出モアリマス又記名投票ヲ望ムト云フ申出モアリマスガ議長ニ於テハ記名投票ヲ以テ此採決ヲ致サウト思ヒマス」ト宣告シタリ

第一回議會(明治二十四年二月三日)大谷木備一郎君提出豫算査定案其ノ他豫算案ニ關スル各修正案ヲ一括シテ豫算委員ノ再審査ニ付スヘシトノ動議、第三回議會(明治二十五年二月十二日)河野廣中君外八名提出選舉干涉ニ關スル上奏、案第十回議會(明治三十年三月十一日)政府提出貨幣法案ニ同一ノ事例アリ而シテ第一回及第十回議會ニ於テハ無名投票ヲ、第三回議會ニ於テハ記名投票ヲ宣告シタリ

(三) 院議ニ諮ヒタル結果其ノ決定ヲ議長ニ委任セラレ爲ニ議長ニ於テ決定シタル例

第二十三回議會 明治四十年三月十九日本院ノ體面ニ關シ調査ノ件ノ會議ニ於テ其ノ採決ニ當リ議長(杉田定一君)ハ採決ノ方法ニ付イテ諸君ニ御諮リヲ致シマシガ、山口熊野君外四名ヨリ記名投票、長谷場純孝君外數名ヨリ無記名投票ヲ以テ採決セラレタイト云フ申出ガアリマス……就キマシテハ此際此採決ノ方法ヲ議長ニ御一任下ステハ如何デアリマセウカ……議長ニ一任セラレタニ付キマシテハ事苟モ本院議員ノ身上ニ關係ヲスルコトデゴザイマスカラ議長ハ本案ノ採決ハ無名投票ヲ以テ採決ヲ致スコトニ致シマス」ト宣告シタリ

第四回議會(明治二十六年二月二十一日)、第十四回議會(明治三十二年十二月八日)ニ同一ノ事例アリ

參看 三九九號、四〇七號

四二二 表決、表決方法及表決ノ結果ノ宣告ハ之ヲ訂正スルコトヲ得

議長ハ議案ヲ表決ニ付スヘシトノ宣告、表決ノ方法若ハ表決ノ結果ヲ宣告シタル後必要ト認ムル場合ニハ之ヲ訂正スルコトナシトセス

(一) 表決ノ宣告ヲ訂正シタル例

第二十五回議會 明治四十二年三月十二日日程第六明治四十年年度豫備金支出ノ件外五件ノ採決ニ際シ議長(長谷場純孝君)ハ……採決ハ即チ日程第六トシテアル其内ニ六件ノ事後承諾ヲ含ンデ居リマスケレドモ今六ノ内第二ト第四ニ對シテハ花井君ノ反對ガゴザイマスカラ、採決ハ順序上第一ヨリ逐條採決致シマス」ト述ヘタルニ一括デ宜シイト呼フ者アリ議長ハ「ソレデハ便利ノタメ花井君ノ反對ノ動議ニ付テ採決致シマセウ……」ト告ケ花井君ノ動議ニ付採決シタリ

第三回議會(明治二十五年六月八日)野出鐘三郎君提出登記法改正法律案、第十二回議會(明治三十一年六月四日)政府提出衆議院議員選舉法改正法律案、第十八回議會(明治三十六年五月三十一日)横井甚四郎君外一名提出水利組合條例中改正法律案、第二十二回議會(明治三十九年二月一日)政府提出臨時事件費支辨ニ關スル法律案ニ對シ同一ノ事例アリ

(二) 表決方法ノ宣告ヲ訂正シタル例

第二十五回議會 明治四十二年三月九日日程第十二、第十三ハ島田三郎君外五名提出非常特別
 税法中改正法律案、日程第十四島田三郎君外五名提出鹽專賣法廢止法律案ノ第一讀會ニ於テ
 其ノ採決ニ當リ議長(長谷場純孝君)ハ「採決ハ日程第十二、十三、十四ト別箇ニ採決シヤウト
 思ヒマス、而シテ採決ノ方法ハ記名投票ヲ以テ採決ヲ致シマス」ト宣告シ先ツ二案ヲ表決シタ
 ル後議長ハ「此ノ場合御諮リヲ致シマスモウ三案ノ中二案ハ記名投票ニ依テ採決サレマシタ、
 凡ソ大體ハモウ殆ド定テ居ルト思ヒマスガ滿場御異議ナケレバ此十四鹽專賣法廢止法律ハ起
 立ヲ以テ採決致シタイト思ヒマス」ト告ケ院議異議ナク起立採決ヲ爲シタリ

第一回議會(明治二十三年十二月二日)全院委員長選舉ノトキ衆議院規則第三十條(改正第三十
 二條)ノ解釋、第十二回議會(明治三十一年六月十日)板東勘五郎君提出議事延期ノ動議、第二十
 二回議會(明治三十九年三月十三日、二十三日)竹内正志君外二名提出萬國博覽會開設ニ關スル
 建議案、國井庫君外一名提出明治三十八年法律第七十號中改正法律案、第二十四回議會(明治四
 十一年二月十三日)明治四十一年度豫算案、第二十八回議會(明治四十五年二月十三日)齋藤宇一
 郎君提出遠藤良吉君ヲ懲罰委員ニ付スルノ動議ニ對シ同一ノ事例アリ而シテ第一回議會ニ於テ
 ハ起立ヲ點呼ニ、第十二回議會ニ於テハ起立ヲ記名投票ニ、第二十二回、第二十八回議會ニ於テ
 ハ記名投票ヲ起立ニ、第二十四回議會ニ於テハ記名投票ヲ諮問ニ訂正シタリ

(三) 表決ノ結果ノ宣告ヲ訂正シタル例

第五十一回議會 大正十五年三月六日ノ本會議ニ於テ開議宣告ノ後議長(粕谷義三君)ハ「一昨
 日ノ會議ニ於キマシテ第一回ノ記名投票ノ中ニ同一氏名ノ白票ガ二票アリマシタ是ハ隣席ノ
 方ガ誤ツテ投票セラレタト云フ申出ガアリマシタガ投票終了後デアリマスカラ其中一票ハ無
 效ト致シタイト思ヒマス隨テ投票ノ結果ヲ其通り訂正致シマス但シ可否ノ結果ニ異動ヲ及ボ
 サヌノデアリマス此事ヲ御諒承ヲ願ヒマス」ト告ケタリ

四二三 題名ノ修正ハ本文ト併セ採決スルヲ例トス

法律案ニ於テハ題名ヲ本文ノ始ニ之ヲ表示スルモノアリ或ハ之ヲ表示セサルモノアリ例ハ鐵道
 國有法案ニ在リテハ本文ノ始ニ鐵道國有法ト其ノ題名ヲ表示シ永代借地權ニ關スル法律案ノ如キ
 其ノ件名ニ「關スル」ノ文字アル法律案ニ在リテハ之ヲ表示セス又「關スル」ノ文字ナキモ法令中一
 部分ノ廢置變更ニ屬スルモノ即チ岡山縣下郡廢置法律案ノ如キ若ハ法令ノ廢止改正ニ付テノ法律
 案ニ在リテモ亦之ヲ表示スルコトナシ而シテ題名ニ修正アリタルトキハ之ヲ採決スルモ近時概ネ
 本文ト併セ採決スルノ例トナレリ

建議案ニ付テ題名ヲ修正シタルモノアルモ概ネ修正ノ全部ヲ一括シテ採決スルヲ例トス但シ第十回乃至第二十六回議會ニ於テハ題名ヲ本文ノ始ニ掲ケス

參看 二八五號

四一四 一括シテ院議ニ付シタル數議案ヲ一括又ハ各別ニ採決ス

數議案ヲ一括シテ院議ニ付シ其ノ種類又ハ性質ノ異ナル場合ニ於テモ其ノ採決ハ便宜一括又ハ各別ニ之ヲ爲シ必スシモ一定セス

請願ヲ一括シテ院議ニ付スル場合ニ於テハ概ネ一括シテ之ヲ採決スルヲ例トシ異議アル請願ニ對シテハ各別ニ採決ス

參看 三三八號、三七二號ノ(六、五一四號)

四一五 數箇ノ修正案アル場合ニハ議長其ノ採決順序ヲ定ム

一議案ニ對シ數箇ノ修正案提出セラレタルトキハ議員ノ修正案ハ委員會ノ修正案ニ先ツテ決ヲ採

ルヘク議員間ノ修正案ニ在リテハ原案ニ最遠キモノヨリ先ニスヘキハ衆議院規則ノ定ムル所ナルモ時ニ其ノ前後ヲ區別シ難キモノナキニ非ス此ノ場合ニ於テモ議長ニ於テ其ノ順序ヲ定ムルコトハ每會期其ノ事例尠カラス

又委員會ノ修正ト議員ノ修正ト共通ノ部分アルトキハ其ノ部分ニ就テハ委員會ノ修正ニ付採決スルヲ例トス

第三十一回議會 大正三年二月十七日關直彦君外五名提出地租條例中改正法律案ノ採決ニ際シ

同一箇所ニ數箇ノ修正案アリシトキ議長(大岡育造君)ハ「施行期限ニ關シマシテハ原案、修正案二通、委員長報告ト共ニ四ツアリマス原案ニ一番遠キ修正ガ川原君ノ修正デアリマス之ニ付テ決ヲ採リマス」ト宣告シ其ノ採決順序ヲ指定シ之ヲ採決シタリ

第四十六回議會 大正十二年三月三日床次竹二郎君外十一名提出產業組合中央金庫法案ノ第二讀會ニ於テ副議長(松田源治君)ハ「採決ニ付テ一言致シマス下岡忠治君外五名提出ノ修正案中委員長報告ト同一ノ箇所ガアリマス其ノ點ハ委員長報告ニ依リ採決致シマスカラ先ツ其ノ點ヲ除キタル他ノ修正ニ付テ採決致シタイト思ヒマス」ト告ケ下岡君ノ修正次ニ委員長報告ト順次採決セリ

參看 二七〇號、四一一號

四一六 議決ニ際シ先ツ主義ニ依リ又ハ重要部分ヨリ逐次採決ス

第三十五回議會 大正三年十二月二十五日大正四年度豫算案ノ會議ニ於テ討論ノ後之ヲ採決スルニ當リ議長(奥繁二郎君)ハ「……此豫算案ヲ採決致シマスルニ就キマシテハ先ヅ先刻來ノ議論ノ岐ルル所ニ依リマシテ其主義ヲ決シタイト思ヒマス即チ二箇師團増設ニ就テ……其次ハ海軍省ノ所管ニ於キマシテ軍艦製造費乙號軍備補充費軍艦製造費中ノ大正四年度ノ分ニ就テ採決スル考デアリマス……先ヅ是レダケヲ後ハ其時々ニ諮リマス……」ト宣告シ順次記名投票ヲ用キタリ

第四十一回議會 大正八年三月八日衆議院議員選舉法中改正法律案ノ採決ニ際シ議長(大岡育造君)ハ「決議ヲ採リマス方法順序ヲ宣告致シマス、區制ト納稅額、此二ツハ各別ニ採ッテ記名投票ヲ用キマス、智識階級、選舉、被選舉人ノ年齢是ダケハ起立ニ諮ヒマス、其他ハ委員長報告ニ付テ是亦起立ニ諮ヒマス」云々ト告ケ第一ニ區制即チ大選舉區ト小選舉區ニ付テ第二ニ納稅額參圓以上ヲ可トスルモノト否トスルモノト、第三ニ智識階級者ニシテ獨立生計ヲ營ム者ニ選舉權ヲ與フヘシトスルモノ、第四ニ智識階級者ニ選舉權ヲ與フヘシトスルモノ、第五ニ年齡二十年以上及兵役義務終了者ニ選舉權ヲ與フヘシトスルモノ、第六ニ其ノ他ノ點一付採決シタリ

參看 四四五號、四六〇號

四一七 數箇ノ修正案アル場合ニ修正中共通ノ部分アルモ便宜各案毎ニ採決ス

豫算案又ハ法律案ニ對シ數箇ノ修正案提出セラレタル場合ニ修正中共通ノ部分アルトキハ其ノ部分ヲ一括シテ採決スルヲ本則トスルモ便宜トスル場合ハ豫メ院議ニ諮ヒ各案毎ニ採決スルコトナシトセス

第二十八回議會 明治四十五年三月五日政府提出衆議院議員選舉法中改正法律案ノ會議ニ於テ安達謙藏君、田川大吉郎君、高木益太郎君ハ各自其ノ提出ニ係ル修正案ニ付意見ヲ述ヘタル後議長(大岡育造君)ハ採決ニ際シ院議ニ諮ヒ第一ニ田川君ノ修正、次ニ高木君ノ修正、次ニ安達君ノ修正ニ付テ採決シ最後ニ委員長報告ニ付テ採決シタリ

第三十一回議會 大正三年二月十二日大正三年度豫算案會議ニ於テ武富時敏君ハ其ノ提出ニ係ル修正案ニ付、鈴木梅四郎君ハ犬養毅君提出ノ修正案ニ付孰レモ意見ヲ述ヘタル後議長(大岡育造君)ハ採決ニ際シ院議ニ諮ヒ先ツ犬養君ノ修正次ニ武富君ノ修正ニ付採決シ最後ニ委員長

長報告ニ付テ採決シタリ

第五十回議會 大正十四年三月七日治安維持法案ノ第二讀會ニ於テ議長(粕谷義三君)ハ「採決ニ入ルニ先チ御諮リ致シマス中村啓次郎君外三名提出ノ修正案中第一條ノ政體ヲ削ル點ハ委員長報告ト同一デアリマスガ法文ノ組立方及刑期ノ點ニ於テ相違シテ居ルノデアリマスカラ之ヲ別個ノモノト認メマシテ隨テ委員長報告ト修正案トハ共通ノ點ハ無イコトニナリマス左様御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス」ト告ケ先ツ中村君ノ修正案ヲ採決シ次テ委員長報告ヲ採決シタリ

四一八 數箇ノ修正案アル場合ニ修正中共通ノ部分ヨリ又ハ共通ナラサル部分ヨリ採決ス

豫算案又ハ法律案ニ對シ數箇ノ修正案提出セラレシ場合ニ修正ノ共通部分アルトキハ其ノ共通ノ部分又ハ共通ナラサル部分ヨリ逐次採決ス

第三十六回議會 大正四年六月一日大正四年度豫算追加案ノ會議ニ於テ採決ニ際シ議長(島田三郎君)ハ「鈴木君ノ修正ト元田君ノ修正ト同一ナル部分ニ付テ採決シマス、先ツ修正案中陸

軍省所管朝鮮師團増設ニ關スル費用ヲ採決致シマス」云々……次ニ各省ニ涉ル參政官副參政官及内務省所管地方行政監察制度新設費全部ヲ削除スルト云フ點……次ニ大藏省所管帝國鐵道資金二千萬圓ヲ削ルト云フ點……是ニテ兩修正ノ同一ノ部分ハ終了シ……是レヨリ以上ノ外ノ部分ノ鈴木君ノ修正……次ニ元田君外三名ノ修正……次ニ委員長ノ報告ト順次採決シタリ

第四十回議會 大正七年二月十二日大正七年度豫算案會議ニ於テ早速整爾君、鈴木梅四郎君ハ各自其ノ提出ニ係ル修正案ニ付意見ヲ述ヘタル後議長(大岡育造君)ハ採決ニ際シ前例ニ依リ修正ノアル費目ヨリ採決ヲ爲ス旨ヲ告ケ其ノ順序ニ付院議ニ諮ヒ第一早速君ノ修正、次ニ早速君ノ修正ト鈴木君ノ修正ト共通ノ點、次ニ早速君ノ修正ト委員長報告ト共通ノ點、次ニ早速君ト鈴木君ト委員長報告トノ共通ノ點ニ付順次採決シ最後ニ委員長報告ニ付採決ヲ爲シタリ

第四十二回議會 大正九年二月十三日大正九年度豫算案外一件會議ニ於テ濱口雄幸君、鈴木梅四郎君、三土忠造君ハ各自其ノ提出ニ係ル修正案ニ付津田毅一君ハ佐々木平次郎君提出ノ修正案ニ付孰レモ意見ヲ述ヘタル後議長(大岡育造君)ハ採決ニ際シ例ニ依リ修正アル部分ヨリ採決ヲ爲ス旨ヲ告ケ第一濱口君ノ修正ト鈴木君ノ修正ト佐々木君ノ修正ト同一ノ點、次ニ濱

口君ノ修正ト鈴木君ノ修正ト同一ノ點、次ニ以上ヲ除キタル濱口君ノ修正、次ニ鈴木君ノ修正、次ニ三土君ノ修正ニ就テ順次採決シ最後ニ委員長報告ニ付テ採決シタリ

參看 二七〇號、四一五號

四一九 委員會ノ報告否決ナルトキハ本案ニ付テ採決スルヲ例トス

議案ニ對シ否決スヘキモノトノ委員長ノ報告アリタル場合ニ之ヲ採決スルニハ議案ヲ成立セシムルノ方面即チ法律案ニ付テハ第二讀會ヲ開クヘシ又建議案等ニ付テハ本案ヲ採用スヘシトノ採決ヲ爲スヲ常トス

第四十回議會 大正七年二月七日政府提出郵便稅法中改正法律案、清涼飲料稅法案、自家用醬油

稅法中改正法律案、砂糖消費稅法中改正法律案、輸出菓子糖原料砂糖戻稅法中改正法律案、織

物消費稅法中改正法律案ハ孰レモ委員長報告ハ否決スヘシトアリ議長(大岡育造君)ハ「本案

ニ對シ第二讀會ヲ開クヘシト云フ諸君ノ起立ヲ求メマス」ト告ケタリ

第四十一回議會 大正八年三月二十四日鶴澤宇八君提出水產銀行設立ニ關スル建議案ハ委員長

ノ報告ハ否決ナルニ依リ議長(大岡育造君)ハ「贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス」ト告ケタルニ委

員長報告ニ贊成デスカ、何ニ贊成デスカト問フモノアリ議長ハ「委員長報告デハナイ、本案ニ贊成ノ諸君デス」ト答ヘタリ

然レトモ此ノ場合ニ於テモ便宜上委員長ノ報告通異議ナキヤ否ヲ院議ニ諮フコト尠シトセス

第三十一回議會 大正三年三月十四日小西和君外二名提出蠶業講習所ヲ高等專門學校ニ改ムル

ノ建議案ハ委員長ノ報告ハ否決スヘシトアリ副議長(關直彦君)ハ委員長報告ニ異議ナキヤヲ

諮リ本建議案ハ否決セラレタリ

四二〇 少數意見修正案トシテ成立シタル場合ハ委員會ノ修正ニ先ツテ採決ス

衆議院規則第二百二十三條ニ依レハ議員ノ提出シタル修正案ハ委員會ノ修正案ニ先チテ決ヲ取ルヘシトアリ而シテ少數意見ニシテ修正說ナル場合ハ定規ノ贊成ヲ俟テ成立スルモノナルニ依リ議員ノ修正ト同一ナルヘク從テ委員會ノ修正ニ先チテ採決スヘキモノトス

第三十九回議會 大正六年七月十日政府提出造船獎勵金下付停止ニ關スル法律案第一讀會ノ續

會ニ於テ委員長ノ報告(修正)ニ次テ橋本喜造君ハ少數意見(修正)ヲ報告シ定規ノ贊成アリテ

修正成立シ第二讀會ニ於テ此ノ少數意見ニ對シ贊否ノ討論アリ討論終局シタルトキ議長
(大岡育造君)ハ「本案ハ修正ノ箇條モ二三アリマスカラ各條ニ付テスベキデアリマスケレ
ドモ、此場合少數意見ト委員長ノ報告ト此ニツヲ取ツタナラバ十分明瞭スルダラウト思ヒマ
ス、此決ヲ採ルコトニ付テ御異議ガナケレバ其通り致シマス」ト告ケタルニ異議ナカリシヲ以
テ「先ヅ少數意見ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス」ト告ケ少數ニテ否決トナリシ爲更ニ委員長
報告ニ付採決シタリ

四二二 第三讀會ニ於テ廢案說アルモ原案ニ付採決ス

第三讀會ニ於テ廢案說提出セラレタルトキハ原案ニ付採決スルヲ例トス

第三十七回議會 大正五年二月十七日政府提出簡易生命保險法案第三讀會ニ於テ相島勸次郎君
廢案說ヲ提出シタルニ議長(島田三郎君)ハ「福田又一君ノ第二讀會通り可決スベシト云フコ
トニ贊成ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス」ト告ケ先ツ之ニ付テ採決シタリ
參看 三八二號、四三二號

四二三 削除ノ意見ニ對シテハ原案ニ付テ採決ス

議案ノ或ル條項ヲ削除スヘシトノ意見ハ議案全體ヨリ之ヲ見レハ一ノ修正ニ外ナラサルモ逐條審
議ノ場合ニハ削除說ハ反對論ナルヲ以テ原案ニ付テ採決セサルヘカラス而モ近時概ネ逐條審議ノ
方法ニ依ラス便宜一括シテ採決スルノ傾向トナレルヲ以テ委員會ニ於テ削除セルモノ又ハ議員ヨ
リ削除說出テタル場合ニ修正トシテ採決スルコトナシトセス

(一) 原案ニ付採決シタル例

第三回議會 明治二十五年五月二十八日明治二十五年年度豫算追加案ノ會議中委員會ニ於テ削除
シタル歳出臨時部大藏省所管第三款第二項ノ採決ニ際シ議長(星亨君)ハ「是ハ委員說ハ削除
說サウスレバ即チ原案カラ採ルノハ正當ト考ヘマス……ソレガ本當ノ議事デゴザイマス今迄
ハ間違テ居リマシタノデ能ク御調ヲ願ヒマスレバ宜シイ以來ハサウ云フ様ニ私ハ採ル積デ
……即チ第二項ノ削除說ガ出テ居ツタ……原案ノ即チ決ヲ採リマス」ト告ケタリ

第八回議會 明治二十八年一月三十一日戸田熊彦君外五名提出醫師免許規則改正法律案ノ第二
讀會中第一條第二條ニ對シ草刈親明君ハ修正動議ヲ提出シ次テ第一條乃至第十條ニ對シ平田
箴君ヨリ削除說起リ之ニ贊成者アリシトキ鈴木充美君ハ「唯今二百三十五番カラ修正說……
第一條カラ第十條マデヲ削除スルト云フ議ガ上ツテ居リマス以上ハ若シ此說ガ通ツテ其如ク

決シマスレハ文字ヲ直スコトハ不必要ト考ヘマス是カ一番原案ニハ遠イデアルカラ是カラ先
キニ採決ヲ願フコトガ相當ト思ヒマス」ト述ヘ議長(楠本正隆君)ハ「能ク未來ノタメニ御心得
ヲ願フテ置キタイガ先刻削除説ヲ……原案ノ決議ヲ採ツタルハ衆議院ハ先例ニ從ツタノデア
リマス豫テ豫言ヲシテアルノデ修正説ガ成立チマセヌケレバ即チ一條ヨリ十條マデヲ原案ニ
就イテ決議ヲ採リマセウ」ト告ケタリ

(二) 修正トシテ採決シタル例

第五十一回議會 大正十五年三月十六日政府提出府縣制中改正法律案外六件ノ第二讀會ニ於テ
赤間嘉之吉君外九名提出少數意見報告中ニハ北海道會法中改正法律案ノ第九條削除説アリ該
少數意見ハ成規ノ贊成ヲ得テ修正案トシテ成立シタルカ採決ニ當リ議長(粕谷義三君)ハ「府
縣制中改正法律案、市制中改正法律案、町村制中改正法律案、北海道會法中改正法律案此四案
ニ對スル赤間君外九名提出ノ修正ニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス」ト告ケタリ

第五十二回議會 昭和二年三月四日政府提出土地貸賃價格調査委員會法案ノ會議ニ於テ委員長
報告ニハ同法第四條削除説アリタルカ第二讀會ノ採決ニ當リ議長(粕谷義三君)ハ「本案ノ委
員長報告ハ修正デアリマス此委員長報告ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス」ト告ケタリ

四二三 採決ノ必要ナキニ至レル動議ハ消滅シタルモノト認ム

第三十一回議會 大正三年二月十六日議事日程第一乃至第十一ノ會議ニ際シ議長(大岡育造君)
ハ「念ノタメニ此處ニ申上ゲテ置キマス一昨日右各案ノ討議ニ際シ……伊藤大八君ヨリ十二
時ヲ經過スルモ議事ヲ延長シテ各案ヲ議了スベシトノ動議……ガ出タノデアリマスガ伊藤君
ヨリ十二時ヲ經過スルモ議事ヲ延長スルト云フ動議ハ今日ニ於テハ其決ヲ採ルノ必要ハナイ
ノデアリマスカラ是ハ消滅シタモノト見ルノデアリマス、從ツテ同日川原君ヨリ動議ノ出マ
シタ即チ採決ノ必要ノナイモノニヤハリ屬スルノデアリマス」ト告ケタリ

第四十二回議會 大正九年二月二十六日武富時敏君外五名提出衆議院議員選舉法中改正法律案
ノ會議ニ於テ鈴木富士彌君ハ「議長ハ三木君ニ警戒ヲ與ヘテ、其警戒ニ從ハナカッタカラ、退
場ヲ命ジタト云フ趣意ノ宣告デアリマシタガ、三木君ニ警戒ヲ與ヘタル事實ハ斷ジテアリマ
セヌ……故ニ此事實ノ有無ヲ取調ベラレルコトガ先決問題デアリマス、故ニ此事實ノ有無ヲ
取調ベル爲メニ、休憩ヲ致シマシテ、速記録ヲ御取調ヲ願ヒマス」トノ動議ニ對シ未タ採決ニ
至ラスシテ議場騒然タリシ爲議長(大岡育造君)ハ休憩ヲ宣告シ後再ヒ會議ヲ開キ議長ハ「……
尚ホ議事ノ進行ニ關シテ休憩ヲ求メラレタノデアリマス、既ニ御希望ニ從ッテ休憩ヲ致シマ
シタコトデアリマスカラ、別ニ採決ヲ致サズトモ宜カラウト存ジマス」ト告ケタリ

【備考】

無名投票ニ於テ球數ト名刺ノ數ト符合セサル場合ニ於ケル從來ノ取扱方
無名投票ニ於テ球數ト名刺ノ數ト符合セサル場合ハ第五十回議會以前ニ在リテハ再投票ヲ行フヘキ規定ナリシモ實際ニ於
テハ可否ノ結果ニ影響ヲ及ササル限リハ院議ニ諮ヒ之ヲ有效ト認ムルノ慣行ナリシヲ以テ第五十回議會規則改正ノ際「可
否ノ結果ニ異動ヲ及ホササルトキハ此ノ限ニ在ラス」トノ但書ヲ加ヘタル爲自今院議ニ諮フノ必要ナキニ至レリ而シテ此
ノ改正前ニ於テモ名刺ノ數球數ニ超過シタル場合ハ當然棄權ト看做スヘキモノナルヲ以テ選舉ノ場合ト同シク球數カ名刺
ノ數ニ超過シタルトキ云々ト改正セラレタリ

第二十二節 議決

四二四 議案ハ委員ノ審査ニ付シ其ノ報告ヲ得タル後議決スルヲ例トス

政府及貴族院提出ノ議案ハ委員ノ審査ニ付スルヲ本則トシ又議員提出議案ト雖概ネ委員ニ付託ス
ルヲ以テ其ノ審査ノ報告ヲ俟テ之ヲ議決スルヲ例トス但シ場合ニ依リ委員長ノ議場報告ヲ省略シ
テ議決スルコトナシトセス

四二五 修正案原案共ニ否決セラレ更ニ委員ヲ選定スルニハ廢棄スヘカラサルモノト議決スルヲ要ス

第二讀會ニ於テ修正案原案共ニ否決セラレ而モ廢棄スヘカラサルモノト認ムルトキハ先ツ其ノ旨
ヲ議決シ然ル後委員ヲシテ之カ起草ヲ爲サシムルモノトス

第六回議會 明治二十七年五月二十四日政府提出(甲)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可
ノ件ニ關スル法律案ノ第二讀會中其ノ第三項ニ對シ委員ノ修正案、原案共ニ否決セラレタル
トキ此際起草委員ヲ設ケ相當ナル案ヲ起草セシムヘシトノ議動起リ議長(楠本正隆君)ハ之ヲ
採決セムトシタルモ神鞭知常君ノ發議ニ依リ先ツ本案ハ廢棄スヘカラサルモノトノ議決ヲ爲
シ次テ起草委員ヲ設クルノ動議ヲ採決シタリ

第十三回議會 明治三十二年二月二十二日政府提出衆議院議員選舉法改正法律案ノ第二讀會中
其ノ第三十六條ニ對シ少數者ノ意見、委員ノ修正案及原案孰レモ否決セラレタルトキ星亨君
ノ動議ニ依リ議長(片岡健吉君)ハ本案ハ廢棄スヘカラサルモノト認ムヘキヤ否ヤヲ採決シ次
テ起草委員ノ選定ニ付採決ヲ爲シタリ

四二六 數議案ヲ併セ一案トシテ議決ス

數議案ヲ同一委員ニ付託シ委員會ニ於テ數案ヲ併合修正シテ一案ト爲シタル場合ニ委員會報告ハ各案ヲ修正議決シタリト云フモ其ノ實委員會ニ於テ新ニ起草シタル一案ヲ採用スルモノナルカ故ニ政府若ハ貴族院へ送付スル場合ハ其ノ一案ヲ送付スルモノトス此ノ事例毎會期尠カラス

(イ) 法律案ヲ併合シテ一案トシタル例

第四十三回議會 大正九年七月二十日政府提出現受恩給者ノ恩給等ノ増額ニ關スル法律案同軍人恩給等ノ増額ニ關スル法律案ヲ一括シテ議題ト爲シ其ノ第一讀會ノ續會ヲ開クヤ委員長(木下謙次郎君)ハ其ノ報告ニ於テ二案ヲ併合シテ一案ト爲シ「恩給扶助料等ノ増額ニ關スル法律案」ト改題シタル旨ヲ述ヘ討論ノ後院議第三讀會ヲ省略シテ確定セリ

(ロ) 法律案ト建議案ヲ併合シタル例

第三十九回議會 大正六年七月十四日尾崎行雄君外九名提出市町村立小學校費國庫補助法案外三建議案ヲ一括議題ト爲シ議長(大岡育造君)ハ「唯今委員長ノ報告ヲ聽キマス、此四案ヲ綜合シテ一ツノ建議案ガ現レマシタノデアリマスカラ、此場合委員長ノ報告ヲ議題トスル譯ニナリマス」ト告ケ委員長ノ報告ヲ許可シ次テ討論ヲ經、院議委員長報告(四案ヲ併合シテ一建議案ト爲ス)ヲ可決シタリ

(ハ) 建議案ヲ併合シテ一案トシタル例

第五十回議會 大正十四年三月二十三日會議ニ於テ中野寅吉君外一名提出柳津小出間及只見古町間鐵道速成ニ關スル建議案及八田宗吉君提出柳津小出間及只見古町間鐵道速成ニ關スル建議案ハ他ノ建議案ト共ニ一括議題ト爲シ委員會報告ノ通兩案ヲ併合シテ一案ト爲シ表題ヲ「柳津小出間及只見古町間鐵道速成ニ關スル建議」トシ修正議決セリ

(ニ) 建議案ト決議案ヲ併合シタル例

第四十五回議會 大正十一年三月二十五日大岡育造君外十名提出陸軍ノ整理縮少ニ關スル建議案、犬養毅君提出軍備縮少ニ關スル決議案ノ會議ニ於テ兩案ヲ一括シテ議題ト爲シ理事(原田十衛君)ハ其ノ報告ニ於テ二案ヲ併合シテ一案ト爲シ「陸軍ノ整理縮少ニ關スル建議」ト改題シタル旨ヲ述ヘ討論ノ後委員長報告ノ通可決確定セリ

參看 三八五號

四二七 前議會ニ通過シタル建議案ト同一若ハ同種ノ建議案ヲ一括シテ即決ス

會期切迫セル故ヲ以テ前議會ニ可決シタル建議案ト同一若ハ同種ノ建議案百數件ヲ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ即決可決シタルコトアリ

第五十一回議會 大正十五年三月二十四日ノ本會議ニ於テ井本常作君ハ「日程第七十七ヨリ第百九十二至ル百十四件ノ建議案ハ孰レモ前議會ニ於テ可決セラレタルモノト同一又ハ同種ノモノデアリマス會期モ切迫シテ居リマスカラ此際右建議案ヲ一括シテ議題ト爲シ提出者ノ趣旨辯明ハ之ヲ省略シ希望ニ依ツテ議長ノ適當ト認メタル程度ノ簡明ナル理由書ヲ速記録ニ掲載スルコトトシ即決可決セラレムコトヲ望ム」トノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決シタルヲ以テ一括議題トシテ之ヲ可決シタリ而シテ内容同一ノ議案ハ議長ニ於テ之ヲ整理シ政府ニ呈出セリ

第五十二回議會 昭和二年三月二十五日ノ本會議ニ於テ井本常作君ハ「日程第三十五乃至第百五ノ七十一件ハ孰レモ二回以上本院ヲ通過シタル建議案デアリマスカラ提出者ノ趣旨辯明ヲ省略シ内容同一ノ建議ハソレゾレ併合シテ一案ト爲シ其整理ハ議長ニ一任シ一括シテ即決可決セラレムコトヲ望ミマス」ト述ヘタルニ院議異議ナク動議ノ如ク決シタリ

四二八 議案ニ引用セル條項ニ對シ修正ノ條件ヲ附シテ議決ス

第十二回議會 明治三十一年五月二十八日政府提出法例修正案第一讀會ノ續會ニ於テ委員長大岡育造君ハ同案可決ノ報告ヲ爲シ次テ其ノ條項中ニ引用セル民法第七百七十七條ハ民法中修正案議決ノ結果ニ依リ當然異動ヲ生スルコトアルヘキヲ以テ此ノ事ニ對シ併セテ決議ヲ請フ旨ヲ述ヘ同日確定議決ヲ爲ス場合ニ至リ副議長(元田肇君)ハ單ニ本案ノ可否ヲ諮ヒタルニ合田福太郎君ハ「民法ニ修正ガゴザイマシテ動キマシタ時分ニ差支マスカラ委員ノ彼ノ報告通條件ヲ附ケテ確定スルノデアアルカ彼ノ條件ハ省イテ原案ノ儘確定スルノデアアルカ採決ニ付テハモウ少シ判明ニ御宣告ヲ希望致シマス云々」ト述ヘ副議長ハ「議長ノ考デハ矢張委員長ノ報告ハ當然ノ結果ニナルモノト心得テ居ッタノデ別ニ宣告致シマセヌデシタ」ト告ケ異議ナク委員長報告議決セラレタリ委員會報告書ニ記載セル追書左ノ如シ

追テ第十三條第十二項ニ於テ民法第七百七十七條トアルハ民法修正案ノ條數變更ノ場合ニハ當然修正致スヘキモノト議決致候

四二九 已ムヲ得サル場合ニハ議案ノ條項中闕字ヲ存シテ議決ス

第二十四回議會 明治四十一年二月二十七日政府提出沖繩縣酒類出港稅則中改正法律案ハ其ノ附則中沖繩縣及東京小笠原島伊豆七島ニ於ケル酒造稅ニ關スル法律案ノ法律トナリタル場合ニ於テ其ノ法律號數ヲ挿入スヘキ爲「明治四十一年法律第 號ニ依リ」トノ闕字アリタルモ院議其ノ關係議案ト共ニ闕字ノ儘之ヲ議決セリ

四三〇 議決ノ結果ヨリ生スル議案ノ形式又條項ノ整理ヲ議長ニ委任ス

議案議決ノ結果トシテ異動ヲ生スヘキ條項ノ轉換等形式上ニ關スルモノニ付テハ其ノ整理ヲ議長ニ委任スルヲ例トシ又場合ニ依リテハ議決シタル條項ノ修正ヲモ議長ニ委任シタリ

(一) 形式上ニ關スル整理ヲ委任シタル例

第二回議會 明治二十四年十二月十四日伊藤大八君外三名提出集會及政社法改正案ノ會議ニ於テ田艇吉君ハ「唯今ノ植木君ノ御說デ第二條中デ一項ト二項ト三項ト項ガ違ツテ參リマシタニ就テハ第三條ノトコロデ第二條第二項ト云フ下ニ「及第三項」ト云フ四字ヲ入レタイノデゴザイマス(中略)是レハ修正上カラ自然ノ結果デゴザリマスデ此事ハ成立ツコトヲ希望致シマス」岡田良一郎君ハ「第二條第二項第三項ト致シマスヨリ、第二條ノ手續ヲ爲シト致シマシテ第

二項ト云フ字ヲ削ツタ方ガ宜シウゴザリマス」ト發議シ末松謙澄君ハ「マダ外ニモ斯ウ云フコトガアリマシヨウ或ハ文字ニ於テハ相關聯スルコトモゴザイマセウデ若シ之レヲ見合ハセルト云ウト議場ノ議ヲ要スルコトニナラウト思ヒマスカラ私ハ之レヲ議長ニ一任シテ外ノ所モ訂正セラルルヤウニ致シタイ」トノ動議ヲ提出シ議長(中島信行君)ハ「末松君ノ動議ガアリマスガ文字上ノ不都合杯云フ場合ガアツタトキニハ議長ニ任スト云フコトデ「宜シイ」異議ナシ」ト呼フ者アリ)右ノ動議ヲ可決シタモノト見テ「ト宣告シタリ

同日箕浦勝人君外三名提出新聞紙法案ニ付テモ田艇吉君ハ「尙ホ議長ニ御注意ヲ願ヒマスガ大變條項ガ狂ッテ居リマスカラ……」ト述ヘタルニ議長ハ「夫ハ前ノ例ト同一ト認メマス」ト告ケタリ

(二) 議決條項ノ修正ヲ委任シタル例

第九回議會 明治二十九年三月十四日政府提出農工銀行法案ヲ議決シタルトキ議長(楠本正隆君)ハ「第二十條ガ委員會ノ修正通決定シタル以上ハ第六條ノ第二號中ニ「定期及年賦償還ノ貸付ヲ爲ス」ト云フ如キ修正ガナクテハ前後衝突ハセヌカト云フ心配ヲ生ジマスガ別ニ氣遣ハゴザイマセヌカ此等ノ整理ハ議長ニ御一任ヲ請ヒマス」ト諮ヒタルニ異議ナカリシヲ以テ議長ハ整理トシテ第六條第二號中ニ「年賦」ノ上ニ「定期及」ヲ加ヘ貴族院ニ送付シタリ

第二十五回議會 明治四十二年三月二十二日村松恒一郎君外一名提出新聞紙法案ノ會議ニ於テ確定議ニ入ルヤ元田肇君ハ「唯今二讀會デ修正セラレタ通りニ確定セラレンコトヲ望ミマス、尙附加ヘテ申シテ置キマスガ、先刻立川君ヨリ提出サレテ修正ニナツタ中デ文字ヲ削リマシタタメニ上ダケヲ殘シテ其儘デハ文章ガオカシクナリマスカラ」又ハ「ト云フ字ヲ加ヘル必要ガアラウト思フ、是ハ僅ニ字句ノ修正デアリマスカラ議長ニ御委セシテ法文ノ體裁ヲ明カニシタイト思ヒマス、其ノ意味ニ於テ御贊成ヲ願ヒマス」ト發議シ議長(長谷場純孝君)ハ「其ノ他意味ニ於テ異ナルトコロナケレバ」又ハ「トカ」若ハ「トカ」字句ノ修正ハ元田肇君御發議ノ通り、議長ニ御任セニナツテ差支アリマセヌカ」ト諮ヒ異議ナカリシヲ以テ院議第二讀會修正議決ノ通可決確定セリ

四三一 一法律ニ對シ廢止案ト改正案ト議事日程ニ掲載セラレタルトキハ廢止案ヲ先ニ議決ス

同一事項ニ對シ改正及廢止ノ二案提出セラレ之ヲ議事ニ付スル場合ニハ廢止案ヲ先ニシ又同時ニ議題ト爲シタルトキト雖採決ノ際ハ便宜廢止案ヲ先ニス

第二十四回議會 明治四十一年三月十二日議事日程第九政府提出鹽專賣法中改正法律案ノ議事ニ先チ福井三郎君ヨリ「……日程第十一ノ早速整爾君外一名提出鹽專賣法廢止法律案ハ是ハ根本ノ問題デアリマス、第九ノ鹽專賣法中改正法律案ハ枝葉ノ問題デアル、根本已ニ定マレバ枝葉ハ自カラ解決スルノデアル……政府ノ同意ヲ得テ日程ヲ變更シテ……此場合ニ付議センコトヲ希望シマス」トノ動議ヲ提出シ異議ナキヲ以テ政府ノ同意ヲ得テ先ニ廢止案ヲ院議ニ付シタリ

第三十回議會 大正二年三月二十五日議事日程ヲ變更シテ増田義一君外五名提出營業税法廢止法律案竝政府提出營業税法中改正法律案ヲ一括シ議題ト爲シタルトキ議長(大岡育造君)ハ「……此廢止案ガ即チ此法律ノ改正ヨリモ先ニ議セラルベキ……デアリマスカラ……二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リシテ見ヤウト思ヒマス」ト告ケ討論ノ後先ニ廢止案ヲ採決セリ

然ルニ第三十一回議會大正三年二月十六日政府提出營業税法中改正法律案竝關直彦君外五名提出營業税法廢止法律案外九件ヲ一括シテ議題ト爲シ採決ニ際シ議長(大岡育造君)ハ先ツ營業税法中改正法律案外三件(營業税法廢止案)ヲ採決スル旨ヲ告ケ政府ノ改正案ヨリ採決セムトシタルニ守屋此助君ヨリ「私ノ考デハ全廢案ニナツテ居リマス一、二、四ト云フモノヲ先キニ御採リニナツテソレカラ一ニ戻ッテ御採リニナルノガ順序デアラウト思ヒマス」ト述ヘタルニ議長ハ「政府案ヲ先ニ

採ルノガ順ニナツテ居ルノデアリマス、故ニ此ノ政府案ヲ二讀會ニ付スベキヤ否ヤヲ諮ラテ付スベカラズトナレバ廢稅案ノ方ニナルノデ」ト告ケ改正案ヲ先ニ採決シタリ

參看 四二一號

四三二 同種議案中ノ一案ヲ議決シタルトキハ他ノ議案ハ議決ヲ要セス

同種議案ノ一案ヲ議決シタルトキハ其ノ結果トシテ他ノ議案ハ議決ヲ要セサルモノナルニ依リ議長ハ其ノ消滅ヲ認メ若ハ院議ニ諮ヒ之ヲ宣告シ又ハ場合ニ依リ之カ否決ヲ宣告ス

第三十一回議會 大正三年三月五日長谷場純孝君外六名提出織物消費稅法中改正法律案議決ノ

結果武富時敏君外一名提出及岡部次郎君提出織物消費稅法中改正法律案ニ付議長(大岡育造君)ハ「武富案ニ付テ二讀會ヲ開クベキヤヲ問ヒマス答デアリマスガ、岡部次郎君ノモ同ジク、此場合修正ノ案ガ既ニ可決シタ以上ハ、兩案共ニ否決ノ報告ガ自然ニ決定シタルコトト議長ハ認メタノデアリマス、御異議アリマセヌカ……御異議ナシト認メマス」ト宣告セリ

第三十七回議會 大正五年二月十日高木正年君外十名提出軍人恩給法中改正法律案議決ノ結果木津太郎平君外二名提出及粕原文太郎君外一名提出軍人恩給法中改正法律案ニ付議長(島田

三郎君)ハ「……木津太郎平君提出ノ案ト粕原文太郎君ノ案ハ自然ニ採決ノ必要ノナイコトニナリマス」ト告ケタリ

第三十九回議會 大正六年七月十一日東武君外三名提出北海道地價設定及開墾免租年期ニ關スル建議案即決可決セラレタル後小池仁郎君提出ノ同一題名ノ建議案ノ議題ニ供セラルルヤ小池君ハ提案ノ趣旨辯明ヲ爲シタルニ古谷久綱君ハ本案ハ既ニ可決セラレタル日程第七ト内容全ク同一ナルヲ以テ提出者ハ之ヲ撤回スヘシ若撤回セラレサルトキハ即決否決ノ外ナシト論シ小池君ハ撤回ヲ拒ミ院議ニテ決セラレムコトヲ望ミタルニ議長(大岡育造君)ハ「本案ハ前ノ議決ノ結果議スルニ及バズト議長ハ認メマス依テ決ハ採リマセヌ」ト告ケタリ

第四十一回議會 大正八年三月八日政府提出衆議院議員選舉法中改正法律案議決ノ結果高木益太郎君外三名提出及武富時敏君外六名提出衆議院議員選舉法中改正法律案ニ付議長(大岡育造君)ハ「唯今ノ決議ノ結果、議員ヨリ提出ノ二案ハ廢棄セラレ……マシタ」ト宣告セリ

同 大正八年三月十五日田中隆三君外二名提出耕地整理法中改正法律案ノ第一讀會ノ續會ニ於テ岩崎勳君ハ「本案ハ日程第一耕地整理法中改正法律案(政府提出)修正議決ノ結果、議決ヲ要セスト決定サレンコトヲ望ミマス」トノ動議ヲ提出シ議長(大岡育造君)ハ「岩崎君動議ノ通り御異議アリマセヌカ、御異議ナシト認メマス、即チ本案ハ議決ヲ要セズト決シマシタ」ト宣告セ

第五十回議會 大正十四年二月十四日政府提出裁判所構成法中改正法律案議決ノ結果原夫次郎君外五名提出裁判所構成法中改正法律案同月二十六日横山勝太郎君外四名提出違警罪即決例中改正法律案議決ノ結果原夫次郎君外三名提出違警罪即決例廢止法律案ハ自然消滅ニ歸シタリ

又兩議案ノ内容ニ同一事項アルモ便宜トスル場合ハ先ツ其ノ一案ヲ議決シタル後更ニ他ノ一案ヲ議決スルコトナシトセス第四十三回議會大正九年七月十二日ノ會議ニ於テ武富時敏君外七名提出衆議院議員選舉法中改正法律案及植原悦二郎君提出同一案ヲ相次テ各別ニ採決シタルカ如キ是ナリ而シテ第四十四回議會大正十年二月三日ノ會議ニ於テ關直彦君外三名提出衆議院議員選舉法中改正法律案ノ第二讀會ヲ開カサルニ決シ次テ之ト内容同一事項ヲ有スル箕浦勝人君外三名提出同一案ヲ議題トシ討論ニ入ラムトスルヤ田川大吉郎君尾崎行雄君ヨリ本案ハ前ニ否決セラレタル議案ト同一ナルニ依リ本院ハ一旦否決シタル議案ト同一案ヲ再議シ憲法ノ精神ニ反スルモノニ非スヤトノ質疑ヲ爲シ議長(奥繁三郎君)ハ兩案ハ實質上ニ於テ相異ノ點アルニ依リ討論ニ入ル旨ヲ宣告シ討論終局シ採決ニ入ラムトスルノ際三木武吉君ハ第二讀會ニ於ケル逐條審議ノ方法ニ依リ納稅資格撤廢ノ如キ一致スル點ヨリ之ヲ見レハ尾崎君ノ所謂一事再議ノ非難ハ免レサルモ一ツノ

法案トシテ彼此對照スレハ大ナル差アルノミナラス法案ハ元來不可分ノモノナルニ依リ一括シテ第二讀會ニ移スヤ否ヲ諮ルヘキモノナリ普選案ハ從來屢論議セラレタルモ所謂國民黨憲政會案トシテ各別ニ採決シタル先例アリト論シ議長ハ記名投票ヲ以テ第二讀會ヲ開クヤ否ヲ採決セリ

四三三 議長ノ處置ノ當否ヲ議決ス

第三回議會 明治二十五年六月二日政府ヨリ私設鐵道買收法案ハ鐵道公債法案議決ノ後ニ於テ議事ニ付セラレ度旨ノ請求アリシニ依リ當日鐵道公債法案第一讀會ノ續會ヲ終リタルトキ議長(星亨君)ハ私設鐵道買收法案ハ政府ヨリノ請求アルニ依リ之ヲ日程ヨリ除キ次ノ議事日程ニ掲載セル政談集會及政社法案ノ第二讀會ヲ開クノ宣告ヲ爲シ井上角五郎君ニ發言ヲ許シタルニ議員中ヨリ議長ノ處置ニ對シ異論起リ議場頗ル喧騒シタリ依テ議長ハ其ノ當否ヲ院議ニ諮ヒ議長ノ處置ハ先例ニ依レルモノニシテ正當ナリト認定スヘシトノ採決ヲ爲シタリ

第三十七回議會 大正四年十二月二日議事日程ニ入ルニ先チ廣岡宇一郎君ハ「本日ノ午後ノ會議ニ於ケル第一振鈴ノ後、議長席ニ著クコトノ遅刻シタル理由及議長ガ唯一執ルベキ延會ノ宣告ヲ爲サザリシコト及其宣告ヲ爲サズシテ恣ニ議長席ヲ去ツタト云フ、本日ノ議長ノ行動

ハ不當デアルト云フコトノ決議ヲ致シタイトノ動議ヲ提出シ議長(島田三郎君)ハ「公平ニ院議ニ從フト云フコトガ一番道理デアルト議長ハ確信致シマス」ト告ケ院議ニ諮ヒ採決ノ結果其ノ動議ヲ否決シタリ

四三四 委員會ノ措置ノ是非ヲ議決ス

第四十七回(臨時)議會 大正十二年十二月二十三日ノ會議ニ於テ議事日程ヲ變更シテ政府提出保險會社ニ對スル貸付金ニ關スル法律案外二件委員會ノ委員長報告ヲ求メタルニ委員長廣岡宇一郎君ハ該委員會ニ於テ付託議案ノ審査中止ノ議決ヲ爲スニ至リタル經過ヲ報告シ引續キ同委員會ノ執リタル措置ノ是非ニ付討論シタル後院議同委員會ノ措置ヲ是認スルニ決セリ

四三五 宣告又ハ採決ノ徹底シタルヤ否ヲ議決ス

第二十一回議會 明治三十八年二月二十七日明治三十四年度及同三十五年度決算陸軍省所管中石狩國上川衛戍地兵營建築費及之ニ附屬スル工事費ニ關スル決算委員ノ起草報告ニ係ル上奏

案ヲ議題ト爲スヤ否ニ付採決ヲ爲シタルトキ議長(松田正久君)ハ少數ナルヲ以テ議題ト爲ササルコトヲ宣告シタルニ其ノ宣告判明ナラストシ議場騷擾シタルニ依リ議長ハ「……先刻私ガ本案ヲ議題トスルヤ否ヤノ決ヲ採ルトキ本案ヲ議題トスヘシト云フ諸君ハ起立ヲ望ミマスト云フ宣告ガ分ラナイト云フ申出ガアリマス故ニ其ノ宣告ガ徹底致シタルヤ否ヤノ決ヲ採ルノデアリマスカラ若シ議長ノ宣告ガ明ニ徹底シテ居ナイト云フ御意見ノ御方ハ起立ヲ望ミマス」ト告ケ之ヲ採決シタルニ起立者少數ナリキ

第三十七回議會 大正五年二月二十八日川上榮太郎君外一名提出酒造稅納期繰下ニ關スル建議案ヲ採決シ其ノ宣告ヲ爲シタル際川上榮太郎君ハ「議長ノ採決ニ際シテ喧囂ヲ極メテ贊否ノ多少ハ頗ル明瞭ヲ缺クノ嫌アルト私ハ信ジマス依テ更ニ採決セラレンコトヲ望ムト云フ動議ヲ提出致シマス」ト述ヘ議長(島田三郎君)ハ之ハ先決問題ナルニ依リ採決ヲ爲ス旨ヲ告ケ之ヲ起立ニ諮ヒ採決シタルニ起立者少數ナリキ

第二十三節 再議

四三六 特別ノ理由アルトキハ既ニ議決シタル議案ヲ再議ニ付ス

第一回議會 明治二十四年二月二十一日明治二十四年度豫算案ヲ議了シ其ノ修正議決ニ係ル費
目憲法第六十七條ノ歳出ニ付政府ノ同意ヲ求メタルニ政府ハ之ニ對シ議院ノ再考ヲ求ムル
ノ覆牒ヲ爲セリ茲ニ於テ本院ハ委員ヲ設ケテ政府ノ覆牒ヲ審査シ豫算案ノ修正ニ付政府ト協
議ヲ爲サシメ三月二日委員ノ報告ニ依リ豫算案ノ再議ヲ爲セリ

第四回議會 明治二十六年年度豫算案ノ修正議決ニ係ル費目中憲法第六十七條ノ歳出ニ付テハ三
度政府ハ不同意ヲ表シタルヨリ遂ニ上奏、休會トナリ次テ之ニ對シ詔勅ヲ賜ハリタルヲ以テ
本院ハ委員ヲ設ケテ詔勅ヲ遵奉スルニ付政府ノ意向ヲ確メ明治二十六年二月十五日更ニ豫算
案ヲ豫算委員ニ付託シタル上二月二十二日ヲ以テ之ヲ再議ニ付シタリ

第十回議會 明治三十年二月十八日明治三十年度歳入歳出豫算案甲號乙號ノ會議ヲ了ルヤ議長
(鳩山和夫君)ハ甲號歳入臨時部第九款ニ付テハ先ニ豫算委員ノ修正案ヲ否決シタルモ同修正
案成立セサルトキハ歳出ニ於ケル決議ノ結果ニ對シ明ニ首尾相合ハサルモノトナルヘキヲ以
テ特ニ之カ再議ヲ爲スコトヲ院議ニ諮ヒタルニ院議異議ナク之ヲ容レタルヲ以テ第九款第一
項ヲ再議ニ付シタリ

參看 四五七號

第三章 法律案ノ會議

第一節 第一讀會

四三七 法律案ハ三讀會ヲ經テ之ヲ議決ス

法律案ハ政府提出案タルト議員提出案タルトヲ問ハス凡テ三讀會ヲ經テ議決スルヲ原則トス然レ
トモ政府ノ要求又ハ議員十人以上ノ要求ニ由リ出席議員三分ノ二以上ノ多數ヲ以テ可決スルトキ
ハ讀會ノ順序ヲ省略スルコトヲ得ル爲第一讀會ノ續會ニ於テ讀會ヲ省略シ若シ第二讀會ニ於テ第
三讀會ヲ省略シ議決シタルノ例毎會期甚々多シ

四三八 讀會ニ要スル期間ハ時ヲ以テ計算ス

衆議院規則ニ依レハ第一讀會ハ議案配付後少クトモ二日ヲ隔テ又第二讀會第三讀會ハ其ノ第一讀
會第二讀會ヲ終リタル後少クトモ二日ヲ隔テ之ヲ開クヘキノ規定ナルヲ以テ第二回議會迄ハ配付
又ハ議決ノ翌日ヨリ起算シ第三日目ノ議事日程ニ掲載スルノ例ナリシモ第三回議會ヨリハ時ヲ以

テ計算スルコトナレリ即チ箕浦勝人君外四名提出新聞紙法案ハ明治二十五年五月十日午前十時ニ配付シ同月十二日ノ日程ニ第一讀會ヲ掲ケ又政府提出鐵道公債法案ノ第一讀會ハ同年六月二日午後四時前ニ終リシヲ以テ其ノ第二讀會ハ翌々四日ノ日程ニ掲ケ午後四時ヨリ之ヲ開クコトヲ表示シタリ

衆議院第九二條
衆議院第一〇一條

四三九 會期三分ノ二ヲ經過スルトキハ讀會ニ要スル期間ヲ短縮ス

會期切迫ノ場合ニハ議長ハ豫メ院議ニ諮ヒ讀會ノ期間ヲ短縮シタルモ第二十七回議會ニ於テ院議ニ諮ヒ之ヲ恆例ト爲シ議長ニ於テ當然取計ヒ得ルコトトシ爾來之ヲ例トス

第二十七回議會 明治四十四年二月二十八日議長(長谷場純孝君)ハ「會期モ切迫致シマシタカラ法律案ヲ日程ニ掲載スルコトニ付テ時間ノ短縮……等ハ自今前年通りニ致シタイト思ヒマス御異議アリマセヌカ……尙此事ハ每會期ノ例トナツテ居リマスカラ將來會期ノ三分ノ二ヲ經過スルトキハ當然取計ヒ得ラル、コトニ取極メテ置キタイト思ヒマス御異議ハアリマセヌカ」ト諮ヒ異議ナカリキ

參看 二二六號

議第二七條

四四〇 政府ヨリ讀會省略ノ要求ヲ爲スハ議案提出ト同時又ハ議事ニ付セラルル前ナルヲ例トス

政府ヨリ議院法第二十七條但書ニ依リ讀會ノ順序ヲ省略スルノ要求ヲ爲スハ議案提出ト同時ニ若ハ議案ノ議事ニ付セラルル前ニ於テス即チ提出ト同時ニ要求シタルハ第一回議會(明治二十三年十二月二十五日)、第四回議會(明治二十五年十二月二十一日)、第九回議會(明治二十九年三月二十五日)ニシテ又議事ニ付セラルル前要求シタルハ第四回議會(明治二十六年二月十三日、同二十一日)、第九回議會(明治二十九年三月二十五日、同二十六日)、第十回議會(明治三十年三月二十四日)トス

參看 二二二號

議第二七條

四四一 政府ヨリ讀會省略ノ要求アルトキハ概ネ之ニ同意ス

政府ヨリ讀會省略ノ要求アルトキハ議長ハ其ノ要求ヲ容ルルヤ否ヲ院議ニ諮ヒタルモ第十二回議會ヨリハ此ノ要求アルトキハ議事日程ニ讀會ヲ表示セサルコトトナリシヲ以テ議員ノ動議出テサルトキハ當然讀會ハ省略セラルルコトトナレリ今同意不同意ノ場合ヲ舉クレハ左ノ如シ

第二編 會議

第三章 法律案ノ會議

第一節 第一讀會

(四三九—四四一)

四百三十九

(一) 讀會省略ニ同意シタル例

第一回議會 商法ニ關スル法律施行期限法律案

第四回議會 銀行條例及貯蓄銀行條例施行延期法律案、鐵道敷設法中改正法律案、鐵道比較線路

決定ニ關スル法律案、取引所稅法案

第九回議會 會計検査院法中改正法律案、會計検査官退官ニ關スル法律案、臺灣ニ施行スヘキ法

令ニ關スル法律案

第十回議會 屯田兵土地給與規則中改正法律案、明治二十八年法律第二十六號改正法律案

(二) 讀會省略ニ同意セサリシ例

第四回議會 鐵道敷設法中改正法律案

參看 二二二號、三二八號

四四二 讀會省略ノ場合ニ於テハ會議中何時ニテモ修正動議ヲ提出スルコトヲ得

第二十三回議會 明治四十年二月十二日請願委員長提出家祿賞典祿處分ニ關スル法律案第一讀

會ニ於テ讀會省略セラレ其ノ採決ニ際シ森肇君ヨリ「私ハ此ノ案ニ對シテ一ツノ修正ヲシタ
イ點ガアリマス……」ト述ヘ引續キ同君ハ修正動議ノ趣旨ヲ辯明シタリ

第八回議會(明治二十八年二月四日)、第九回議會(明治二十九年三月十八日)、第十回議會(明治
三十年三月八日、十三日、十七日、二十四日)、第十二回議會(明治三十一年六月一日)ニ同一ノ事
例アリ

參看 三〇七號、三八四號

四四三 第一讀會ニ於テ讀會ヲ省略シテ即決可決ス

第一讀會ニ於テ議案ヲ即決可決スル場合ニハ必ス讀會省略ノ上之ヲ爲ササルヘカラサルモ否決ス
ル場合ハ第二讀會ヲ開カサルモノト決スルヲ以テ省略ノ必要生セサルモノトス即チ第五十一回議
會大正十五年三月二十五日(會期終了日)ノ會議ニ於テ同日ノ日程ニ掲ケタル左ノ議員提出案ハ第
一讀會ニ於テ各自ノ趣旨辯明後井本常作君ノ動議ニ依リ讀會ヲ省略シテ即決可決シタリ

大阪市ニ關スル法律案(廣瀬德藏君外十一名提出)

神戸市ニ關スル法律案(砂田重政君外三名提出)

名古屋市ニ關スル法律案(田中善立君外二名提出)
 京都市ニ關スル法律案(森田茂君外六名提出)
 横濱市ニ關スル法律案(平沼亮三君外二名提出)
 未成年者飲酒禁止法中改正法律案(山口政二君外十二名提出)

四四四 第一讀會ノ續會ニ於テ法律案ヲ再審査ニ付ス

第五十二回議會 昭和二年二月十七日丸山浪彌君外六名提出北海道農地特別處理法案第一讀會ノ續會ニ於テ砂田重政君ヨリ「本案ハ更ニ審議ヲ重ヌル爲ニ特別委員九名ヲ十八名ニ増加シ其増加委員ハ議長ニ於テ指名再議セラレンコトヲ望ミマス」トノ動議ヲ提出シ院議該動議ヲ可決シ十八名ノ委員ニ再付託スルニ決シタリ

第二節 第二讀會

四四五 第二讀會ニ於テ便宜ノ爲先ツ議案中ノ重要部分ヨリ議決ス

第十三回議會 明治三十二年二月二十二日政府提出衆議院議員選舉法改正法律案ノ第二讀會ニ際シ星亨君ヨリ「本案ニ付テハ先ヅ其ノ重大ナル部分ヲ議決シ次テ逐條ノ討論ヲ爲スベシ」トノ動議ヲ提出シ院議之ニ異議ナカリシヲ以テ議長(片岡健吉君)ハ本案中重大ナル部分即チ投票方法(連記、制限連記、單記、記名、無名、代書ノ點)市ノ定員(郡市區別ノ點、別表)等ヲ議題ト爲シ之ヲ議決シタル後逐條討論ニ入り順次他ノ部分ニ付議決ヲ爲セリ

第十四回議會 明治三十三年一月二十九日政府提出衆議院議員選舉法改正法律案ノ第二讀會ヲ開クニ當リ議長(片岡健吉君)ハ先ツ選舉區(大選舉區、小選舉區)及投票方法(記名、無名)ヲ決定シ次テ逐條ノ討論ニ移リ後別表ノ議事ヲ開ク旨ヲ宣告シ重要部分ノ討論ヲ先ニシタリ

第四十一回議會 大正八年三月八日政府提出衆議院議員選舉法中改正法律案外二件ヲ一括シテ第二讀會ヲ開クヤ討論ニ際シ齋藤隆夫君ハ「三案ヲ通ジテ最モ主ナル事柄ハ、大體三種ニ分レテ居リマス、即チ第一ハ選舉權ノ擴張ニ關スル事、第二ハ選舉區制ノ變更ニ關スル事、第三ハ別表ノ組立ニ關スル事デアル、此外選舉取締ニ就テ、僅ナル修正ガ加ヘラレテ居リマスケレドモ、是ハ殆下議論スルノ値打ガアリマセヌ、ソレ故ニ以上ノ三點ニ就キマシテ云々」ト述ヘ、次テ松田源治君、西村丹治郎君、武藤金吉君、本田恒之君、中西六三郎君、村松恒一郎君、松本誠之

君ハ孰レモ重要部分ニ付討議シ其ノ討論終局ニ際シ議長(大岡育造君)ハ「採決ノ方法順序ヲ宣告致シマス、區制ト納稅額此ノ二ツハ各別ニ採ッテ記名投票ヲ行ヒマス、智識階級ノ選舉權、選舉被選舉人ノ年齢、是ダケハ起立ニ問ヒマス、其ノ他ハ委員長報告ニ付テ是亦起立ニ問ヒマス、此順序ヲ御承知ヲ願ヒマス、而シテ其ノ決ヲ採ル度毎ニ唯今區制ト簡單ニ申シタノハ斯ウ云フ意味ダト云フコトノ説明ヲシテ諸君ノ御了解ヲ得タイト思フノデアリマス……」ト諮ヒ院議異議ナク順次他ノ部分ニ付議決ヲ爲セリ

參看 四一六號

四四六 第二讀會ニ於テ修正案ヲ原案ト看做シテ議題ニ供ス

修正案ハ原案ニ先チテ採決スヘキハ勿論ナルモ時ニ便宜上原案トシテ議題ニ供スルコトナシトセス又委員會ニ於テ併託セラレタル數議案ヲ一案ト爲シ報告シタル場合ノ如キ其ノ修正案ハ假ニ原案トシテ議題ニ供セラルルコトアリ

第三回議會 明治二十五年六月一日末松謙澄君提出集會及結社法案ニ對シ議長(星亨君)ハ「決ヲ採リマスガ即チ此委員會ノ修正案ヲ原案トスルコトニ異議ナケレバ……異議ガナケレバサ

ウ決シマス……」ト告ケ、同月四日政府提出鐵道公債法案(鐵道敷設法案ト改題ス)ノ第二讀會ニ際シ議長ハ「……此鐵道法案ニ就イテ……委員會ノ修正ヲ用ユルカ否カト云フ事ヲ確メテ置キタイ委員會ノ修正ヲ即チ議題トスルカドウカト云フコトヲ確メテ置キタイト考ヘマス」ト告ケタルニ佐藤里治君ハ「本案ノ第二讀會ニ於テハ特別委員ノ修正案ヲ本題トシテ討論表決スヘシ」トノ動議ヲ提出シ議長ハ本動議ノ採決ヲ爲セシニ院議多數ヲ於テ之ヲ可決シタルヲ以テ委員會ノ修正案ヲ議題ト爲シタリ

第四回議會 明治二十五年十二月十二日伊藤大八君外二名提出集會及政社法案ノ第二讀會ニ際シ議長(星亨君)ハ「……諸君ニ御相談ヲ致シマスガ……即チ今迄ノ例ニ依テ是ハ變例トシテ委員會ノ報道ノモノヲ即チ議題トシテ決ヲ採ルコトニシタナラバドウデゴザイマセウ……然レバ委員會ノ修正報道ヲシタモノヲ即チ議題トシテ決ヲ採ルコトニ致シマス……」ト告ケタルニ異議ナカリシヲ以テ孰レモ委員會ノ修正案ヲ原案トシテ議題ト爲シタリ

第五十二回議會 昭和二年三月十七日森田茂君外四名提出京都市ニ關スル法律案、平沼亮三君外二名提出橫濱市ニ關スル法律案、武藤山治君外十一名提出大阪市ニ關スル法律案、折原巳一郎君外二名提出神戸市ニ關スル法律案、加藤鏝五郎君外一名提出名古屋市ニ關スル法律案ノ第二讀會ニ於テ議長(粕谷義三君)ハ「此ノ五案ノ委員長ノ報告ハ五案ヲ併合シテ一案トナサ

レタモノデアリマス此委員長報告ニ御異議アリマセヌカト告ケ院議異議ナク委員長報告ノ
通議決セリ

參看 三八七號

四四七 第二讀會ニ於テハ整理ノ爲ノ外議案ヲ委員ニ付託スルコトヲ得ス

第二回議會 明治二十四年十二月十七日渡邊又三郎君提出商法及商法施行條例ノ一部施行ニ關
スル法律案ノ第二讀會ヲ開クヤ元田肇君ハ委員ヲ設ケテ本案ノ審査ヲ付託スルノ動議ヲ提出
シ爲ニ一場ノ議論ヲ惹起シタリ光妙寺三郎君ハ「二讀會ニ於テ委員ヲ設ケルト云フコトハ規
則ノ上ニ於テ出來ナイ假令議長ガ何ト仰シヤツテモ規則ニ背クコトハ勿論出來マセヌ夫デ修
正案ヲ第二讀會デ出スト云フコトハ勿論出來ルガ特別委員ヲ設ケルト云フコトハ規則ニ無イ
カラ出來ナイノデアアル」ト云ヒ角田眞平君ハ「議長ガ元田君ノ說ノ決ヲ採ラントスレバ先ヅ此
ノ事ハ第一ニ元田君ノ說ヲ採ルヤ否ヤノ決ヲ御採ニナルガ宜シイ」ト述ヘ副議長(津田眞道君)
ハ角田君ノ說ニ從ヒ元田君ノ動議ヲ會議ニ付スルヤ否ヲ起立ニ諮ヒタルニ院議之ヲ否決シタ
リ

第三回議會 明治二十五年六月八日野出鏞三郎君提出登記法改正法律案ノ第二讀會ヲ開キ其ノ
逐條審議ヲ了リタルトキ議長(星亨君)ハ「諸君ニ御相談シマスガ衆議院規則ニ依テ第二讀會
ノ終リニ於テ議院ハ便宜ニ依リ議案ヲ委員ニ付託シテ修正決議ノ條項及字句ヲ整理セシムル
コトヲ得トアリマスガ是非ハ委員ヲ選ンデソレニ託スルコトニ致シタイト考ヘマス」ト諮
ヒタルニ異議ナカリシヲ以テ整理ノ爲更ニ之ヲ委員ニ付託シタリ

四四八 第二讀會ニ於テハ修正意見ノ外大體論ヲ述フルコトヲ得ス

第二讀會ニ於テハ各條項ニ對シ修正意見ヲ演述スルモノニシテ議案全體ニ互ル大體論ヲ述フルコ
トヲ得ス
第三十一回議會 大正三年二月十七日關直彦君外五名提出地租條例中改正法律案ノ第二讀會ニ
於テ町田忠治君ハ武富時敏君外一名提出修正案ノ趣旨辯明中議長(大岡育造君)ハ「町田君ニ
御注意申シマス第一讀會ハ濟デ今ハ修正ノ意見ヲ述ベル場合デアリマス——二讀會ハ大體デ
ナク修正ノ條目ノ説明ヲ願ヒマス」ト告ケ數次注意ヲ爲シタリ

又同會議ニ於テ施行期限ニ關スル條項ノ討議中横尾輝吉君ノ前掲修正案ノ贊成演說ニ對シ議

長ハ「横尾君ニ御注意ヲ申シマス宣告致シマシタ通總體論ノ箇條ハ既ニ終ッテ今ハ施行期限ニ
關スル討論中デアリマス——施行期限ノ事ヲドウゾ主トシテ御演說ヲ願ヒマス」ト注意シタ
リ

四四九 第三讀會ヲ省略スルトキハ第二讀會ヲ以テ確定トス

第二讀會ニ於テ第三讀會ヲ省略スルノ動議出テ可決シタルトキハ第二讀會ヲ以テ確定議トス而シ
テ第三讀會省略ノ動議ハ第一讀會ノ續會若ハ第二讀會中若ハ第二讀會ヲ終リタル際提出セラレタ
ルコト亦尠カラス

第一回議會 明治二十三年十二月十六日永井松右衛門君提出商法及商法施行條例施行期限法律
案ノ第二讀會ヲ終リタルトキ青樹英二君ハ「二次會モ既ニ經過シタ都合デアリマスガ……三
次會ヲ省略シテコレデ完全ナルモノト致シタイト云フ考デアリマス」トノ動議ヲ提出シ之ニ
贊成者アリタルトキ議長(中島信行君)ハ之ヲ採決シ起立者多數ト宣告シ「唯今青樹君ノ述
ラレタル通即チ三讀會ヲ省略シテ即チ此ノ案ハ確定シタルモノナリ」ト告ケタリ
同 二十四年二月二十七日鈴木重遠君提出地租條例改正案ノ第二讀會ヲ終リタルトキ堀内忠司

君ハ「どうか只今ノハ多數デモ決シマスシ餘リ議論モナイコトデアルカラ之ヲ確定議トセラ
レンコトヲ望ミマス」トノ動議ヲ提出シ議長ハ之ヲ採決シ起立者多數ト宣告シ「即チ三讀會ノ
順序ヲ省略シタルニ依テ最早確定ノモノト……」ト旨ヲ告ケタリ

第三十七回議會 大正五年二月二十三日福田又一君ハ去十七日ニ於ケル議事進行ノ件ニ付發言
ヲ求メ當日簡易生命保險特別會計法案ノ第二讀會ノ終ニ於テ第二讀會ハ可決シタレハ此ノ際
第三讀會ヲ省略シ第二讀會ノ決議ノ通り可決確定ヲ望ムトノ動議ヲ提出シタルニ議員中反對
ヲ唱ル者尠カラサリシモ右ハ決シテ議院規則若ハ先例ニ違背スルモノニ非スト信スルモ議長
ノ所見如何ト質シタルニ議長(島田三郎君)ハ「讀會終了後三讀會省略ノ動議ヲ提出スルコト
ハ議長ハ敢テ違法ト認メマセヌ……先例モ多クアリマス」ト答ヘタリ

四五〇 同一讀會ヲ開クノ動議ハ同日再ヒ提出スルコトヲ得

第十回議會 明治三十年三月二十四日政府提出貴族院送付重要輸出品同業組合法案ノ第二讀會
ヲ開クニ決シタルトキ東尾平太郎君ハ直ニ第二讀會ヲ開クヘシトノ動議ヲ提出シ否決セラレ
タルモ二三ノ日程議了後更ニ同一ノ動議ヲ提出シ日程變更ヲ求メ院議之ヲ可決シタリ

第十三回議會 明治三十二年三月一日恒松隆慶君ハ政府提出耕地整理法案ノ第一讀會ヲ開クノ
動議ヲ提出シ議事日程ノ變更ヲ求メタルニ否決セラレタルヲ以テ星亨君ハ二三ノ日程議了後
更ニ同一ノ動議ヲ提出シ日程ノ變更ヲ求メ議院ハ多數ヲ以テ之ヲ可決シタリ

第二十二回議會 明治三十九年三月二十六日長谷場純孝君ハ政府提出海上衝突豫防法中改正法
律案ノ第一讀會中(即チ政府委員趣旨辯明後)政府提出貴族院送付臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關
スル法律案ノ第一讀會ヲ開クノ動議ヲ提出シ議事日程ノ變更ヲ求メタルニ否決セラル依リテ
上記議案ノ委員選舉ノ件ヲ議了シタル後更ニ同一ノ動議ヲ提出シ日程ノ變更ヲ求メ院議之ニ
異議ナカリキ

參看 三六八號

第三節 第三讀會

四五二 第三讀會ニ於ケル討論ハ議案全體ニ涉リテ之ヲ爲ス

第三讀會ニ於テハ議案全體ノ可否ヲ決スヘキモノナルカ故ニ其ノ討論ハ議案ノ全體ニ涉リテ爲ス

衆第一〇三條

ヘキモノトス

第二回議會 明治二十四年十二月二十一日天春文衛君外二名提出田畑地價特別修正法案ノ第三
讀會ニ際シ坪田繁君ノ本案大體ニ反對スルノ演說中折田兼至君ハ衆議院規則第九十八條(改
正第二百二條)ノ規定ニ違背シタル發言トシテ之ニ異議ヲ唱ヘタルモ議長(中島信行君)ハ其ノ
異議ヲ採用セス坪田繁君ヲシテ發言ヲ繼續セシメタリ

第二十七回議會 大正五年二月十七日政府提出簡易生命保險法案ノ第三讀會ニ際シ議長(島田
三郎君)ハ「此ノ場合ニ全體ニ付テノ發言ノ通告ガアリマス」ト告ケ相島勘次郎君ハ議案全體
ニ涉リ討論ヲ爲シタリ

第四章 豫算、決算及承諾ヲ求ムル議案ノ會議

第一節 豫算會議

四五二 豫算案ハ年末年始ノ休會明ノ始ニ提出セラルルヲ例トス

會計法第七條ニ「歳入歳出ノ總豫算ハ毎年ノ帝國議會集會ノ始ニ於テ之ヲ提出スヘシ」トアリ故ニ當初豫算案ハ每會期ノ始即チ開院式後一日乃至三日内ニ提出セラルルヲ例トシタルモ第八回議會以來ハ通常會ノ召集概ネ十二月下旬ニシテ開院式後直ニ勅語奉答文ノ議決ヲ爲シ續テ全院委員長及常任委員ノ選舉ヲ行ヒ年末年始ノ休會ヲ爲スヲ例トシ爲ニ爾來豫算案ハ審査期間ノ關係上休會明ヲ以テ提出セラルルヲ例トスルニ至レリ但シ第三十回議會ハ召集ニ際シ内閣更迭シタルニ依リ二月五日(二月四日迄停會)ヲ以テ提出セラレ第三十五回議會ハ開院式ノ翌日、第三十七回議會ハ開院式後三日目ニ提出セラレタルモ孰レモ十二月ノ始ニ召集セラレタルニ依ル

參看 一六八號、一六九號、一七〇號

四五三 豫算案ハ特殊ノ事情アル場合ニハ撤回ノ上更ニ提出セララル

豫算案ノ審査中休會其ノ他ノ事故ニ依リ審査期間ニ影響ヲ生スル場合ニハ政府ハ一旦撤回シ更ニ之ヲ提出ス第十回、第十六回、第三十回及第五十一回議會ノ如キ是ナリ即チ第十回ハ英照皇太后崩御ニ依リ休會セル爲第十六回ハ政府ニ於テ修正ヲ要スル爲第三十回及第五十一回ハ内閣更迭（一）ハ桂内閣ヨリ山本内閣ニ、一ハ加藤内閣ヨリ若槻内閣ニ）ノ爲ニシテ第十回、第十六回及第五十一回ノ再提出ハ翌日若ハ即日ナリシモ第三十回ハ新内閣組織後七日ヲ經タリ其ノ他豫算追加案ニ付テモ修正ノ爲撤回シテ再提出シタルモノ第十三回議會及第十六回議會ニ其ノ例アリ

第五十一回議會ニ於テハ大正十五年一月二十八日加藤内閣總理大臣薨去シ同日ヨリ一月三十一日迄四日間停會ヲ命セラレ其ノ間若槻内閣成立シ二月一日豫算案ヲ撤回シ即日之ヲ提出セリ右ニ關シ鳩山一郎君ハ「此ノ豫算案ノ撤回ハ多分議院法第四十條トノ關係ニ於テ御撤回ニナッタコトト御察致スノデアリマス 議院法第四十條ハ豫算委員ハ案ヲ受取ッテカラ二十一日以内ニ審査ヲ致シテ議院ニ報告セヨト云フコトニ成ツテ居リマス云々審査期間二十一日ハ其ノ期間中停會若ハ大震火災ニ遭遇シタルカ如ク委員ノ審査不可能ナル場合ニ於テモ之ヲ延長スルヲ得スト解シテ茲ニ豫算案ヲ撤回セラレタルモノナリヤ」ラ質シタルニ對シ若槻内閣總理大臣ハ「議院法第四十條ニ規定シテアリマス二十一日ト云フコトト只今鳩山君ノ御質問ニナリマシタ停會其ノ他免ルヘカラサ

故障ノアツタ場合ノ關係ニ付キマシテハ法律ノ解釋上ニ於テ二様ノ解釋ガアルト存シマス政府ハ此度ノ法律上ノ解釋ヲ一定シテ然ル上豫算案ヲ撤回シタノデアリマセヌ豫算案ヲ撤回致シマシタノハ之ヲ撤回シテ更ニ御審議ヲ仰ク方ガ豫算ヲ慎重ニ御審議下サル上ニ於テ便利ト考ヘマシテ此意味ニ於テ豫算案ヲ撤回シテ更メテ提出致シタヤウナ次第デアリマス」ト答ヘタリ

【備考】

第十八回議會ニ於テ豫算追加案一件撤回セラレタルハ法律案撤回ニ件ヘルモノニシテ再ヒ提出セラレス

第四十八回議會ニ於テ大正十三年一月二十二日（年末年始ノ休會明）ニ豫算案ヲ提出シタルモ開會劈頭 皇太子殿下御結婚

當日休會ノ件ヲ議決シ次テ本日はヨリ來ル二十九日迄休會ノ緊急動議ヲ可決シタル爲次ノ本會議日即チ一月三十一日ニ開

會シ審査期間十日ヲ經過シタルモ同日解散セラレタル爲遂ニ其ノ儘トナレリ

參看 一九八號

四五四 即位ノ大禮ニ關スル豫算ヲ議定ス

第三十一回議會 大正三年三月十日政府ヨリ大禮ニ關スル豫算トシテ（第一號、第二號）大正三年度歳入歳出總豫算追加案、（特第一號）大正三年度各特別會計歳入歳出豫算追加案ノ三案ヲ

第二編 會議 第四章 豫算決算及承諾ヲ求ムル議案ノ會議 第一節 豫算會議（四五三、四五四） 四百五十五

提出シ高橋大藏大臣ハ右豫算提出ニ關シ演説ヲ爲シ同月十二日ノ本會議ニ於テ豫算委員長改野耕三君ノ報告ニ次テ山本内閣總理大臣ハ右豫算ニ關シ演説ヲ爲シ滿場一致ノ協贊ヲ求メ議長(長谷場純孝君)ハ採決ニ際シ本案ハ最重大ノ議案ナルニ依リ起立シテ贊成ノ意ヲ表セラレムコトヲ求メ之ヲ採決シ(總員起立)議長ハ「滿場一致ト認メマス即チ本豫算追加案ハ滿場一致ヲ以テ可決確定致シマシタルコトヲ宣言致シマス」ト宣告シタリ

然ルニ同年四月十一日 昭憲皇太后崩御アラセラレ御大禮ハ自然中止セラレタルモ大正四年秋冬ノ交御舉行ノコトニ御治定相成リタルヲ以テ更ニ左ノ通議決シタリ

第三十五回議會 大正三年十二月十五日政府ヨリ大禮ニ關スル豫算トシテ(第一號、第二號)大正四年度歳入歳出總豫算追加案(特第一號)大正四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案ノ三案ヲ提出シ若槻大藏大臣ハ右豫算提出ニ關シ演説ヲ爲シ同月十七日ノ本會議ニ於テ豫算委員長大岡育造君ノ報告ニ次テ起立ヲ以テ採決ヲ爲シ(總員起立)議長(奥繁三郎君)ハ「全會一致ヲ以テ可決確定致シマシタルト宣告シタリ

第五十四回議會 昭和二年十二月二十七日政府ヨリ大禮ニ關スル豫算ノ一部トシテ(第一號)昭和二年度歳入歳出總豫算追加案ヲ提出シ常任委員選舉ノ結果ヲ報告シタル後議長(森田茂君)ハ「第一號昭和二年度豫算追加案ヲ政府ヨリ緊急事件トシテノ要求ガアリマス此ノ際日

程ニ追加シテ之ヲ議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ」ト諮ヒ院議異議ナク之ヲ議題ト爲シ田中内閣總理大臣及三十大藏大臣ハ趣旨辯明ヲ爲シ直ニ採決ニ入り全會一致ヲ以テ可決シタリ

四五五 大喪ニ關スル豫算ヲ議定ス

本院ニ於テ大喪費ニ關スル豫算ヲ議定シタルハ左ノ如シ

英照皇太后崩御ノ際第十回議會(明治三十年一月二十三日)明治二十九年度總豫算追加案(緊急事件)

明治天皇崩御ノ際第二十九回議會(大正元年八月二十四日)明治四十五年度總豫算追加案(緊急事件)

昭憲皇太后崩御ノ際第三十二回議會(大正三年五月六日)大正三年度總豫算追加案(緊急事件)

大正天皇崩御ノ際第五十二回議會(昭和元年十二月二十八日)大正五年度總豫算追加案(緊急事件)

英照皇太后及大正天皇ノ際ハ議會開會中ニ屬シ明治天皇及昭憲皇太后ノ際ハ孰レモ該豫算議定ノ爲特ニ臨時議會ヲ召集セラレタリ

因ニ第五十二回議會昭和元年十二月二十八日午前十一時片岡大藏大臣ハ各派ノ幹部ヲ交渉室ニ參集ヲ求メ河田主計局長ト共ニ大喪費ノ内容ニ付詳細説明セリ

四五六 豫算案ハ委員ノ審査ヲ經テ後會議ニ付ス

追加豫算案ハ政府ノ要求アルトキハ委員ノ審査ヲ省略シ直ニ會議ニ付ス

豫算案ハ其ノ提出ノ報告ヲ爲シ當局大臣財政計畫ニ付テ大體ノ方針ヲ演說スルヲ例トス而シテ議員ハ其ノ演說ニ對シ質疑ヲ試ミルコトアルモ豫算案ニ就テ討議スルコトナク案ハ直ニ常任委員ニ付託シ其ノ報告ヲ俟テ之ヲ會議ニ付スルヲ例トス

追加豫算案ノ提出セラルルトキハ豫算案ト同シク其ノ報告ニ止メ直ニ委員ニ付託シ其ノ審査報告ヲ俟テ之ヲ會議ニ付スルヲ例トスルモ政府ヨリ議院法第二十八條但書ニ依リ又ハ緊急事件トシテ議定セムコトノ要求アルトキハ直ニ會議ニ付シ大藏大臣其ノ趣旨ヲ辯明シ討議ニ入ルヲ例トス

第一回議會 明治二十四年二月二十一日明治二十四年度總豫算追加案ヲ提出シ政府ヨリ議院法第二十八條但書ニ依リ緊急事件トシテ要求アリタルヲ以テ議院ハ委員ノ審査ヲ省略シ同月二十四日直ニ院議ニ付シタリ

第九回議會 明治二十九年三月二十六日議院ハ(子)明治二十九年總豫算追加案ニ對シ政府委員水野辨理公使ノ口頭要求ヲ容レ委員ニ付託スルコトナク直ニ院議ニ付シタリ

第十回議會 明治二十九年十二月二十六日(別號)明治二十九年總豫算追加案ヲ提出シ政府ヨリ緊急事件トシテ要求アリタルヲ以テ議院ハ委員ノ審査ヲ省略シ即日院議ニ付シタリ

第二十九回(臨時)議會 大正元年八月二十三日明治四十五年年度總豫算追加案ヲ提出シ政府ヨリ議院法第二十八條但書ニ依リ緊急事件トシテ要求アリタルヲ以テ議院ハ委員ノ審査ヲ省略シテ翌二十四日直ニ院議ニ付シタリ(大喪費)

第三十二回(臨時)議會 大正三年五月五日大正三年度歲入歲出總豫算追加案ヲ提出シ政府ヨリ議院法第二十八條但書ニ依リ緊急事件トシテ要求アリタルヲ以テ議院ハ委員ノ審査ヲ省略シテ翌六日直ニ院議ニ付シタリ(大喪費)

第五十二回議會 昭和元年十二月二十七日(第一號)大正十五年年度歲入歲出總豫算追加案ヲ提出シ政府ヨリ緊急事件トシテ要求アリタルヲ以テ委員ノ審査ヲ省略シ翌二十八日即決可決セリ(大喪費)

第五十四回議會 昭和二年十二月二十六日(第一號)昭和二年度歲入歲出總豫算追加案ヲ提出シ政府ヨリ議院法第二十八條但書ニ依リ緊急事件トシテ要求アリタルヲ以テ議院ハ委員ノ審査

ヲ省略シテ直ニ院議ニ付シタリ(大禮費)

因ニ第三十四回(臨時)議會ニ於テ大正三年度豫算追加案臨時軍事費豫算案ハ關聯セル法律案三件ト共ニ緊急事件トシテ要求アリタルモ執レモ委員ニ付託シタリ

參看 二一五號、三二九號

四五七 豫算案ハ審査未了ノ爲若ハ整理、修正ヲ爲ス必要アルトキハ豫算委員又ハ特別委員ノ審査ニ付スルコトヲ得

(一) 再ヒ豫算委員ニ付託シタル例

(イ) 審査未了ノ場合

第一回議會 明治二十三年十二月二十日豫算委員長大江卓君ハ明治二十四年度豫算案ノ審査ハ法定期間内ニ終了ヲ告クル能ハサリシ旨ヲ報告シ次テ堀越寛介君ノ動議ニ基キ審査ノ結果ヲ報告スルニ當リ「其ノ報道スベキ結果ハ未ダ充分ナルコトヲ得テ居マセヌ、ソレ故諸君ニ向ッテ此ノ報道ヲナスト云フコトハ甚ダ苦ムノデアリマス 各主査各科ニ於テ取調ニナツク所ノモノハ……議長ノ手許迄差出スコトニ致シマス」ト述ヘタルニ奈須川光寶君ハ再ヒ豫算委

員ニ其ノ審査ヲ付託スヘシトノ動議ヲ、高梨哲四郎君ハ特別委員ヲ設ケテ其ノ審査ヲ付託スヘシトノ動議ヲ提出シ院議高梨君ノ動議ヲ否決シ奈須川君ノ動議ヲ可決シ又山崎友親君ノ動議ニ依リ一週内ニ審査ヲ終ラシムルコトトシ再ヒ豫算委員ニ付託シタリ

(ロ) 整理ノ爲ナリシモノ

第四回議會 明治二十六年二月十五日佐々木正藏君外六名ヨリ「本院ハ謹テ詔勅ヲ奉戴シ叡慮ヲ徹底スル爲明治二十六年度ノ歳入歳出豫算修正案ヲ再議スルヲ要ス依テ豫算委員ニ付託シ之ヲ整理セシムルコト」トノ動議ヲ提出シ院議多數ヲ以テ此ノ動議ヲ可決シタリ

(二) 特別委員ニ付託シタル例

(イ) 再議ノ爲ナリシモノ

第一回議會 明治二十四年二月十四日明治二十四年度豫算案ノ會議ニ於テ歳出經常部文部省所管第二款第三項乃至第八項及第十二項ハ修正案原案共ニ否決セラレタルニ依リ箕浦勝人君ハ「此ノ第三項ヨリ以下諸學校所管ノ所ハ皆潰レマシタガ……再ビ委員ヲ擧ゲテ調査サレムコトヲ希望致シマス……勿論本員ノ發議ハ斯ノ如キ場合ハ議院ハ廢棄スベカラサルモノト決議シテ然ウシテ委員ニ託サレルト斯ウ二様ノ意味ヲ含ンテ居ル云々或ハ二様トシテモ宜シイ」トノ動議ヲ提出シタルニ院議多數ヲ以テ之ヲ可決シタリ

(口) 修正ノ爲ナリシモノ

第一回議會 明治二十四年二月二十六日明治二十四年度豫算案ノ修正議決ニ付政府ニ同意ヲ求メタルニ對シ政府ヨリ議院ノ再考ヲ求ムルノ覆牒アリタルトキ三崎龜之助君ハ政府ハ議會ノ議決ヲ敬重スルコトヲ怠ラナイ、ケレドモ此ノ査定案ニテハ到底ヤリキレヌト云フ言葉ガ御座リマスル故本員ノ考ヘル所デハ……此ノ議會ガ衆望ヲ屬シテ居ル所ノ人々ヲ舉ゲテ特別委員トシテ政府ト此ノコトニ就イテ審議……協議ヲ盡シ又其ノ協議ノ模様ニ依ッテハ更ニ豫算委員ノ修正案ニ修正ヲ加フルモ可ナリト思ヒマス」トノ動議ヲ提出シ院議多數ヲ以テ此ノ動議ヲ可決シタリ

參看 三七二號ノ(一)、四三六號

四五八 法律案ニ關係アル豫算案ハ法律案議決後會議ニ付スルヲ例トス

法律案ニ關係アル豫算案ハ其ノ法律案ノ本院議決後ニ非サレハ之ヲ議事ニ付セサルヲ例トス然ルニ豫算議了後之ト關係アル法律案ヲ議決シタルコトアリ

第四十一回議會 大正八年度歳入歳出豫算案ハ大正八年二月十三日議了シ之ト關係アル政府提

出道路法案ハ二月二十五日議決セリ

第十三回、第二十五回、第二十六回、第二十七回、第三十九回、第四十回、第四十六回、第四十七回議會ニ同一ノ事例アリ

又豫算ニ關係アル法律案ヲ先ニ貴族院ニ提出シタルトキハ兩院通過後ニ非サレハ豫算ヲ議定セス

第四十一回議會 政府提出度量衡法中改正法律案ハ大正八年三月十五日貴族院ヨリ送付セラレ

同月二十四日議決シ之ト關係アル(第四號)大正八年度歳入歳出總豫算追加案ハ同月二十三日

本院ニ提出セラレ翌二十四日議決シタリ

參看 一六九號、一七〇號、二一六號

四五九 豫算ニ關係アル法律案ハ先ニ衆議院ニ提出スルヲ例トス

衆議院ハ豫算ニ付先議權ヲ有スルヲ以テ豫算關係ノ法律案亦先ニ衆議院ニ提出スルヲ例トス

然ルニ先ニ之ヲ貴族院ニ提出シタルコトナシトセス但シ此ノ場合ト雖豫算ハ其ノ法律案兩院通過後ニ非サレハ議決セサルヲ例トス第九回、第十三回、第十五回、第二十二回、第二十八回、第三十一回、第二十七回及第四十一回議會ニ此ノ事例アリ

四六〇 豫算案ハ全部ニ付討議ヲ爲シ逐項議ニ依ラサルヲ例トス

豫算委員長ヨリ委員會ニ於ケル審査ノ經過及結果ノ報告終リタル後豫算案(豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件ヲ含ム)全部ヲ議題トシ討議ニ付シ逐項議ニ依ラサルヲ例トス又採決ニ際シテハ總豫算案甲號歳出經常部第一款皇室費ハ憲法第六十六條ニ基キ協贊ヲ要セサル費目ナルニ依リ之ヲ省キ其ノ他ニ付修正案アルトキハ(數箇ノ修正案アルトキハ其ノ共通ノ部分ヨリ)先ツ修正ニ付採決シ後原案ニ付採決スルヲ例トス

四六一 豫算返付ノ動議提出セラルルトキハ本案ト共ニ討議ニ付シ採決ハ之ヲ先ニス

豫算案ノ會議ニ於テ編成替ヲ要求スルノ動議若ハ豫算ヲ政府ニ返付スヘシトノ動議提出セラルルコトアリ孰レモ政府ニ豫算ノ編成替ヲ求ムルモノナルカ故ニ先決問題トシテ直ニ採決スヘキモノ

ナルモ其ノ動議ノ可否ニ付討論ヲ爲シ得ルヲ以テ實際ニ於テハ本案ト併セテ討議ニ付スルヲ例トス唯採決ニ際シ該動議ヲ先ニ採決スルモノトス

第十回議會 明治三十年二月十六日明治二十九年年度豫算追加案ノ會議ニ於テ陸軍省所管ニ對シ

栗原亮一君ハ歳出入ノ平衡ヲ爲サシメムカ爲ニ第二款及第三款ノ編成替ヲ求メ總額ニ於テ減額スヘシトノ修正說ヲ出シタルニ議長(鳩山和夫君)ハ「修正說ト言フヨリハ寧ロ第二款第三款ノ新ナ編纂即チ編纂替ヲ求メルヤウ思マス……是ニハ三十人ハ要シナイ一ノ動議デスカラ」ト告ケ其ノ採決ニ際シ「栗原君ノ動議ハ先決問題ノ様ニ考ヘマスカラ先キニ採決シマス」ト宣告セリ

同 三十年三月八日豫算委員長元田肇君ハ(總追第二號)明治三十年總豫算追加案外二件ノ報告ヲ爲シ且右各案ハ本院ニ於テ政府ニ對シテ撤回ノ上更ニ編成提出ヲ請求スヘシトノ動議ヲ提出セシニ議長ハ「元田君ノ動議ハ先決問題ト認メテ宜シウゴザイマスカ」ト諮ヒ異議ナキヲ以テ先決問題トシテ之ヲ採決シタリ

第十三回議會 明治三十一年十二月二十四日明治三十二年年度豫算案ノ大體議ニ於テ石原半右衛門君ハ「政府ハ豫算全部ヲ撤回シテ更ニ計畫ヲ改メテ提出セラレムコトヲ求ム」ト述ヘ討論ノ後議長(片岡健吉君)ハ「石原君ノ動議ハ先決問題ト思ヒマス是ニ就テ採決シマス」ト宣告セリ

同日島田三郎君ハ陸軍省所管全體ニハ政府ニ再考ヲ求ムヘシトノ動議ヲ提出シ討論ノ後議長ハ先決問題トシテ採決セリ

第二十三回議會 明治四十年二月十三日明治四十年度豫算案ノ會議ニ於テ三輪信次郎君外三名ヨリ豫算編成ヲ改ムル爲メ政府ニ返付スヘシトノ動議ヲ提出シ討論ノ後議長(杉田定一君)ハ先ニ本動議ヲ採決セリ

第二十四回、第二十七回、第二十八回、第三十一回、第四十四回、第五十回及第五十二回議會ニ同一ノ事例アリ

四六一 款項ノ削除ハ款項及金額ヲ抹消ス

第一回議會以來豫算ノ款項削除セラルトキハ其ノ款項及金額ノ全體ヲ削ルヲ例トセリ然ルニ第十回議會ヨリ第十三回議會ノ前半迄ハ單ニ金額ノミヲ削リ款項ハ之ヲ存置シタルモ第十三回議會ノ後半ヨリ全體ヲ削除スルノ例ニ復セリ

四六三 修正中政府ノ同意ヲ求ムヘキ款項アルトキハ全部議了後若ハ其ノ修正議決ノ際ニ於テ之カ同意ヲ求ム

憲法第六十七條ノ費目ニ對シ修正議決ヲ爲シ之ニ關シ政府ニ同意ヲ求ムル時期ニ付テハ全部議了ノ時ヲ以テセル場合ト其ノ款項ノ修正議決ヲ爲シタル際トアリ但シ第二十一回議會ニ於テハ軍國ノ際ナリシヲ以テ其ノ費目ノ修正ニ對シ豫メ政府ノ同意ヲ求メタリ

(一) 全部議了ノ後求メタル場合

第一回、第四回、第九回、第十三回、第十五回、第十六回、第二十六回及第二十七回議會

(二) 其ノ款項ノ修正議決ノ際求メタル場合

第六回、第十回、第二十五回及第四十回議會

參看 六〇一號

四六四 議院ハ豫算ノ金額ヲ増加スル修正ヲ爲スコトヲ得ス

議院ニ於テ豫算ノ金額ニ對シテ之ヲ増加スルノ必要ヲ認ムルモ政府自ラ修正スルノ外議院ヨリ修正ヲ爲スコトヲ得ス而シテ政府ヨリ其ノ修正ヲ提出シタルモノヲ舉クレハ左ノ如シ

第二編 會議 第四章 豫算、決算及承諾ヲ求ムル議案ノ會議 第一節 豫算會議 (四六二—四六四) 四百六十七

(一) 歳入金額ヲ増加シタル例

第四回議會(明治二十六年二月十六日)明治二十六年度總豫算案、第九回議會(明治二十九年一月二十二日)明治二十九年各特別會計豫算案、第十回議會(明治三十年一月二十八日)明治三十年度總豫算案、第十三回議會(明治三十一年十二月十五日、十八日(第一號)明治三十一年度總豫算案追加案、明治三十二年各特別會計豫算案、第二十回(臨時)議會(明治三十七年三月二十六日)明治三十七年度各特別會計豫算追加案、第二十一回議會(明治三十七年十二月十六日)(第一號)明治三十八年度總豫算追加案、第二十六回議會(明治四十三年二月九日)明治四十三年度總豫算案

(二) 歳出金額ヲ増加シタル例

第九回議會(明治二十九年一月二十二日、二十八日、三月二十二日)明治二十九年度豫算案(戊)明治二十九年度總豫算追加案、第十回議會(明治三十年一月二十八日、三十一日、二月十七日)明治三十年度總豫算案、第十三回議會(明治三十一年十二月十八日)明治三十二年度總豫算案、第二十三回議會(明治四十年二月七日)明治四十年度總豫算案
又政府ハ其ノ修正セムトスルモノ委員會ニ於ケル修正ト同一ナル場合ニ同意ノ旨ヲ言明シタルコトアリ

第二十六回議會 明治四十三年二月十二日明治四十三年度豫算案ノ會議ニ於テ委員長鳩山和夫

君ハ委員會ノ結果ヲ報告セル際「…歳入は專ラ地租條例即チ法律ノ結果ニ依テ異動ヲ生ジタノトソレカラ通行税ノ政府提出案ノ否決セラレタト此ノ二ツノ理由ニ依テ一方地租ニ於テハ歳入ノ減額ヲ見通行税ニ於テハ増加ヲ見ルコトニナリマシタ此金高ガ本年度ニ於テハ(中略)通行税ニ於キマシテハ一萬八千圓ノ増額ヲ見ルノデアリマス…」ト述ヘ桂大藏大臣ハ「只今委員長ヨリ報告ヲ致サレマシタル歳入ノ修正ハ政府ニ於テ修正セントスルトコロト同一デゴザイマスカラシテ政府ハ是ニ同意ヲシテ居リマス」ト言明シタリ

然ルニ第一回議會ニ於テ豫算ノ款項ヲ新設シ轉換シ金額ヲ増加シ又ハ項ヲ修正シ追加豫算ヲ併合セシコトアリ又第二回議會ニ於テ款項ノ轉換、第二回、第四回乃至第六回、第十回、第十五回議會ニ於テ金額ノ増加ヲ爲シタルコトアリ

四六五 既定繼續年限ノ延長若ハ短縮又ハ年割額ノ變更若ハ金額ノ増減ハ更

ニ協賛ヲ經ルコトヲ要ス

議會ノ協賛ヲ經タル繼續費ニ對シ其ノ年限ヲ延長シ若ハ短縮シ又ハ其ノ年割額ヲ變更セムトスル場合ニハ更ニ議會ノ協賛ヲ求ムル爲其ノ豫算案ヲ提出スルヲ要ス而シテ其ノ例枚舉ニ違アラス

四六六 豫算案ニ關シ兩院協議會ヲ開ク

豫算案ニ付兩院協議會ヲ開キタルコト今日ニ至ル迄八回アリ

(一) 兩院協議會成案兩院ヲ通過シタル例

第三回議會 明治二十五年六月十四日明治二十五年豫算追加案兩院協議會成案

第九回議會 明治二十九年三月二十四日(乙)明治二十八年豫算追加案兩院協議會成案

案

第十回議會 明治三十年三月十九日明治三十年豫算案兩院協議會成案

第十四回議會 明治三十三年二月二十四日(第一號)明治三十三年豫算追加案(追第一號)豫

算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件兩院協議會成案

第十五回議會 明治三十四年三月二十三日明治三十四年度豫算案兩院協議會成案

第十六回議會 明治三十五年二月十四日明治三十五年度豫算案兩院協議會成案

(二) 兩院協議會成案否決セラレタル例

第三十一回議會 大正三年三月二十三日大正三年豫算案兩院協議會成案ハ本院ニ於テ可決セ

ルモ貴族院ニ於テ否決セラレタリ

(三) 會期切迫ノ爲兩院協議會ヲ開クニ至ラザリシ例

第十回議會 明治三十年三月二十四日豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件中大

藏省所管日本鐵道株式會社補助ノ件ニ付貴族院ニ於テ修正ヲ加ヘ回付シ本院ニ於テハ回付案

ニ同意セス兩院協議委員ヲ選舉シ貴族院亦委員ヲ選舉セルモ同日ヲ以テ會期終了ノ爲協議會

ヲ開クニ至ラス

參看 六二〇號、六二二號

四六七 特別會計豫算案ハ獨立シテ成立ス

第三十一回議會ニ於テ大正三年豫算案ハ本院ニ於テ修正議決ノ上之ヲ貴族院ニ送付シタルニ同
院ニ於テハ其ノ内各特別會計歲入歲出豫算案及豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル
件ノミヲ可決奏上シ總豫算案ハ衆議院ニ回付シ本院其ノ回付案ヲ否決ノ上兩院協議會ヲ求メ次テ
兩院協議會ニ於テハ本院議決案成案トナリ本院ハ其ノ成案ヲ可決シタルモ貴族院之ヲ否決セル爲
大正三年豫算案ハ遂ニ不成立トナリ茲ニ特別會計豫算ノミ成立スルニ至レリ

四六八 總豫算案不成立ニ拘ラス豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件ノミ成立ス

第三十一回議會ニ於テ大正三年度總豫算案ハ貴族院ニ於テ兩院協議會成案ヲ否決シタル爲不成立トナリタルニ拘ラス豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件ハ曩ニ貴族院ニ於テ可決シタルヲ以テ成立セリ

四六九 貴族院ニ於テ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件中一部ヲ可決シテ奏上シ一部ヲ修正若ハ否決シテ本院ニ回付シ又ハ通牒ス

(一) 修正シテ回付シタル例

第十回議會 明治三十年三月二十三日豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件中大藏省所管日本鐵道株式會社補助ノ件ニ修正ヲ加ヘ本院ニ回付シ拓殖務省所管北海道炭鑛鐵道株式會社補助ノ件、文部省所管帝國大學傭外國人俸給ノ件ハ之ヲ可決シ翌二十四日奏上セリ

(二) 否決シテ通牒シタル例

第四十一回議會 大正八年三月二十六日貴族院ニ於テ(第三號)大正八年度歲入歲出總豫算追加

案中農商務省所管帝國開墾株式會社補助金額ヲ削除シテ本院ニ回付シ、本院ハ之ニ同意スルニ決シ其ノ旨貴族院ニ通知シタルニ依リ同院ハ之ニ關聯セル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件中該豫算ノ修正セル部分ヲ否決シ他ハ可決奏上シ其ノ旨本院ニ通牒セリ
第四十三回議會 大正九年七月二十八日貴族院ニ於テ(特第一號)大正九年度各特別會計歲入歲出豫算追加案中大藏省所管朝鮮總督府助成費ニ修正ヲ加ヘ本院ニ回付シ次テ之ニ關聯セル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件中該豫算ノ修正セル部分ヲ否決シ他ハ可決奏上シ其ノ旨本院ニ通牒セリ

參看 四八一號

第二節 決算會議

四七〇 決算ハ委員ノ審査ヲ經タル後會議ニ付ス

決算ノ提出アリタルトキハ議場ニ其ノ提出ノ報告ヲ爲スノミニシテ直ニ之ヲ常任委員ニ付託シ委員ノ報告ヲ俟テ之ヲ會議ニ付ス

四七一 決算ハ議了ニ至ラスト雖再ヒ次ノ會期ニ提出セラレス

決算ハ一度提出セラレタルトキハ議決ヲ經ルニ至ラサルトキト雖政府ハ再ヒ之ヲ次ノ會期ニ提出スルコトナシ即チ第六回議會ニ提出セル明治二十四年度決算第十二回議會ニ提出セル明治二十八年年度決算、臨時軍事費特別會計決算、第四十二回議會ニ提出セル大正六年度決算ハ孰レモ委員ノ審査中解散ノ爲第三十一回議會ニ提出セラレタル明治四十四年度決算ハ委員會ノ審査終了シ報告書ヲ提出シタルモ停會ニ次テ閉會トナリシ爲院議ニ上ラサリキ又第三十九回議會ニ提出セル大正三年度決算ハ院議之ヲ再審査ニ付スルニ決シタルモ此等ノ場合ニモ次ノ議會ニ提出アラサリキ

參看 一七一號

四七二 前會期ニ提出セラレタル決算審議未了ニ終リタルトキハ次ノ會期ニ於テ審査シ會議ニ付ス

決算ハ一度提出セラレタルトキハ議決未了ノ場合ト雖再ヒ次ノ會期ニ提出セラレタルコトナシ故ニ議院ハ前會期ニ提出セラレタル決算ニシテ審査未了ノモノハ之ヲ審査スヘキモノナルコトヲ決議シタリ

第八回議會 明治二十八年二月五日重岡薫五郎君ハ決算委員會ハ曩ニ政府ヨリ提出セラレタル明治二十四年度歳入歳出總決算ヲ審査シ本院ニ報告スヘシトノ決議案ヲ提出シ同月十三日ノ院議ニ上リタルモ元田肇君ノ動議ニ依リ一時其ノ議決ヲ延期スルコトトナリ同會期中ハ院議ニ付スルニ至ラサリキ

第十三回議會 明治三十二年二月二十八日安川繁成君外二名ヨリ決算審査ニ關スル決議案(本院ニ於テ解散其ノ他ノ事故ニ依リ歳入歳出決算ノ審査ヲ終了スル能ハサリシトキハ其ノ年度ノ如何ニ拘ラス其ノ未了ニ係ル決算ヲ審査スヘキモノトス)ヲ提出シ同年三月二日ノ會議ニ於テ委員ニ付託セラレ同月八日ノ續會ニ於テ委員長ハ「委員會ノ決議ハ尤モ憲法ノ七十二條ニ關スルカラ鄭重ニヤラウト云フ論モゴザイマシタガ先ヅソレハ保留シテ置イテ此ノ案ハ可決シタイト云フコトガ委員會ノ全會一致デゴザイマシタ」ソレデ之ヲ御決議ナリマスルト決算ノ未了ノモノガ決算委員ニ選バレタ諸君ガ直グニ未了ノモノヲ取掛ッテヤルダケデゴザイマス決シテ其本院ノ權限ニ關係ハナイノデゴザイマス」トノ報告ヲ爲シタルニ議院ハ異議

ナク之ヲ可決シタリ

而シテ第十四回議會ニ於テハ明治三十年度決算ト共ニ第十二回議會ニ提出セラレタル明治二十八年
年度決算及臨時軍事費特別會計決算ヲ、第十五回議會ニ於テハ明治三十一年度決算ト共ニ第六回
議會ニ提出セラレタル明治二十四年度決算ヲ、第十八回議會ニ於テハ第十七回議會ニ提出セラレ
タル明治三十三年度決算ヲ、第二十六回議會ニ於テハ明治四十四年度決算ト共ニ第三十五回議會
ニ提出セラレ議會解散ノ爲審査未了トナリタル^{明治四十五}年度決算ヲ、第四十回議會ニ於テハ大正
四年度決算ト共ニ第三十九回議會ニ再審査ニ付スヘシト議決セル大正三年度決算ヲ、第四十三回
議會ニ於テハ第四十二回議會ニ提出セラレ議會解散ノ爲審査未了トナリタル大正六年度決算ヲ審
査シ之ヲ是認シタリ

四七三 決算ハ全部ヲ議題ト爲シ委員會ノ報告ヲ是認スルヤ否ヲ決ス

第八回議會 明治二十八年三月二十三日明治二十五年年度決算ヲ院議ニ付シタルトキ議長(楠本
正隆君)ハ「此決算ハ全部ノ朗讀ヲ省イテ議題ト爲シマスル(中略)是ニハ委員ノ意見書モ出テ
居リマスルガ其外ニ御意見ガアル諸君ハ其當否ヲ論ゼラレテ宜シイ、サウシテ賛成ガアレバ

一ノ議題トナリマス」ト告ケ沼田宇源太君ハ歳出臨時部内務省所管第三款第十二項ハ豫算ノ
目的ニ違反シタルモノト認ムヘシトノ動議ヲ提出シタルニ議長ハ其ノ採決ニ當リ先ツ委員會
ノ報告ニ付テ採決シ次テ沼田宇源太君ノ動議ヲ採決シタリ

第九回議會 明治二十九年三月二十六日明治二十六年度決算ヲ院議ニ付シタルトキ議長(楠本
正隆君)ハ「昨年始テ議場ノ問題ト爲リマシタノガ其端ヲ開イタノデアアル其例ニ依ッテ決ヲ採
リマス全部ヲ議題ト爲シ委員會ノ報告ニ就イテ決議ヲ採リマス……」ト告ケ委員會ノ報告ニ
認定ヲ與フルヤ否ヲ採決シタリ

第十回議會 明治三十年三月二十三日明治二十七年年度決算ヲ院議ニ付シ全部ヲ議題ト爲シ其ノ
採決ニ當リ議長(鳩山和夫君)ハ「委員長ノ報告ヲ諸君ハ是認セラレマスカ」ト告ケ之ヲ採決シ
タリ

第四十一回議會 大正八年三月二十五日大正五年度決算ヲ院議ニ付シ決算委員長ノ報告ニ次テ
岩崎勳君ハ「大正五年度決算ニ對シテハ決算委員長ノ報告ヲ是認セラレムコトヲ望ミマス」ト
ノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決シタリ

四七四 決算中不法且不當ノ支出ト議決セル事項ニ關シ政府ノ處分ヲ求ムル
決議ヲ爲ス

第十四回議會 明治三十三年二月十九日明治三十年年度決算ニ對スル委員會ノ報告是認セラレシ
トキ石黒涵一郎君ハ「釧路鐵道ノ買収ハ不當ニシテ且其ノ代價ノ支出ハ違法ナリト認ム依リ
テ政府ハ宜ク相當ノ處分ヲ爲スヘシ」トノ同決算ニ關スル決議案ヲ提出シタルニ翌二十日ヲ
以テ院議之ヲ可決シタリ依テ即日右決議ヲ政府ニ通牒セリ

四七五 決算委員會ヨリ報告ニ係ル決算ニ關スル上奏案ヲ議題ト爲サス

第二十一回議會 明治三十八年二月二十七日明治三十四年度及同三十五年度決算ヲ議了シ次テ
議長(松田正久君)ハ決算委員ノ起草報告ニ係ル同決算陸軍省所管中石狩國上川衛戍地兵營建
築費及之ニ附屬スル工事費ニ關スル上奏案ヲ議題ト爲サ否ヲ院議ニ付シ之ヲ採決シタルニ
少數ヲ以テ議題ト爲ササルコトニ決セリ

四七六 決算委員長報告中ノ附帶決議ハ採決セサルヲ例トス

決算委員會ニ於テ決算審査ノ結果不法若ハ不當ノ支出ト認メテ報告スルモノ毎年度數十件アリ從
テ重要ナルモノアルトキハ附帶ノ決議ヲ爲シテ報告スルコト尠カラス然レトモ此ノ決議ハ單ニ希
望又ハ議決ノ理由ニ過キササルヲ以テ特ニ採決セサルヲ例トス

第四十回議會ニ於テ委員長報告中ノ一部トシテ決議ヲ先ニ採決シタルコトアルモ之亦附帶決議ト
シテ獨立シテ採決シタルニ非ス即チ大正三年度及四年度決算審査ノ報告ニ對スル附帶ノ決議ニ對
シテハ議長(大岡育造君)ハ採決ニ際シ「先ヅ……決算報告ノ終リノ決議ト題シテアル分カラ先ヅ
採リマス、此決ヲ採ツタ後ニ委員長報告中ノ憲政會ノ反對ノアル此決議ノ籠ッテ居ル分ヲ除イテ後
決ヲ採リマス」ト宣告シ先ツ決議ト題スル分ヲ採決シ可決シタル後議長ハ「唯今決シマシタ部分ヲ
除イテハ、外ニ反對ノ論モアリマセヌカラ……委員長ノ報告通り御異議ハアリマセヌカ」ト告ケ院
議異議ナク之ヲ可決シタリ

參看 三四〇號

四七七 決算ハ之ヲ議決スルモ貴族院ニ送付セス

決算ハ第六回議會ニ始テ提出セラレタリ而シテ同會期ニ於テハ議了後之ヲ貴族院ニ送付スヘキヤ否ハ未了ニ終リタルモ第八回議會ニ於テ決算議事ノ際之ヲ貴族院ニ送付セサルコトニ決定シタリ爾來之ヲ例トス

【備考】

第六回議會 明治二十七年五月二十四日決算委員長ヨリ國家ノ歲出入決算ニ關スル帝國議會ノ權能ニ付左記事項ノ決定ヲ求メタリ

一帝國議會ハ憲法第六十四條ニ於テ國家ノ歲計豫算ニ對シ協贊ノ權利ヲ有スルト同時ニ憲法第七十二條ニ於テ國家ノ歲入ニ對シ正確ナル決算報告ヲ受ケ之レニ承認ヲ與フルノ權利ヲ有スルモノトス

一帝國議會ハ行政百般ニ對シ監督ノ權利ヲ有スルト同時ニ國庫ノ收支決算上違法ノ行爲ニ對シ最終ノ裁判權ヲ有スルモノトス

一帝國議會ハ行政各部ノ違法收支ニ對シテ最終ノ判決ヲ下シ之レヲ政府ニ通牒シ責任アル處分ヲ要求スヘシ若シ政府ニ於テ其職務ヲ怠ルトキハ帝國議會ハ上奏スルコトヲ得ルモノトス

一衆議院ハ決算報告ニ對シ院議ヲ決定シテ之ヲ貴族院ニ送付スルモノトス

一帝國議會ハ決算報告ニ對シ政府ニ質疑ヲ要スヘキ事件アルトキハ當局者ヲシテ辯明セシムルコトヲ得ルモノトス

議長(楠本正隆君)ハ翌日之ヲ院議ニ付シタルニ駒林廣運君ノ動議ニ依リ本件ハ之ヲ議スルヲ要セサルモノト決定セラレ

次テ解散ノ爲決算ハ院議ニ上ラスシテ止メリ

第八回議會 明治二十八年三月二十三日明治二十五年年度決算ノ會議ニ於テ波多野傳三郎君ハ決算ハ法律案、豫算案、承諾

ヲ求ムル議案ト同シク議決ノ上ハ之ヲ貴族院ニ送付スヘシトノ動議ヲ提出シタルニ院議此ノ動議ヲ否決シタリ

四七八 決算ヲ再審査ニ付ス

審査未了ノ決算アルトキハ次議會ニ於テ審査スルノ慣例ナルモ委員會ノ審査終了シ本會議ニ報告シタル際再審査ノ動議起リ採決ノ結果委員長ノ報告ヲ是認セス再審査ニ付シタルコトアリ

第三十九回議會 大正六年七月十四日(會期終了日)大正三年度歲入歲出總決算及各特別會計歲

入歲出決算ハ同日ノ日程ニ掲ケ決算委員長石黒涵一郎君委員會ノ經過及結果ヲ報告シタルニ

高橋光威君ヨリ「大正三年度決算ヲ再審査ニ付スヘシ」トノ動議ヲ提出シ採決ノ結果該動議可決シタルヲ以テ議長(大岡育造君)ハ委員長報告ハ是認セラレサル旨ヲ宣言セリ而シテ該決算

ハ第四十回議會ニ於テ更ニ審査ヲ爲シタリ

四七九 國有財産増減總計算書ハ決算委員ニ付託シテ審査セシメ其ノ報告ヲ是認スルヤ否ヲ決ス

第五十回議會 大正十四年三月十日政府ヨリ國有財産法ニ基キ大正十一年度國有財産増減總計算書ヲ報告セラレタリ超エテ十二日ノ會議ニ於テ作間耕逸君ハ「國有財産法ニ基キ報告セラレマシタル大正十一年度國有財産増減總計算書ハ爾後監督ノ必要上本院ニ於テ特ニ審査スルノ必要ヲ認メマシタ仍テ便宜決算委員ニ之ヲ付託シテ審査セシメラレタイトノ動議デアリマス尙ホ將來モ之ヲ以テ例ト爲サレムコトヲ望ミマス」トノ動議ヲ提出シ院議異議ナク之ヲ可決シタルヲ以テ決算委員ニ於テ之ヲ審査シ三月二十二日決算委員長ヨリ其ノ審査報告書ヲ提出シタルニ依リ翌二十三日ノ議事日程ニハ決算ニ次テ之ヲ掲載シ委員長ノ報告アリタル後委員長報告通之ヲ是認スルニ決シタリ
爾來之ヲ例トス

第三節 承諾ヲ求ムル議案ノ會議

四八〇 承諾ヲ求ムル議案ハ單ニ承諾スヘキヤ否ヲ決ス

承諾ヲ求ムル議案ニ對シテハ單ニ承諾スヘキヤ否ヲ採決スルニ止マリ希望警告又ハ附帶決議ヲナシテ報告セラルルコトアルモ此等ニ對シテハ採決セサルヲ例トス

第四十回議會 大正七年三月三十日大正五年度豫備金支出ノ件外七件(豫備金外、豫算超過及豫算外支出ヲ含ム)承諾ヲ求ムル件委員長山本悌二郎君ハ委員長ノ報告ニ次テ「……政府ニ於テ將來此剩餘金ノ支出ナルモノハ、頗ル重大ナル責任ノ伴フモノデアルト云フ事ヲ自覺シテ、慎重ノ上ニモ慎重ヲ重ネテ支出スルヤウニト云フ警告ヲ添ヘルコトニシタノデアリマス、斯様な經過ヲ以テ此八件ハ承認ヲ與ヘルコトニ決定致シマシタ……」ト報告シ採決ノ結果委員長ノ報告ヲ可決シタリ

第四十六回議會 大正十二年三月二十日大正十一年度第二豫備金支出ノ件外三件ノ會議ニ於テ委員長井上角五郎君ハ「……茲ニ所謂責任支出ニ對シマシテハ……豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ヲ爲スニハ極メテ重大ノコトナルニ拘ラス大正十一年度支出中ニハ取扱上頗ル遺憾トスルモノアリ政府ハ將來ニ於テ深ク注意スルヲ要ス斯様な警告ヲ附シテ之ニ承諾ヲ與ヘルコトニ致シマシタ」トノ報告ヲ爲シ其ノ採決ニ際シ議長(粕谷義三君)ハ「ソレデハ起立ニ依テ採決ヲ致シマス」ト告ケ單ニ承諾スヘキ否ニ付採決ヲ爲シタリ

第四十七回(臨時)議會 大正十二年十二月十九日大正十二年勅令第四百十號及大正十二年勅令第四百十一號(承諾ヲ求ムル件)ノ會議ニ於テ委員長中西六三郎君ハ第二案ニ付「…全國農村一體ニ於テ此ノ關稅撤廢ノ爲ニ農業經濟ノ上ニ脅威ヲ感ジタルコトハ極メテ顯著ナル事實デアリマス…此ノ事實ガ極メテ重大ナル影響デアルニ拘ラズ半面震災前後ノ爲ニハ何等ノ效果ナカツタト云フコトガ明カデアリマスカラ斯ノ如キハ一日モ速ク其害ヲ除キ一般ノ生産者ノ爲ニ政府ノ速ニ最善ノ途ヲ執ラレルコトヲ望ムト斯ウ云フ趣旨デアリマス斯ノ如キ附帶決議ヲ全會一致ヲ以テ可決致シマシタ」トノ報告ヲ爲シ議長(粕谷義三君)ハ「兩案ヲ承諾スルヤ否ヤ御諮リ致シマス」ト告ケ單ニ承諾スヘキヤ否ニ付採決ヲ爲シタリ

同 十二月二十日大正十二年勅令第四百二十四號ノ會議ニ於テ委員長指田義雄君ハ「本令ニ因リ政府カ日本銀行ニ對シ爲シタル命令中經濟復興ニ支障トナル可キ條項少ナカラス例之利子歩合ヲ日歩二錢四厘ノ高率ニ指定シタルカ如キ又取立延期期間ヲ二箇年内ニ制限シタルカ如キ現在經濟界ノ要望ニ副ハサルモノ頗ル多シ政府ハ將來本令ノ運用ニ付特ニ經濟ノ復興ニ留意シ日本銀行ニ對スル利率年限其他ノ命令條項ヲ適當ニ改定スルコトヲ要ス右決議ス」トノ報告ヲ爲シ其ノ採決ニ當ツテ議長(粕谷義三君)ハ「直ニ採決ヲ致シマス」ト告ケ單ニ承諾スヘキヤ否ニ付採決ヲ爲シタリ

四八一 豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル議案)ノ一部承諾ヲ與ヘスト決シタルトキハ其ノ部分ヲ抹消ス

從來憲法第六十四條第二項ニ依リ提出スル事後承諾ノ議案ニ付テハ其ノ一部ニ對シ承諾ヲ與ヘサルトキハ全部不承諾ト爲シタリシモ第二十一回議會以來ハ一部ニ對スル不承諾ヲ以テ全部ニ及ボササルモノト爲セリ而シテ其ノ不承諾トナレル部分ヲ抹消シテ之ヲ貴族院ニ送付セリ

第二十一回議會 豫備金支出ノ件委員會ハ審查ノ末明治三十六年度豫備金支出ノ件文部省所管臨時教科書編纂費及明治三十六年度特別會計豫備金支出ノ内内務省所管基隆築港維持費ハ承諾ヲ與フヘキモノニ非ス他ハ承諾ヲ與フヘキモノト議決シタルコトヲ報告シ明治三十八年二月十四日本件ノ會議ニ於テ院議委員長ノ報告通議決シタリ

第二十二回議會 明治三十九年三月十三日豫備金支出ノ件外五件ノ會議ニ於テ院議委員長ノ報告通明治三十七年度豫備金支出ノ件中大藏省所管貸付金、文部省所管臨時編書費、明治三十七年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件中大藏省所管貸付金、文部省所管京都帝國大學福岡醫科大學臨時補足費中俸給及諸給、明治二十七年特別會計豫備金支出ノ件中内務省所管臺灣總督府基隆築港維持費ハ承諾スヘキモノニ非ス他ハ承諾スヘキモノト議決シタリ

第二十四回議會 明治四十一年三月十九日明治三十九年度豫備金支出ノ件外六件ノ會議ニ於テ

明治三十九年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ内内務省所管府縣徵兵費ノ内檢丁及新兵旅費ニ付テハ承諾ヲ與フヘキモノニ非ス他ハ承諾スヘキモノトスト議決シタリ
第二十六回議會 明治四十三年三月十九日明治四十一年度豫備金支出ノ件外五件ノ會議ニ於テ
明治四十一年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ内大藏省所管競馬補助金ハ承諾ヲ與フヘカラス
其ノ他ハ承諾ヲ與フヘキモノト議決シタリ

四八二 緊急勅令(承諾ヲ求ムル議案)ハ議決ニ至ラサルトキト雖再ヒ次ノ會期ニ提出セラルルコトナシ

承諾ヲ求ムル議案中緊急勅令ニシテ解散其ノ他ノ事由ニ依リ兩院ノ議決未了トナリタル場合ニハ政府ハ將來ニ向テ其ノ失效ヲ公布シ再ヒ之ヲ提出スルコトナシ

第十二回議會ニ提出シタル明治三十一年勅令第二十一號(衆議院議員選舉運動者ニ關スル罰則ノ件)(貴族院送付)

第四十一回議會ニ提出シタル穀物收用令

第四十二回議會ニ提出シタル大正八年勅令第三百四號(獨逸國等ニ屬スル財産管理ノ件)及大正

八年勅令第四百七十八號(大豆、生牛肉等ノ輸入税ノ低減又ハ免除ニ關スル件)

右ハ孰レモ將來ニ向テ失效ヲ公布シ再ヒ之ヲ提出セス但シ第二回議會ニ於テ解散ノ爲議決未了トナリタル緊急勅令(明治二十四年勅令第四十六號(新開雜誌又ハ文書圖書ニ關スル件))ヲ次ノ會期ニ提出シタル一例アリ

參看 一七二號

四八三 豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル議案)議決ニ至ラサルトキハ次ノ會期ニ再ヒ提出セラル

承諾ヲ求ムル議案中豫備金支出ノ件(憲法第六十條第二項)ニシテ解散其ノ他ノ事由ニ依リ兩院ノ議決未了トナリタル場合ニハ再ヒ次ノ會期ニ提出セラルルモノトス

第二回議會ニ提出シタル岐阜愛知二縣下震災救濟及江川堤防工事費豫算外支出ノ件

第六回議會ニ提出シタル明治二十六年豫備金支出ノ件

第十二回議會ニ提出シタル明治二十九年豫備金支出ノ件外三件

第三十一回議會ニ提出シタル明治四十五年大正元年度豫備金支出ノ件外三件

第四十二回議會ニ提出シタル大正七年度豫備金支出ノ件外七件

右ハ孰レモ次ノ會期ニ提出セラル

四八四 承諾ヲ求ムル議案中緊急勅令ハ一院ニ於テ議了セサルトキハ其ノ失効ヲ公布セラル

第四十二回議會ニ提出セラレタル大正八年勅令第三百四號(獨逸國等ニ屬スル財産管理ノ件)及大正八年勅令第四百七十八號(大豆、生牛肉、鳥卵、綿織絲及綿織物ノ輸入税ノ低減又ハ免除ニ關スル件)ノ承諾ヲ求ムル件ハ本院ニ於テハ承諾ヲ與フルニ決シタルモ衆議院解散ノ爲貴族院ノ議ヲ經ルニ至ラス依テ政府ハ大正九年三月二十五日其ノ失効ヲ公布スルト同時ニ緊急勅令ヲ以テ内容ノ同一ナル勅令ヲ公布シタリ

四八五 豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件ハ責任解除ノ意味ヲ以テ提出セラル

第三十一回議會 大正三年三月五日承諾ヲ求ムル議案ノ會議ニ於テ松田源治君ハ豫備金以外ノ

豫算超過支出ニ付テハ第二議會以來引續キ憲法上ノ議論トナリ時ノ政府ハ憲法第六十四條第二項ニ依リ剩餘金ノ支出ニ關シ事後承諾ヲ求メ來レリ而シテ松隈内閣ニ於テハ責任解除ノ意味ヲ以テ提出シタリトセル場合アリ議會ノ慣例ハ憲法ノ認メサル行爲ヲ政府ハ國家ノ爲責任ヲ以テ支出セルニ依リ其ノ支出ノ正當ナルモノニ對シ承認ヲ與フルノ慣例ニシテ昨年ノ山本内閣ハ從來政府ノ主張ヲ變更シ大藏次官ハ吾ト同一意見ニテ憲法第六十四條第二項ニ依リ提出セルニアラス責任解除ノ意味ニテ提出セル旨委員會ニ於テ予ノ質疑ニ對シ答辯シタルニ付此ノ際大藏大臣ハ政府ヲ代表シテ明答セムコトヲ希望セルニ高橋大藏大臣ハ「重大ナ問題デアリマスガ兎ニ角提出スルノ手續ハ憲法第六十四條ノ第二項ニ依テ提出ヲ致スノデアリマス其解釋ニ至ッテハ次官ノ委員會デカ御話シタト云フコトニ就テハ私ハマダ能ク研究シテ居リマセヌ」ト答ヘ松田君ハ「……若シマダ政府ガ確定致シテ居ナイト云フコトナラバ閣議ヲ決メマシテ……追テ確定致シタル答辯ヲ本員ハ求メタイト思フノデアリマス」ト述ヘ同月二十三日ノ續會ニ於テ委員長松田源治君ハ審査ノ結果ヲ報告シ其ノ報告ニ於テ「此剩餘金ノ支出ニ付テハ政府ハ責任ヲ以テ支出シ責任解除ノ意味ヲ以テ帝國議會ニ提出シタリト明答シ是ニテ多年ノ憲法上ノ紛議ハ議會ト政府トノ意見一致スルニ至レリトノ旨ヲ述ヘ高橋大藏大臣ハ早速整爾君ノ質疑ニ對シ「此剩餘金ノ支出ノコトニ關シマシテハ再々時ノ政府ト議會ト同意

見ヲ異ニスルト云フコトデアリマシテモ本年モ其議ガ起リマシテ是ニ於テ政府ハ閣議ヲ開キマシテ而シテ熟議ノ上政府ノ考フル所ヲ委員會ニ於テ聲明ヲ致シタ譯デアル……豫テ協贊ヲ經タルコロノ豫備金ノ金額ニ於テ不足ヲ生スル場合アリ又……憲法第七十條ニ據リ難キ場合アリ此ニ於テ政務ヲ曠廢スル譯ニ行カヌ其ノタメニ内閣ハ責任ヲ以テ支出シ後ノ議會ニ於テ責任解除ノ意味ヲ以テ承諾ヲ求ムル……左様ナ事情ノ下ニ支出スルノデアリマスカラシテ協贊ヲ經タル豫備金ヲ支出スルヨリ重キ責任アルコトト政府ハ考ヘルノデアリマスソレデア旨ハ御諒解下サッタラウト考ヘルトノ答辯ヲ爲セリ

第三十六回議會 大正四年五月二十八日明治四十五年度豫備金支出外十二件ノ會議ニ於テ長島隆二君ノ質疑ニ對シ若槻大藏大臣ハ「……而シテ斯様ナ責任支出ヲ致シタルコトノ憲法上ノ根據ハドコニアルカト云フ御尋デアリマス國庫剩餘金ノ支出ニ關スル憲法上ノ爭議ハ明治二十四年以來屢起ッテ居ルノデアリマス然ルニ第九議會ノ時ニ於テ衆議院ニ於テ國庫剩餘金ノ支出ヲ承諾セラルル場合ニ於テ執ラレマシタ解釋ガ其ノ後ノ解釋ノ基準ヲ爲シテ居ルノデアリマス其ノ解釋ハ先達テ豫算總會ニ於テ渡邊君カラノ御質問ニ依テ私が答辯致シマシタ通り國庫剩餘金ノ支出ヲ爲スト云フコトハ憲法ノ條項ノ上ニハ明カニ規定シテアル條項ハナイ併ナガラ又之ヲ支出スルコトヲ禁ズル意味ノ明カナル條項モナイソレ故ニ國務ヲ遂行スル上ニ

萬己ムヲ得ナイト云フ事柄ノ起ッタ場合ニ於テハ政府ガ其責任ヲ以テ國庫剩餘金ヲ支出シテ事後ニ至ッテ帝國議會ノ承諾ヲ求メルト云フコトヲ爲スト云フノガ第九回ニ於ケル衆議院ガ國庫剩餘金ノ支出ヲ承諾セラルル場合ニ於ケル解釋ノ基準デアツタノデアリマス其ノ解釋ハ前内閣ニ於テ新ニ閣議ヲ開イテ決定セラレマシタ其解釋ガヤハリ唯今申上ル第九議會以來衆議院ノ持ッテ居ラレマシタ解釋ノ基準ト同様デアッタノデアリマス現内閣モ能ク熟議ヲ致シマシタ上ニ此ノ從來ノ解釋ノ基準ニ全然準據スルコトガ相當デアルカウ云フコトヲ決定致シマシテ今日事後承諾ヲ求メテ居リマスモノノ解釋上ノ根據ハ大正元年度大正二年度ノ剩餘金支出ニ付テ唯今承諾ヲ求メテ居ル案ガ此所ニ出テ居リマスノデアリマスガ此案ニ付テ執ラレマシタ解釋ト大正三年度四年度ノ國庫剩餘金支出ノ場合ニ於テ執テ居リマス解釋ト全然同様デアルノデアリマス即チ先例ノ通りニ見テ居ルト云フ次第デアリマス」ト答辯シタリ

第四十回議會 大正七年三月九日大正五年度豫備金支出ノ件外七件ノ會議ニ於テ松田源治君ヨリ豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出即チ剩餘金支出ノ憲法上ノ根據ニ付質疑ヲ爲シ勝田大藏大臣之ニ答ヘ續テ松田君ハ「要スルニ政府ハ此剩餘金ノ支出ヲ議會ニ提出スルニ當リテ憲法ノ六十四條ノ二項、即チ豫備金ノ場合ト同一ナル條項ヲ根據トシテ提出スルノデアルカ山本内閣ニ於テハ確定シテ時ノ高橋大藏大臣ガ本會議ニ於テ聲明シ、本會議ニ多數ヲ以テ高

橋君ノ聲明ヲ是認シタ憲法ニ認メザル行爲デアルガ、責任解除ノ爲メ提出スル、斯ウ云フ事ニ向ッテ提出ヲ爲サルノデアルカ、此點ヲ明確ニ致シテ置キタイト思ヒマス」ト質シ之ニ對シ勝田大藏大臣ハ「剩餘金ノ支出ニ付キマシテハ、憲法第六十四條ノ二項ニ於キマシテ色々ナ解釋ガアリマシテ、詰リ是等ノ事柄ハ憲法ニ於テハ認メテ居ラヌ所ノ事柄デアリマスガ、又一面ニ於テハ禁ジテ居ラナイ事柄デアルト云フヤウナコトデアリマス、併ナガラ此點ニ付テ政府ハ多年衆議院ノ議論ニモ重キヲ置キマシテ、餘リ憲法ノ解釋上ニ於テ彼此爭議ヲ致サナイ、故ニ是ハ憲法第六十四條ノ第二項ニ依リマシテ提出ヲ致スト云フ形式ヲ以テ是マデ來テ居リマスノデ、今日政府ハ之ヲ提出致シマシタノモ、其趣旨ニ於テ提出ヲ致シテ居リマスノデ御座イマス」ト答辯セリ

次テ三月二十日同案委員長山本悌二郎君ノ委員會ノ經過及結果ノ報告ニ於テ同君ハ「……總テ八件、之ニ付キマシテ質問應答ヲ重ネマシタガ、其中ノ主タル問題ハ此事後承諾案ヲ提出シタル憲法又ハ法令上ノ根據如何ト云フ點デアリマシタ、政府ハ之ニ對シマシテ斯様ナ解釋ヲ述ベラレマシタ、即チ此支出ハ憲法第六十四條第二項ニ據ルモノニシテ、憲法第六十四條第二項ハ豫備金以外ノ支出ヲモ包含シテ居ルモノト解釋スル、此解釋ノ下ニ此條項ニ據テ提出スルノデアアル、之ニ對シテ委員會ハ一人モ殘ラズ不同意ノ意思ヲ持ッテ居リマシタ、此豫備金外

ノ支出ヲナシテ其承諾ヲ求ムルノハ、憲法第六十四條第二項ニ據ル適法ノ行爲ナリト、現内閣ハ解釋スルケレドモ、是ハ帝國議會ノ豫算協贊權ニ至大ノ影響ヲ及ボスモノデアアル、又憲法第六十九條第七十條等ノ解釋ヲ紛更スル虞レモアルノデアアルカラ之ニハ同意ラスルコトが出来ナイト云フノガ、委員會一致ノ意見デアリマシタ、併ナガラ元來此解釋ニ付キマシテハ、初期議會以來政府及議會ノ間ニ絶エズ意見ヲ異ニシテ居リマシタガ、未ダ歸著ヲ見出スコトが出来ナカッタ問題デアリマスケレドモソレニモ拘ラズ、兎ニ角其支出ハ其内容如何ニ依テ、其内容ガ果シテ承諾ヲ與フベキ性質ノモノナルヤ否ヤト云フ事ヲ審査シテ、其承諾ヲ與フベキハ承諾ヲ與ヘテ來タト云フ、此ノ慣例ガアリマスカラシテ、政府ト憲法上ノ解釋ヲ異ニスルニハ相違アリマセスケレドモ、此慣例ヲ踏襲シテ、而シテ唯今承諾ヲ求メテ來ツアル此案件ノ審査ヲ進行シヨウト云フコトニナッタノデアリマス」ト述ヘタリ

第四十一回議會ニ於テ同一案ノ委員長鶴澤總明君ノ報告ニ於テモ本問題ニ關シテハ第三十一回及第三十六回議會ニ於ケルト同一ノ趣旨ニシテ委員會ニ於テモ此ノ點ニ就テ討議ナカリシ旨報告シタリ

參看 一七二號、二〇二號

四八六 豫備金外豫算超過支出ノ承諾ヲ求ムル件ハ豫備金支出ノ件ト分離シテ前ニ提出セラレタルコトアリ

從來豫備金外豫算超過ノ支出ノ事後承諾案ハ豫備金支出ノ事後承諾案ト併セテ政府ヨリ提出スルヲ例トスルモ第三十六回議會(大正四年五月二十八日)ニ於テ之ト分離シ前ニ提出シ若槻大藏大臣ハ「大正三年四月一日以降ノ豫備金外支出ニ關シマシテハ、之ヲ從來ノ慣例ヨリ致シマスレバ、其大正三年度ニ屬スルモノニアリテハ、同年度豫備金支出其大正四年度ニ屬スルモノニアッテハ同年度豫備金支出ト共ニ計算ノ完了ヲ待ツテ、各其年度經過ノ議會ニ提出シテ承諾ヲ求メルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、政府ハ之ヲ豫備金外支出ト云フモノノ性質ニ考ヘテ、最前ノ機會ニ於テ之ヲ帝國議會ニ提出シテ、其ノ承諾ヲ求メルノガ相當デアルト認メマシテ、是迄ノ慣例ヲ踏襲セズ茲ニ豫備金支出ト區分シテ之ヲ提出スルコトト致シタノデアリマス」云々ト述ヘタリ

第五章 上奏、建議及決議

第一節 上奏

四八七 上奏又ハ奉答ニ對シ勅語ヲ賜フ

開院式ノ勅語ニ對スル奉答書ハ議長參内シ御前ニ於テ朗讀シテ之ヲ捧呈ス
陛下ハ之ニ對シテ

朕衆議院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス

トノ勅語ヲ賜フヲ例トス

第四回議會 明治二十六年二月八日議長(星亨君)參内シテ内閣不信任ノ上奏書ヲ捧呈セシニ
朕能ク熟覽シ置ク

トノ勅語ヲ賜ヒ同月十日議長御用召ニ依リ參内シ宮内大臣ヲ經テ在廷ノ臣僚及帝國議會ノ各員ニ告クトノ詔勅ヲ拜受ス越エテ十三日其ノ奉答書ヲ捧呈セシニ宮内大臣ヨリ
本日ノ奉答ハ満足ニ思召ス

トノ勅語ヲ傳達セラレタリ

第六回議會 明治二十七年六月一日議長(楠本正隆君)參内シ宮内大臣ヲ經テ現内閣ノ行爲ニ對シ本院ノ意思ヲ表明スルノ上奏書ヲ捧呈セシニ翌二日議長御用召ニ依リ參内宮内大臣ヲ以テ左ノ御沙汰ノ趣ヲ仰聞ケラレタリ

衆議院ノ上奏ハ御採用ニ相成ラス上奏ニ對セラレテハ別段書面ヲ以テ勅答アラセラレヌ

第十回議會 明治三十年三月二十四日議長(鳩山和夫君)參内シ宮内大臣ヲ經テ製艦費ニ關スル

上奏書ヲ捧呈セシニ

朕衆議院ノ忠實ナル奏議ヲ嘉ス

トノ勅語ヲ賜ヘリ

四八八 上奏ニ對シ勅問ヲ賜フ

第五回議會 明治二十六年十二月二日副議長(楠本正隆君)參内シ宮内大臣ヲ經テ議長ノ信任ニ

關スル上奏書ヲ捧呈セシニ

上奏ノ趣旨ハ

朕ニ議長ヲ更任セヨト請願スルニ在ル乎

議院自ラ不明ナリシトノ過失ヲ朕ニ對シ謝スルト言ニ止ル乎更ニ院議ヲ盡セ

トノ勅問ヲ賜ヘリ

四八九 勅語、詔勅、勅問ニ對シ奉答書ヲ捧呈ス

開院式ノ勅語ニ對シテハ奉答書ヲ捧呈スルヲ例トス

詔勅ニ對シテ奉答書ヲ捧呈シタルハ第四回議會明治二十六年二月十日在廷ノ臣僚及帝國議會ノ各員ニ告クトノ詔勅ヲ拜受シタルトキニシテ同十三日議長(星亨君)參内宮内大臣ヲ經テ奉答書ヲ捧呈シタリ勅問ニ對シテ奉答書ヲ捧呈シタルハ第五回議會明治二十六年十二月二日議長ノ信任ニ關スル上奏ニ對シ勅問ヲ賜ハリタルトキニシテ同四日其ノ奉答書ヲ捧呈シタリ

參看 附錄一、二ノ三、六

四九〇 上奏書、奉答書ハ謁見ヲ賜ヒテ捧呈シ又ハ宮内大臣ヲ經テ捧呈ス

上奏書、奉答書ハ議長自ラ參内拜謁シテ御前ニ於テ朗讀シ捧呈スルヲ例トスルモ宮中ノ御都合ニ

依リ謁見ヲ賜ラサルコトアリ此ノ場合ニ於テハ宮内大臣若ハ宮内次官ヲ經テ捧呈スルヲ例トス每會期ニ於ケル開院式勅語ニ對スル奉答書ハ必ス此ノ例ニ依ル而シテ第五十二回議會ニ於テハ葉山御用邸ニ伺候シテ捧呈セリ但シ第十九回議會ハ捧呈前解散ヲ命セラレタル爲捧呈スルニ至ラス又書記官長若ハ書記官ヲ派シテ捧呈セシメタルコトナシトセス此ノ場合ハ常ニ宮内大臣ヲ經テ捧呈セリ

今開院式勅語ニ對スル奉答書以外ノ上奏書捧呈ノ場合ヲ列記スレハ左ノ如シ

- (一) 謁見ヲ賜ヒ捧呈シタル例
- 第四回議會 内閣不信任ノ上奏
- (二) 宮内大臣若ハ宮内次官ヲ經テ捧呈シタル例
- 第四回議會 詔勅ニ對スル奉答書
- 第五回議會 議長星亨不信任ノ上奏
- 第六回議會 現内閣ノ行爲ニ對シ本院ノ意思ヲ表明スル上奏
- 第八回議會 征清事件ニ關スル上奏
- 第二十一回議會 日露事件ニ關スル上奏
- 第二十二回議會 上奏(日露戰役ニ於ケル頌德表)

第四十二回議會 平和克復祝賀ニ關スル上奏

(三) 祝賀會場ニ於テ捧呈シタル例

第四十一回議會 憲法發布三十年記念祝賀上奏(同祝賀會場青山權田原憲法記念館ニ於テ御名代宮殿下ノ御前ニ捧呈)

本院書記官長若ハ書記官ヲ派シテ捧呈シタル場合ハ左ノ如シ

- 第一回議會 議會會期延長ノ上奏、國事犯特赦ノ上奏
- 第四回議會 條約改正ノ上奏、選舉干涉ニ關スル上奏
- 第五回議會 官紀振肅ノ上奏、勅問ニ對スル奉答書
- 第七回(臨時)議會 日清事件ニ關スル上奏
- 第十回議會 製艦費ニ關スル上奏

四九一 上奏書、奉答書ハ其ノ議事ニ干與シタル議長若ハ副議長ノ名ヲ以テス

第五回議會 明治二十六年十二月一日議長ノ信任ニ關スル上奏書ハ事議長ニ關スル爲、同月四

日官紀振肅ノ上奏書ハ議長謹慎中ノ爲執レモ副議長ノ名ヲ以テス

第十三回議會 明治三十一年十二月三日開院式勅語ニ對スル奉答書ハ議長病氣ノ爲副議長ノ名ヲ以テス

第十八回議會 明治三十六年五月十三日開院式勅語ニ對スル奉答書ハ議長病氣ノ爲副議長ノ名ヲ以テス

參看 八四號、二〇四號

四九二 上奏ニ對シ國務大臣意見ヲ述フ

上奏案ニ對シ若ハ上奏捧呈後國務大臣意見ヲ述ヘタルコトアリ

(一) 上奏案會議中

第三回議會(明治二十五年五月十二日)、第四回議會(明治二十六年二月七日)、第十四回議會(明治三十二年十二月十五日)、第十八回議會(明治三十六年五月二十七日)國務大臣ハ意見ヲ述ヘタリ

(二) 上奏案可決捧呈後

第五回議會 明治二十六年十二月四日官紀振肅ノ上奏案ヲ可決、即日之ヲ捧呈シ次テ同月十八

日河島醇君提出内閣ノ處決ニ關スル決議案ヲ可決シタルトキ伊藤内閣總理大臣ハ議場ニ於テ去ル四日本院捧呈ノ上奏ニ對シ翌五日上奏以テ 陛下ノ宸斷ヲ待チ奉リ居ル旨ヲ述ヘタリ

參看 六一二號

第二節 建議

四九三 建議ニ對シ勅語ヲ賜フ

第十三回議會 明治三十一年十二月六日償金ノ一部ヲ皇室御料ニ編入ノ建議ヲ爲シタルニ同月十四日御用召ニ依リ副議長(元田肇君)(議長病氣ニ付)參内シタルニ侍從長ヲ經テ左ノ勅語ヲ賜ハリタリ

朕ハ償金ノ一部ヲ皇室御料ニ編入スルノ件ニ關シ衆議院ノ深厚ナル誠意ヲ嘉ス

四九四 建議ニ對シ政府覆牒ス

第六回議會 明治二十七年五月二十八日判事ノ退職ニ關スル質問ノ件ニ付司法大臣ノ出席ヲ請求スル建議ヲ爲シタルニ同月三十日政府ヨリ左ノ覆牒アリタリ

鈴木充實君外二名提出判事ノ退職ニ關スル質問ニ對スル本大臣答辭ノ趣旨ハ曩ニ提出シタル答辭書ニ盡シタルコトヲ信スルヲ以テ更ニ議院ニ出席シテ辯明スルノ必要ヲ認メス

四九五 建議案ニ對シ國務大臣又ハ政府委員意見ヲ述フ

建議案ノ會議ニ於テ國務大臣又ハ政府委員其ノ議案ニ關シ意見ヲ述ヘタルコトナシトセス

第二十七回議會(明治四十二年三月二十二日)小川平吉君外一名提出外交文書公表ニ關スル建議案ノ會議ニ於テ小村外務大臣、第二十七回議會(大正五年二月二十八日)名村忠治君外三名提出三國港護岸施工ニ關スル建議案ノ會議ニ於テ藤澤政府委員、同日櫻井兵五郎君外一名提出殖民省設置ニ關スル建議案ノ會議ニ於テ高橋政府委員、第四十回議會(大正七年二月二十一日)村松恒一郎君提出物價調節ニ關スル建議案及降旗元太郎君外二名提出物價調節ニ關スル建議案ノ會議ニ於テ仲小路農商務大臣、第四十一回議會(大正八年一月三十日)樋口秀雄君外

三名提出教育振興ニ關スル建議案ノ會議ニ於テ原内閣總理大臣ハ意見ヲ述ヘタリ

參看 六一二號

四九六 建議書ハ即日政府ニ呈出ス

建議ハ議決ノ即日ヲ以テ議長ヨリ内閣總理大臣ニ宛テ之ヲ呈出スルヲ例トス

第三節 決議

四九七 戦功ノ表彰又ハ感謝、軍隊後援、國交ニ關スル意思表明、祝賀、慰問、弔詞其ノ他諸般ノ事項ニ關シテ決議ヲ爲ス

戦功ノ表彰又ハ感謝、軍隊後援國交ニ關スル議院ノ意思表明、祝賀、慰問、弔詞其ノ他諸般ノ事項ニ關シ決議ヲ爲スハ毎會期其ノ事例抄カラス附録中ニ輯録セリ

四九八 議決ニ對シ國務大臣意見ヲ述ヘ又ハ謝意ヲ表ス

第三回議會以來決議案ノ議決セラレタルモノ頗ル多ク内閣不信任ノ決議ノ如キ若ハ國務大臣ノ處決ヲ求ムル決議ノ如キ或ハ臨時外交調査委員會設置ニ關スル決議ノ如キ孰レモ其ノ議決ノ際内閣總理大臣若ハ主務大臣意見ヲ述ヘタルコト尠カラス又軍隊後援ニ關スル決議若ハ慰問感謝ノ決議ノ如キハ主務大臣謝辭ヲ述フルヲ例トス

四九九 議案ニ附帶スル決議案ヲ提出セラル

前項決議案ハ議事日程ノ變更ヲ要セス

委員長報告ニ附隨シテ提出セラルル附帶決議ハ希望警告等ト同シク每會期其ノ事例尠カラサルモ孰レモ本案ニ對スル希望若ハ議決ノ理由ニ過キサルモノトシテ別ニ採決セサルヲ例トスルモ近時法律案ノ讀會中若ハ其ノ他ノ議案ノ會議中定規ノ贊成ヲ得テ本案ニ附帶セル決議案ヲ提出セラルルコトナシトセス此ノ場合ニ於テハ本案ニ附帶スルモノナルヲ以テ別ニ議事日程ノ變更ヲ要セス且他ノ決議案ト異ナル所ナキヲ以テ議長ハ必ス之ヲ採決スルヲ例トシ然モ概ネ本案ニ對スル先決問題ニ屬スルヲ以テ本案ニ先ツテ採決セリ

第四十九回議會 大正十三年七月十一日政府提出贅澤品等ノ輸入税ニ關スル法律案ノ第一讀會

ノ續會ニ於テ山本条太郎君ハ附帶動議トシテ本案ニ關スル決議案ヲ提出シ議長(粕谷義三君)ハ先決問題トシテ直ニ採決シタリ

第五十回議會 大正十四年二月七日政府提出預金部預金法案外一件ノ第一讀會ノ續會ニ於テ中

村嘉壽君ハ本案ニ對スル附帶決議ヲ提出シ議長(粕谷義三君)ハ先決問題トシテ直ニ採決シタリ

同 二月十二日大正十四年度歳入歳出總豫算案ノ會議ニ於テ杉宜陳君ハ本案ニ對スル附帶決議ヲ提出シ議長ハ先決問題トシテ直ニ採決シタリ

同 二月十九日政府提出米穀法中改正法律案外一件ノ第一讀會ノ續會ニ於テ東郷實君ハ本案ニ對スル附帶決議ヲ提出シ議長ハ先決問題トシテ直ニ採決シタリ

同 三月二十四日小山松壽君外十三名提出衆議院規則改正案ノ會議ニ於テ小山松壽君ハ衆議院規則ニ關スル決議案ヲ提出シ議長ハ先決問題トシテ直ニ採決シタリ

第五十二回議會 昭和二年三月三日政府提出震災手形損失補償公債法案第一讀會ノ續會ニ於テ西方利馬君ハ成規ノ贊成ヲ得テ決議案(震災手形ノ署名者及金額ノ明示ニ關スル件)ヲ提出シ議長(粕谷義三君)ハ本案ニ附帶スル決議案ナルニ依リ直ニ其ノ趣旨辯明ヲ許シ引繼キ本案ノ

採決ヲ爲シタリ

然ルニ左ノ場合ハ特ニ議事日程ヲ變更シテ議題ト爲シタリ

第十四回議會 明治三十三年二月十九日明治三十年度決算ニ對スル委員會ノ報告是認セラレシ

トキ石黒涵一郎君ハ決算ニ關スル決議案ヲ提出シ政府ノ同意ヲ得テ日程ヲ變更シ議題ト爲シ

タルモ國務大臣出席ノ都合ニ依リ翌二十日日程ニ掲ケテ之ヲ議決シタリ

參看 三四〇號、三六一號、三六二號、四七六號

五〇〇 決議ハ即日通牒ス

決議ハ院議ニ依リ又ハ議長ノ職權ヲ以テ内閣總理大臣若ハ主管ノ國務大臣、議員又ハ遺族ニ宛テ即日通牒スルヲ例トシ之ヲ通牒スル場合ニハ議長又ハ書記官長ノ名ヲ以テス而シテ此ノ通牒ニ對シテ受領者ヨリ回答又ハ通知ヲ受ケタルモノ尠シトセス

參看 六一二號

第六章 請願

五〇一 法規ニ合ハサル請願ハ之ヲ受クルコトヲ得ス

請願ハ一定ノ體式ヲ備ヘ法規ニ合ハサルモノハ之ヲ受理スルコトヲ得サルモノトス然ルニ第二十
五回議會ニ於テ明治四十二年二月十八日沖繩縣糖商同業組合長ヨリ砂糖消費稅ニ關スル請願書ヲ
電報ヲ以テ呈出シタルニ議長(長谷場純孝君)ハ院議ニ諮ヒ之ヲ受理スルニ決シタリ又第一回議會
ニ於テ明治二十四年一月二十九日議長(中島信行君)ハ「本院開會以來受理セシ請願書ニシテ失火
ノ爲燒失シタルモノ數十通アリマス其ノ件名取調ハ本日完了セシヲ以テ之ヲ明後日ノ官報ニ掲ケ
公示スルコトニ致ス積リデアリマス右ニ就キ其ノ燒失ニ罹リタル請願書ニシテ再ヒ本院ニ呈出ス
ルモノハ請願書ニ各自調印ノ勞ヲ省キ其ノ謄本ヲ以テシテモ差支ナイト思考スレバ此段併セテ諸
君ニ御報道申シマス」ト告ケ謄本ヲ受理シタリ

五〇二 請願ニ對シ至急審査ノ請求アルトキハ其ノ審査期限ハ一週間以内ト スルヲ例トス

第四回議會 明治二十六年一月十一日齋藤珪次君外十五名ヨリ岐阜縣羽栗郡西小熊村震災新設
 工事廢棄及同縣土岐郡土岐川河身改修工事停止ノ兩請願書ヲ至急審査セラレタキ請求ヲ、犬
 養毅君外一名ヨリ九州炭坑業者ノ本院ニ提出シタル請願書ヲ請願委員ニ於テ至急審査セムコ
 トヲ請求シタルニ議長(星亨君)ハ孰レモ之ヲ院議ニ諮ヒ異議ナカリシヲ以テ「ソレカラ是ハ
 時日ヲ極メルト云フコトハ議長ガ極メベキモノト考ヘマスカラ即チ議長ニ於テ極メルコトニ
 致シマス即チ議長ハ一週間に極メテ至急ニ審査スルコトニ致シマス」ト宣告シタリ
 又翌十二日丸山名政君ヨリ岐阜縣金森萬次郎外四十五名ヨリ呈出シタル岐阜縣震災土木工事
 實地調査ノ請願ニ對シ至急審査ノ請求ヲ爲シタルニ議長ハ「尙ホ丸山名政君ハ他ニ二通ヲ出
 シテゴザリマスガ矢張同縣ノ事デゴザリマシテ意味ハソソナニ違ハヌト考ヘマス」ト告ケ之
 ヲ院議ニ諮ヒ異議ナカリシヲ以テ「然ラバ請求通り可決致シマシタ」ト告ケ又其ノ審査期限ヲ
 一週間にシタリ

第十四回議會 明治三十三年二月三日恒松隆慶君外一名ヨリ「ベスト」病ニ感染シタル醫師救助
 ニ關スル請願(請願者大日本私立衛生會頭土方久元)ノ至急審査ノ請求ヲ爲セルニ議長(片
 岡健吉君)ハ之ヲ院議ニ諮ヒ異議ナカリシヲ以テ「此請願委員ハ來ル五日マデニ審査ノ結果ヲ
 御報告アランコトヲ望ンデ置キマス」ト宣告シタリ

五〇三 特種報告ニ係ル請願ヲ院議ニ付スルノ要求ニハ意見書ヲ附スルヲ例
 トス

請願委員會ニ於テ院議ニ付スルヲ要セスト議決シタル請願ニ對シ議員三十名以上ノ要求アルトキ
 ハ議事日程ニ掲ケテ其ノ請願ヲ院議ニ付スルモノトス而シテ之ヲ要求スル場合ニハ意見書ヲ附ス
 ルヲ例トス第一回議會以來議員ヨリ要求シタルモノニシテ意見書ヲ附シタルモノハ左ノ如シ

第八回議會 明治二十八年三月十一日舊廣島藩卒復祿ノ請願ニ付小鷹狩元凱君外三十一名要
 求、同月十一日士族舊祿追加下附ノ請願ニ付杉村寛正君外二十九名要求

第九回議會 明治二十九年三月二十六日庄内川改修ノ請願ニ付小室重弘君外二十九名要求、同
 月二十六日鐵道敷設法中追加ノ請願ニ付北原信綱君外三十四名要求

第十五回議會 明治三十四年三月二十三日眞言宗高野派、同御室派、同大學寺派、同醍醐派ノ四
 派獨立許可取消ノ請願ニ付石黒涵一郎君外三十一名要求

第二十二回議會 明治三十九年三月十七日生絲検査法案ノ否決ノ請願ニ付福井三郎君外三十二
 名要求(本會議ニ於テ二十七名ノ特別委員ニ付シ再審査ニ付ス)

第四十六回議會 大正十二年二月二十二日金鷄勳章年金額増加ノ請願ニ付田中隆三君外三十一
 名要求(三月二十六日日程ニ上リタルモ議決ニ至ラサリキ)